本行ハ以上記載シ來リシ布告、紙幣交換手續、同細則並ニ銀貨紙幣交換順序、支店銀貨紙幣交換順序等ニ據リ政府紙幣交換ノ事務ヲ取扱ヒ來リシカ明治二十三年四月二十六日ニ至リ大藏大臣ハ從來政府紙幣其他ノ紙幣交換ニ關シ各別ニ命令セラレタル命任書及通達ヲ廢シ一命任書ノ下ニ統括セラレタリ今該命任書中ヨリ政府紙幣ニ關スル條項ヲ摘錄スレハ本行ハ政府ヨリ交換基金ノ前渡ヲ受ケ一圓以上紙幣ハ一圓銀貨ヲ以テ、五十錢以下紙幣ハ補助銀貨又ハ白銅貨ヲ以テ本支店ニ於テ交換シ交換濟紙幣ハ大藏卿印章若クハ中央數位ヲ打拔キ翌月末日限リ(其後二十四年五月十八日以降期限ヲ廢セラレ二十七年一月以降再ヒ本文ノ期限トナレリ)其種類、金額、枚數ヲ區別シタル還納表ヲ添付シテ大藏省ニ還納シ交換基金ノ仕拂ハ會計檢査院ノ檢査判決ヲ受クヘキ旨ヲ規定シ大體ニ於テ從前下付セラレタル令達ノ趣意ヲ承繼セラレタルモノトス

是ニ於テ本行亦之ニ準シ同年五月九日ヲ以テ新ニ紙幣交換取扱順序、支店紙幣交換取扱順序及代理店紙幣交換取扱方ヲ定メ使用帳簿ノ如キ其際增設改廢シタルモノ勘カラス今該順序中政府紙幣交換ニ關スルモノニシテ前記命任書ト重複ノモノハ之ヲ省キ本行內部ニ於ケル整理方法ノミニ關シ左ニ抄出スヘシ(代理店ニテハ當時十錢紙幣ノ外政府紙幣ノ交換ヲ取扱ハサリシヲ以テ代理店ノ分ニ關シテハ別ニ後段十錢紙幣ノ部ニ揭ク)

第一　本店取扱方

一　紙幣交換ハ左ノ科目ヲ以テ計算スヘシ

科目　小科目

(壹圓以上紙幣交換元金
五拾錢以下紙幣交換元金

一　一圓以上五十錢以下紙幣交換ノ區別ニ依リ其元金ヲ大藏省ニ請求シ紙幣交換元金(各小科目)ヲ以テ受入レ交換ヲ請求スルモノアルトキハ其紙幣ヲ鑑定計查シ該元金(各小科目)ヲ以テ拂渡スヘシ

一　支店ヘ元金ヲ回送スルトキハ支店勘定ヲ以テ拂出シ交換ノ報告ヲ得テ決算スヘシ

一　支店ヨリ交換打拔濟紙幣ヲ回送シタルトキハ金庫局ヘ回付シ次項ノ期限內ニ鑑定計查セシムヘシ

一　交換濟紙幣ハ翌月二十五日迄ニ打拔キ支店ヨリ回送ノ分ト合シ還納表ヲ添付シテ記錄會物品會計官吏ヘ還納シ還納表ヘ該官吏ノ證明ヲ受クヘシ

第二　支店取扱方

一　紙幣交換ハ左ノ科目ヲ以テ計算スヘシ

科目　小科目

(壹圓以上紙幣交換元金
五拾錢以下紙幣交換元金

一　一圓以上及五十錢以下紙幣交換ノ區別ニ依リ其元金ヲ見積リ本店ヘ請求シ紙幣交換元金(各小科目)ヲ以テ受入レ交換ヲ請求スルモノアルトキハ其紙幣ヲ鑑定計查シ該元金(各小科目)ヲ以テ拂渡スヘシ

紙幣　紙幣交換　政府紙幣

一　交換濟紙幣ハ前月二十六日ヨリ其月二十五日マテ一ケ月分取纏メ翌月十五日マテニ打拔キ送納書ヲ調製シ本店ヘ回送スヘシ

其後明治三十二年一月以降紙幣交換取扱順序支店出張所紙幣交換取扱順序等ヲ改正セルモ政府紙幣ニ關シテハ唯其整理帳簿ヲ改正シ支店出張所ノ交換濟紙幣發送期日ヲ毎月末日ニ變更シタル外別段ノ改正ナキニ依リ玆ニ之ヲ省ク(出張所ニ於テハ從來支店ニ準シテ紙幣交換事務ヲ取扱ハシメ來リシカ此時ニ至リ始メテ取扱順序中ニ明記シ支店ト同一ノ取扱ヲナサシメタリ)

紙幣交換基金ハ大藏省ヨリ交付セラルヽモノヲ以テ紙幣交換ノ請求ニ應スヘキハ交換手續其他ニ明示スル所ナリ而シテ之カ基金ハ從來政府ニ於テ積立テタル準備金ヲ以テ之ニ充テラレタリシカ漸次交換請求額ノ增加ニ從ヒ該準備金ノミニテハ未タ十分交換ノ目的ヲ達スルコト能ハサルニ至レリ而カモ紙幣ノ引揚ハ一日モ忽諸ニ附スヘキニアラサルヲ以テ明治二十一年八月一日敕令第五十九號ヲ以テ兌換銀行券條例ヲ改正シ本行兌換券ノ發行方法ヲ改正セラレタルト同時ニ政府紙幣交換基金トシテ二千二百萬圓ヲ一ケ年百分ノ二ノ低利ヲ以テ本行ヨリ借入レ既記ノ準備金ト共ニ右紙幣消却ノ資ニ充ツルコトニ定メラレタリ然レトモ差當リ借入ノ必要無カリシヲ以テ爾後其儘ニ經過シタリシカ二十三年五月十七日法律第三十四號ヲ以テ更ニ兌換銀行券條例ヲ改正シ保證發行額ヲ增加セラルヽト同時ニ彼ノ二千二百萬圓ノ借入金ニ對シテハ無利子ト定メラレ尋テ同年八月九日ヲ以テ大藏大臣ヨリ本行ニ對シ左ノ通リ命任セラレタリ

第一條　明治二十三年五月法律第三十四號兌換銀行券條例改正第二條第四項及ヒ同年七月法律第五十六號紙幣交換基金特別會計法第二條追加ノ項ニ依リ明治二十三年九月一日其銀行ヨリ金貳千貳百萬圓ヲ借入ルヘシ

第二條　前條借入金貳千貳百萬圓ハ無利子ニシテ其元金ハ初年ヨリ三ケ年間据置明治四十五年マテニ政府ノ都合ニ依リ漸次償還スヘシ

第三條　壹圓以上政府發行紙幣明治二十三年九月一日ヘ越流通高消却ノ爲メ右流通高全額ニ對シ政府所有ノ紙幣交換基金及第一條ノ借入金ヲ以テ其銀行ヘ交付スヘシ

第四條　前條ノ交付金ヲ以テ壹圓以上政府發行紙幣ト交換スヘシ

交換シタル政府紙幣ノ金額ハ每一ケ月分取纏メ翌月五日マテニ大藏大臣ヘ報告スヘシ

右命任書第一條ニ於テ交換基金二千二百萬圓ハ明治二十三年九月一日借入ルヘキ旨明示アルモ都合ニ依リ十月三十日ニ至リ始メテ之カ貸上ノ手續ヲ了シ爾來其儘今日(明治四十二年末)ニ及ヘリ而シテ右貸上ケタル二千二百萬圓ハ命任書第三條ニ據リ紙幣交換基金トシテ其後時々本行ニ交付セラレタリ然ルニ政府發行一圓以上紙幣ハ元來一圓銀貨ヲ以テ交換スヘキ筈ナルモ本行ヨリ貸上ケタル二千二百萬圓ハ兌換券ヲ以テシ從テ政府ヨリ交付セラレタルモノモ亦兌換券ナリシヲ以テ二十四年十月二十日大藏省國債局長ヨリ若シ交換ノ際一圓銀貨ヲ要スル場合アルトキハ本行ニ於テ兌換券ヲ銀貨ニ交換シ然ル上交換方取計アリタキ旨省議ヲ經テ通牒アリタリ

是ヨリ先政府ハ明治二十三年三月二十八日法律第二十四號ヲ以テ紙幣交換基金特別會計法ヲ公布セラレ政府所有ノ準備金一千萬圓ヲ右基金中ニ組入レ一般會計ト區分シ尙ホ同年七月三十日法律第五十六號ヲ以テ該特別會計法第二條中ニ改正ヲ加ヘ本行ヨリ借入ルヘキ二千二百萬圓ヲ該交換基金ニ組入ルヘキ旨ヲ定メラレ又交換基金ノ收入支出ニ關シテハ同年四月五日敕令第六十八號ヲ

以テ之カ規定ヲ設ケラレタリ依テ本行ニ於テハ之ニ基キ出納計算書ヲ製シ大藏省ヲ經テ之ヲ會計檢査院ニ提出シ同院ニ於テ檢査ノ上責任解除ノ認可狀ヲ下付セラルヽコトヽナレリ又命任書第四條第二項ニ據リ交換濟政府紙幣ノ金額ハ毎一ケ月分ヲ取纏メ翌月五日マテニ大藏大臣ニ報告スルコトヽナリタルニ依リ明治二十三年八月二十五日ヲ以テ其報告表樣式ヲ左ノ如ク定メタリ

表告報高換交幣紙上以圓

計合		月高	本・交換

銀行

壹行發府政中月　年　治明

第　號

種類		テマ月前リヨ月　年　治明 高換交	
紙幣			
舊百圓札			
〃五拾圓札			
〃拾圓札			
〃五圓札			
〃貳圓札			
〃壹圓札			
新拾圓札			
〃五圓札			
〃壹圓札			
合計			
損傷紙幣			
舊百圓札			
〃五拾圓札			
〃拾圓札			
〃五圓札			
〃貳圓札			
〃壹圓札			
新〃札			
〃〃札			
合計			
總計			

本日

續テ同年九月二日大藏大臣ヨリ五十錢以下政府紙幣ニシテ紙幣交換基金ヲ以テ交換シタルモノハ曩ニ揭ケタル一圓以上紙幣交換基金ニ關スル命任書第四條第二項ニ準シ一圓以上紙幣交換高報告ト同日ニ報告スヘキ旨ヲ達セラレタルヲ以テ左記樣式ニヨリ報告ヲ調製シ之ヲ大藏大臣ニ提出スルコトヽセリ

紙幣　紙幣交換　政府紙幣

表告報高換交幣紙下以錢拾五行發府政中月　年　治明

第　　號

種類	明治　年　月ヨリ前月マデ 交換高	本月交換高	合計
紙幣			
舊半圓札			
〃貳拾錢札			
〃拾錢札			
新五拾錢札			
〃貳拾錢札			
合計			
損傷紙幣			
舊半圓札			
〃貳拾錢札			
新五拾錢札			
〃貳拾錢札			
合計			
總計			

日本銀行

尙ホ大藏大臣ノ命ニ依リ右交換濟紙幣ノ員額ハ明治二十七年一月一日以降種類ヲ區分シ每月二回國債局ニ報告スルコト、ナレリ

斯クノ如クニシテ鋭意政府紙幣ノ回收ニ努メシヲ以テ其流通高漸次減少シ且是等紙幣ハ發行後幾多ノ年月ヲ閱シ概ネ損傷ノ甚シキモノナルヲ以テ終ニ明治三十一年六月十一日法律第六號ヲ以テ來ル三十二年十二月三十一日限リ其通用ヲ廢止スル旨公布セラレタリ而シテ之カ交換期限ハ明治二十三年法律第十三號ニ據リ通用廢止ノ翌日ヨリ起算シ滿五ケ年即チ明治三十七年十二月三十一日トセリ

是ニ於テ政府ハ紙幣ノ交換ヲ容易ナラシメンカ爲メ明治三十二年十二月二十三日ヲ以テ大藏大臣ヨリ本行ニ對シ三十三年一月以降從來政府紙幣ノ交換ヲ取扱ヒタル本行本支店出張所ノ外各地代理店ニ於テモ之カ交換ヲ開始スヘキ旨ヲ達セラレタルニ依リ同日政府紙幣交換方ニ關シ大藏大臣ヨリ金庫出納役ニ達セラレタルモノニ就テハ後段參照三十二年十二月二十六日ヲ以テ代理店紙幣ノ交換事務ヲ委囑セル各地代理店ニ之ヲ達シ着々政府紙幣ノ回收ヲ努メ明治三十七年十二月ニ至リ交換期間ノ滿了ヲ機トシ本事務ノ完結ヲ告ケタリ本節一般ノ部參照

以下國庫金中ノ紙幣引揚ニ就キ少シク述フル所アラン

降一般ノ請求ニ應シ本行本支店ニ於テ之カ交換ヲ取扱ヒ來リシモ其額未タ大ナリト謂フヘカラス從テ容易ニ回收ノ目的ヲ達スルコトヲ得サルニ依リ本行ハ或ハ大藏大臣ノ命ニ依リ國庫金中ニ存在セル政府紙幣ヲ交換シタルコトアリ或ハ更ニ國庫金取扱所ニ令達シ其收入ニ係ル政府紙幣ハ卿印又ハ數位打拔ノ上之ヲ本行ニ回送セシメ本行ハ之ヲ銀貨ト交換シタルコトアリシカ十九年六月

十八日ニ至リ各取扱所ニ收入シタル五十錢以下紙幣ハ爾後再ヒ支出セス直ニ廢毀ノ手續ヲ施行スヘキ旨大藏大臣ノ命ニ依リ出納局長ヨリ內達アリ(二十一年十月一日以降再ヒ支出スルコトヽナレリ)尋テ同年九月十六日ニ至リ各取扱所ニ收入ノ一圓以上紙幣ニシテ送納配付令達高ノ內舊紙幣ハ悉皆該取扱所ニ於テ卿印打拔ノ上廢毀ノ手續ヲ爲シテ送納セシムヘク尙ホ右打拔手數料及運搬費ハ損傷紙幣同樣給與スルニ付三月九月ノ兩度ニ請求スヘキ旨大藏大臣ヨリ達セラレタリ依テ其都度之ヲ各取扱所ニ通達シタルカ是皆政府紙幣回收ノ迅速ナランコトヲ期シタルニ外ナラス

尋テ明治二十年四月一日以降國庫金出納所設置セラレテ國庫金取扱所ニ代ハルコトヽナリシカハ出納所ニ於テ收入シタル政府紙幣ノ取扱方ヲ左ノ通リ定メ同年三月二十四日ヲ以テ出納所タルヘキ代理店ニ達セリ

國庫金出納所ニ於テ收入シタル政府發行ノ紙幣(新舊ナク問ハス)ハ當分ノ內左ノ手續ニ據リ取扱フヘシ

一　政府發行ノ紙幣ハ壹圓以上ト五拾錢以下ヲ區分シ置收入高千圓以上ニ滿タルトキハ收支電信報告中末項ヘ揭ケ左ノ如ク電報(電報案略ス以下同シ)スヘシ但此報告ハ千圓ニ滿タサル前連々紙幣銅貨トシテ收入報告ヲ爲シタル分ノ內政府紙幣ヲ別視センカ爲メ再ヒ報告スルモノニ付重複ノ報告ト心得ヘシ

一　壹圓以上ノ紙幣ヲ本行本店又ハ支店ヘ送納ノ電達ヲ爲シタルトキハ必其紙幣ヲ以テ上納(代理店ノ便宜ニ據リ爲換送納又ハ現金ヲ以テ送納スルヲ得ヘシト雖モ上納ノ節ハ必ス政府發行ノ紙幣壹圓以上ノ札ヲ以テスヘキニ付爲換送納ヲ爲スヲ得ヘキハ其取組先ヘ問合政府紙幣ヲ以テ上納差支ナキ旨ノ確答ヲ得テ爲換ヲ取組ミ送金手形面ニ政府紙幣ナルヲ明記スヘシ)スルモノトス

一　新舊五拾錢半圓以下ノ紙幣ハ收入スルニ隨ヒ直ニ廢却ノ順序(損傷紙幣打拔ノ手續ニ據リ印章又數字ヲ打拔ヘシ)ヲ爲シ正札ト見做シ置(計算向ハ總テ紙幣銅貨ヲ以テス)追テ本行ヨリ送納傳達ヲ得テ遞送スヘシ(遞送ノ手續ハ總テ損傷紙幣遞送ノ例ニ據リ通運會社又ハ汽船便ヲ以テス)

一　送納ヲ達スルトキハ通常ノ送金ト區分シ(一)(二)等ノ記號ヲ付シ左ノ如ク電報スヘシ

一　右ノ傳達ヲ得タルトキハ新舊紙幣共發出濟左ノ如ク本行本店ヘ電報スヘシ

一　打拔タル廢却紙幣ヲ東京本店ヘ遞送スルトキハ必其荷札ヘ何號(記號)ノ分ト記載スルヲ要ス

一　送付票ヘ左ノ書式ノ內譯書ヲ貳通添ヘ差出スヘシ

送納內譯書

第何號令達何程ノ內

紙幣何程

內

何圓札　何圓

何圓札　何圓

新紙幣何程

內

何圓札　何圓

何圓札　何圓

右之通上納候也

紙幣　紙幣交換　政府紙幣

明治何年何月何日

日本銀行國庫局

日本銀行大阪支店國庫課　御中

何地國庫金出納所

何々

何々

何　某　印

續テ同年五月二十三日ヲ以テ大藏大臣ヨリ五十錢以下ノ政府紙幣ニシテ國庫金出納所ヨリ送納ノ分及大藏省金庫局ニ於テ收入シタル分ハ左記手續ニ據リ之ヲ交換スヘク尤モ本文交換ハ手數料ヲ給セサル儀ト心得ヘキ旨達セラレタリ

一　送納令達ニ依リ國庫金出納所ヨリ送納スル卿印打拔濟小紙幣ヲ日本銀行（又ハ大阪支店）ヨリ金庫局（又ハ大阪出張所）ヘ納付ヲナスハ通常送納金ト同ク日本銀行預金トナシ其受渡ヲ了スルモノトス

一　金庫局（又ハ同局大阪出張所）ニ於テ前項納入ヲ了セハ該紙幣ハ交換支出ノ手續ヲナシ日本銀行預ケ金支拂ノ小切手ヲ日本銀行（又ハ大阪支店）ニ交付シ日本銀行（又ハ大阪支店）ハ代リ補助銀貨ヲ金庫局ヘ納付スルモノトス

一　金庫局ニ於テ收入セシ小紙幣ハ漸次卿印等打拔ノ上其金額ヲ見計ヒ交換支出ノ手續ヲナシ其拂出切符ヲ以テ日本銀行ヘ交付シ日本銀行ハ代リ補助銀貨ヲ金庫局ヘ納付スルモノトス

但金庫局大阪出張所ニ收入セシ小紙幣ハ卿印等打拔金庫局ヘ回送ノ上本項ニ依リ交換スヘシ

一　日本銀行ハ前項拂出切符ヲ以テ現札ト見做シ紙幣交換手續細則ニ據リ直ニ國債局ヘ納付スルモノトス

其後明治二十三年四月一日以降金庫制度ヲ布カレ從來ノ國庫金出納所ハ之ヲ廢止セラレタルカ大藏大臣ハ二十四年九月十八日ヲ以テ金庫出納役ニ對シ來ル十月一日以降各金庫ニ收入シタル一圓以上紙幣ハ再ヒ支出ヲ爲サス左ノ順序ニ據リ各地本金庫ニ於テ大藏卿印若クハ中央數位ヲ打貫キ金額二千圓ニ滿チタルトキハ其都度二千圓未滿ハ毎月末日送納令達ヲ俟タス中央金庫ヘ回送シ中央金庫ハ自ラ收入シタルモノト各金庫ヨリ送納ニ係ルモノトヲ取纏メ本行ニ其交換ヲ請求スヘキ旨ヲ達セラレ又本行ニ對シ中央金庫ヨリ右交換ヲ請求セラレシトキハ先ツ其旨ヲ大藏大臣ニ申出テ交換基金ノ交付ヲ受ケタル後交換方取計フヘキ旨ヲ達セラレタリ

一　中央金庫ニ於テ收入ノモノハ直ニ日本銀行ニ就キ銀貨若クハ兌換銀行券ト交換スヘシ

但中央金庫ニ屬スル支金庫ヘ回送セシメ本文ニ依リ交換スヘシ

二　各地本金庫於テ收入ノモノハ當該本金庫ニ於テ大藏卿印若クハ中央數位ヲ打貫キ金額貳千圓ニ滿チタルトキハ其都度貳千圓未滿ハ毎月末日送納令達ヲ俟タス中央金庫ヘ回送セシムヘシ

但各地本金庫ニ屬スル支金庫ニ於テ收入ノモノハ毎五十ノ日本金庫ヘ回送シ本文ニヨリ回送スヘシ

三　各地本金庫ニ於テ前項回送ヲナスヤ打貫キタル卿印若クハ數位ト打貫キ紙幣トハ日ヲ異ニシテ回送スヘシ

紙幣　紙幣交換　政府紙幣

四　中央金庫ニ於テ前項打貫キ紙幣ノ到着ヲ俟チ第一項ノ交換ヲナスヘシ

五　中央金庫ハ毎五十ノ日於テ壹圓以上政府紙幣各金庫現在高表（書式適宜）ヲ調製シ大藏省ヘ送付スヘシ

六　中央金庫ハ毎日大藏省ヘ送附スル回送及振換受拂報告表ニ於テ壹圓以上政府紙幣拂出ニ係ルモノハ其摘要中ヘ「令達外」ノ文字ヲ挿入スヘシ

依テ金庫出納役ハ同月二十四日第五十九號ヲ以テ右令達ノ趣旨ヲ各金庫ニ達シ添フルニ左記取扱順序ヲ以テセリ

第一項　各地本金庫ニ於テ收入シタルモノハ當該本金庫ニ於テ大藏卿印若クハ中央數位ヲ打貫キ金額貳千圓ニ滿チタルトキハ其都度貳千圓未滿ハ毎月末日送納令達ヲ俟タス中央金庫ヘ回送スヘシ

第二項　各地本金庫ニ屬スル支金庫ニ於テ收入ノモノハ毎五十ノ日本金庫ヘ回送シ本金庫ハ第一項ノ手續ヲ爲スヘシ但支金庫ヨリ本金庫ヘノ回送ハ敢テ五十ノ日ニ限ラス幸便アラハ毎日ニテモ苦シカラス尤モ一ケ月六回ハ必ス送付セシムヘキ樣本金庫ニ於テ適宜ノ方法ヲ設ケ處理スヘシ

第三項　各地本金庫ハ毎五十ノ日銅貨及損傷紙幣現在高報告表中ヘ「壹圓以上政府紙幣」ノ科目ヲ設ケ其現在額（支金庫ニ存在ノ分ニシテ本金庫ヘ回送セサル員額ハ加算セス）ヲ記載報告スヘシ

第四項　各地本金庫ヨリ中央金庫ヘ送付スル回送及振換拂報告表ニ於テ壹圓以上政府紙幣拂出ニ係ルモノハ其摘要中ヘ「令達外政府紙幣拂出」ノ文字ヲ挿入スヘシ

第五項　紙幣打貫手續及打貫濟紙幣回送方幷打貫料ハ明治二十三年五月二十八日第十七號通達損傷紙幣取扱ノ順序ニ依リ處理スヘシ

前記ノ如ク各本金庫ニ於テ收入濟一圓以上紙幣ヲ中央金庫ニ回送スルノ規定ナルカ同年十二月ニ至リ便宜ルトキハ其都度二千圓未滿ノトキハ毎月末日ヲ以テ回送スルニ依リ同月十日第六十八號ヲ以テ金庫出納役ハ其旨及兩種ヲ併セ回送スルトキ損傷政府紙幣ヲ之ニ合併シ二千圓ニ達シタルトキハ其都度二千圓未滿ノトキハ月末ニ回送スヘク又月末ニ在テ回送額僅少ナルトキハ翌月ニ繰越シ二千圓ニ滿ツルヲ俟テ發送セシムヘキ旨大藏大臣ヨリ達セラレタルニ依リ同月十日第六十八號ヲ以テ金庫出納役ハ其旨及兩種ヲ併セ回送スルトキハ混淆セサル樣注意シ其發送報告ニモ兩種ヲ區分記載スヘキ旨各金庫ニ達セリ

爾來右ニ據リ損傷政府紙幣及政府發行一圓以上紙幣ヲ回送セシメ來リシカ漸ク政府紙幣ノ收入ヲ減シ終ニ數月ニ渉ルモ尚ホ且定額ニ滿タサル向アルヲ見ルニ至レリ從テ其定額ニ滿ツルヲ待ツトキハ常ニ不通用ノ紙幣ヲ金庫ニ保管シ居ルカ爲メ配賦上甚不便ナルニ依リ從來五千圓ニ滿チタルトキ各本金庫ヨリ中央金庫ニ回送セシメ來リシ國立銀行紙幣及本行一圓兌換券ヲ之ニ合併シ右四種ノ總額五千圓ニ滿チタルトキ又ハ五千圓未滿ト雖金庫ニ於テ便宜ト認ムルトキハ其都度中央金庫ニ回送セシムルコトヽシ明治三十一年十月二十九日ヲ以テ其旨金庫出納役ヨリ各金庫ニ達セシカ三十三年五月二十九日ニ至リ前記二十四年第五十九號及第六十八號通達ハ之ヲ廢止セリ

既記ノ如ク政府紙幣ハ明治三十二年十二月限リ通用ヲ廢止セラレ爾後五ケ年ヲ以テ交換期間ト定メラレタルニ依リ大藏大臣ハ該紙幣所持人ノ便宜ヲ圖リ本行本支店出張所代理店ニ於テ交換セシムル外明治三十二年十二月二十三日ヲ以テ金庫出納役ニ對シ通用廢止後ト雖交換期間內ニ限リ

庫納金トシテ該紙幣ヲ持參スルモノアルトキハ金庫ハ之ヲ受領シ直ニ日本銀行ニ就キ通貨ト交換シ以テ收入ノ手續ヲ爲スヘキ旨ヲ達セラレ金庫出納役ハ同月二十七日ヲ以テ其旨各金庫ニ通達セリ然ルニ支金庫等ニ於テハ右政府紙幣並ニ各國立銀行紙幣ノ收入ニ際シ往々困難アルヤノ聞エアリシヲ以テ三十三年七月三十一日ヲ以テ支店出張所代理店ニ對シ各其所轄派出所又ハ出張所ヘ支金庫其他ヨリ右紙幣交換ヲ請求セラレタルトキハ左ノ手續ニ據リ取扱フヘキ旨特ニ傳達スヘキ旨ヲ達セリ

第一　交換スヘキ紙幣ノ種類並其區別左ノ如シ

一　政府發行壹圓以上紙幣　金貨若クハ兌換銀行券ト交換

二　政府發行五拾錢以下紙幣　補助銀貨ト交換

三　各國立銀行發行紙幣　通貨ト交換

第二　紙幣交換ヲ請求スルモノアルトキハ該紙幣ヲ鑑定計査シテ受入レタル上代リ金ヲ繰替拂渡シ該交換濟紙幣ヲ適宜取纏メ所轄店ニ回送シテ代リ金ノ交付ヲ受クヘシ

第三　紙幣交換ニ關スル諸費ハ左ノ割合ヲ以テ前年十二月ヨリ五月迄分ヲ十二月ニ所轄店ニ請求スヘシ

一　手數料　交換金高ノ一萬分ノ五

二　運搬費　實際支拂ヒタル金額

以下政府發行紙幣ノ內十錢紙幣ニ就テ述フル所アラン

明治十九年七月十日敕令第五十號ヲ以テ政府發行十錢紙幣ハ二十年六月三十日限通用ヲ禁止スル旨公布セラレ續テ同月十二日大藏大臣ハ省令第二十五號ヲ以テ該紙幣所持人ハ右期限內ニ本行本支店又ハ代理店ヘ其交換ヲ申出ツヘキ旨ヲ公布セラレ之ト同時ニ本行ニ對シ左記交換手續ニ據リ本行本支店又ハ代理店ニ於テ十錢紙幣ノ交換ヲ取扱ヒ代理店名ハ官報及新聞紙ヲ以テ廣告スヘキ旨ヲ命セラレタリ

拾錢紙幣交換手續

第一條　拾錢紙幣ハ豫テ下ケ渡置タル紙幣兌換基補助銀貨又ハ壹圓銀貨ノ內ヲ以テ交換スヘシ

但本文基金ハ交換不差支樣支店及代理店ノ間ニ配賦シ置クヘシ

第二條　拾錢紙幣交換ノ爲メ支出シタル基金ノ報告及交換ヲ了シタル紙幣上納ノ節添付スヘキ明細仕譯書ノ義ハ十八年六月第十四號布告兌換紙幣交換ノ分ト同項ニ其金額ヲ揭載スヘシ

其他本年三月三日達紙幣交換手續及同月廿六日達同細則ニ準據シ取扱フヘシ

尋テ同年八月三日前記交換手續ヘ左ノ一條ヲ追加シ第二條第二項ヲ第三條ノ第二項ト改正スル旨ヲ達セラレタリ

第三條　拾錢紙幣交換方代理店ニ於テ取扱タルモノニ限リ手數料トシテ交換額ノ千分ノ一ヲ支給スヘシ

本行ハ十錢紙幣交換取扱ヲ命セラルヽヤ急遽代理店ノ設置ヲ要スルヲ以テ差當リ全國各地ニ於ケル國庫金取扱所事務代理銀行ニ之ヲ委託シ交換ノ景況ニ依リテ其他ノ地方ヘモ增設スルコトヽシ先ツ左記約條書案及代理店拾錢紙幣交換取扱手續ヲ起草シ同年七月二十七日ヲ以テ之ヲ大藏大臣ニ稟請シタルニ八月十日認可セラレシニ依リ直ニ各銀行ト代理約定ヲ締結シテ同年九月一日ヨリ

交換事務ヲ開始セシメ本行本支店ニ於テモ亦同日ヨリ交換事務ヲ開始セリ

約條書

大藏大臣ヨリ日本銀行ヘ命任セラレタル拾錢紙幣交換取扱方事務代理ヲ何々銀行(何々銀行地支店)ヘ囑托スルニ付大藏大臣ノ許可ヲ得テ日本銀行ト何々銀行ノ間ニ約條ヲ締結スル事左ノ如シ

第一條　日本銀行ハ何々銀行(何々銀行何地支店)ヲ以テ代理店ト定メ拾錢紙幣交換取扱事務代理ヲ囑托スルニ付何々銀行(何々銀行何地支店)ハ別紙拾錢紙幣交換取扱手續書ヲ遵守シ其事務ヲ取扱フヘシ

第二條　日本銀行ト何々銀行ノ間ニ締約シタル國庫金取扱代理約條書第四條第五條第七條第十條第十一條第十二條ノ各條欵ハ此代理約條ニモ適用スルモノトシ何々銀行ニ於テ之ヲ遵守履行スヘシ

第三條　日本銀行ハ此約條ニ對シ別段保證金ヲ要セスト雖モ若何々銀行ニ於テ前條辨償金償却ノ義務ヲ果サヽルトキハ日本銀行ハ國庫金取扱代理約條第八條ニ依リ預リタル保證品ヲ之ニ振向償却シ尚不足アレハ同約條第十三條ノ通處分ズヘシ

第四條　交換取扱手續書第八條ニ揭ケタル手數料ハ何々銀行ニ於テ之ヲ受領スヘシ就テハ其取扱ノ爲メニ要スル費用ハ一切何々銀行ニ於テ之ヲ辨スヘシ

第五條　本約條ハ明治十九年九月一日ヨリ明治二十年六月三十日迄ヲ限リトス滿期ニ至レハ何々銀行ハ交換取扱手續書第七條ニ因リ決算書ヲ調製シ基金ノ殘額ヲ返還シテ其約ヲ了スヘシ

但日本銀行ノ都合ニ依ルカ又ハ何々銀行ニ於テ違犯不正ノ處爲アルトキハ期限中ト雖モ日本銀行ハ解約スルコトアルヘシ然ルトキハ何々銀行ハ前ノ決算書ヲ調製シ基金殘額ヲ返還スルハ勿論タルヘシ

右約條ヲ締結シタル證トシテ双方役員記名調印シ一通ハ日本銀行ニ保存シ一通ハ何々銀行ニ保存スルモノ也

代理店拾錢紙幣交換取扱手續

第一條　拾錢紙幣ノ交換ハ勅令第五十號ニ由リ交換請求スルモノニ應シ補助銀貨又ハ壹圓銀貨ヲ以テ交換スルモノトス

第二條　拾錢紙幣交換基金ハ本店ヨリ預ケ置クヘキニ付預リ證書(第一號)ヲ差出シ交換ノ請求ニ應シテ支出スヘシ但基金減少スルトキハ郵便又ハ電信ヲ以テ本店ヘ請求スヘシ

第三條　交換ノ爲メ前條ノ預リ金ヲ支出シタルトキハ其時々本店ヘ報告表(第二號)ヲ差出スヘシ

第四條　交換シタル紙幣ハ直ニ其紙幣ノ大藏卿印章ヲ打抜キ連々ニ一ヶ月分ヲ取纏メ荷造ヲ爲シ封緘ノ上本店ヘ遞送スヘシ但其打抜濟紙幣及ヒ印章ハ普通荷物トシテ海陸便宜ニ回送スヘシ(打抜濟紙幣ト印章トハ日チ隔テ別便ヲ以テ遞送スヘシ)

第五條　前條ノ紙幣ヲ遞送スルトキハ即日納付書(紙幣第三號印章第四號)ヲ作リ本店ヘ郵送スヘシ

第六條　代理店ニ於テハ交換基金及ヒ交換紙幣ノ受拂ヲ勘定スル爲メ左ノ帳簿ヲ設置スヘシ(第五號)

一　拾錢紙幣交換元金受拂帳

一　換了拾錢紙幣受拂帳

(第六號)

第七條　代理店ニ於テハ代理約條滿期或ハ滿期ニ非サルモ都合ニ依リ解約スル場合ニ於テハ交換元金受拂決算書ヲ調製シ本店ノ承認ヲ請クヘシ

第八條　拾錢紙幣交換手數料トシテ交換高金千圓ニ付金壹圓及交換紙幣打抜キ手數料トシテ紙幣千枚ニ付金三錢六厘宛並ニ運搬費及荷造費ハ實費支給スヘクニ付現支拂タル請取證據書ヲ添ヘ何レモ三月九月兩度ニ請求書ヲ本店ヘ差出シ之ヲ受取ルヘシ

第一號

證

一金何萬圓

內

何圓　壹圓銀貨
何圓　五拾錢銀貨
何圓　貳拾錢銀貨
何圓　拾錢銀貨
何圓　五錢銀貨

右ハ拾錢紙幣交換元金トシテ正ニ相預リ候也

年　月　日

拾錢紙幣交換取扱
日本銀行代理店
何々銀行頭取
何　某

日本銀行總裁宛

第二號　明治何年何月何日

拾錢紙幣受拂報告表

紙幣交換政府紙幣

摘要	前日ヨリ越高	受高	拂高	差引殘高
交換基金				
壹圓銀貨	0	5,000 00	4,500 00	500 00
五拾錢銀貨	0	2,500 00	2,000 00	500 00
貳拾錢銀貨	0	3,500 00	500 00	3,000 00
拾錢銀貨	0	2,000 00	1,500 00	500 00
五錢銀貨	0	500 00	35 00	465 00
	0	13,500 00	8,535 00	4,965 00
換了紙幣				
拾錢紙幣	0	8,535 00	8,535 00	0

拾錢紙幣交換取扱
日本銀行代理店
何々銀行頭取　何　某

日本銀行總裁宛

第三號

第何號

記

一拾錢紙幣何萬圓

但何月何日何會社何丸ヘ積入回送ノ分(又ハ何月何日發通運會社便ヲ以テ回送ノ分)

右ハ從明治　年　月　日至仝　年　月　日交換紙幣大藏卿印章打拔ノ分納付候也

拾錢紙幣交換取扱

日本銀行代理店

何々銀行頭取

何　某

年　月　日

日本銀行總裁宛

(此書面ハ二通ヲ出スヘシ)

第四號

第何號

記

一拾錢紙幣大藏卿印章

但(前同斷)

何　萬　枚

右ハ從明治　年　月　日至仝　年　月　日交換濟紙幣打拔タル大藏卿印章納付候也

拾錢紙幣交換取扱

日本銀行代理店

何々銀行頭取

何　某

年　月　日

日本銀行總裁宛

紙幣　紙幣交換　政府紙幣

紙幣　紙幣交換　政府紙幣

紙幣交換取扱代理店勘定元帳

何地代理店　第何國立銀行又ハ何々

明治年	摘要	借方	貸方	借或貸	差引殘高

依テ本行ニ於テハ右代理店ニ關スル諸勘定ヲ記載センカ爲メ左記雛形ノ紙幣交換取扱代理店勘定元帳ヲ設置セリ

第五號　拾錢紙幣交換元金受拂帳

年月	號日	摘要	壹圓銀貨	五拾錢銀貨	貳拾錢銀貨	拾錢銀貨	五錢銀貨	合計
明治七	年一	交換金	5,000 00	2,500 00	3,500 00	2,000 00	500 00	13,500 00
		交換ノ爲メ拂出	0	250 00	0	1,500 00	35 00	1,785 00
		翌日ヘ越	5,000 00	2,250 00	3,500 00	500 00	465 00	11,715 00
	二	交換ノ爲メ拂出	4,500 00	1,750 00	500 00	0	0	6,750 00
		翌日ヘ越	500 00	500 00	3,000 00	500 00	465 00	4,965 00

第六號　換了拾錢紙幣受拂帳

年月	號日	摘要	受	拂	差引殘高
明治七	年一	何ノ誰	1,500 00		
	〃	何某銀行	250 00		
	〃	何ノ誰	20 00		
	〃	何ノ誰	15 00		1,785 00
	二	何某銀行	3,500 00		
	〃	何某銀行	2,750 00		
	〃	何ノ誰	300 00		
	〃	何ノ誰	200 00		8,535 00
	八	日本銀行ヘ送納		8,535 00	0

既ニシテ明治二十年ニ入リ通用禁止期限愈切迫シタルヲ以テ同年三月二十二日大藏大臣ハ右期限後ト雖各郵便局及電信分局ニ於テ期限内ニ收入シタル證明書ヲ添ヘ納付アルモノハ金庫ニ於テ收納取計フヘキ旨ヲ達セラレタルニヨリ同月二十六日其旨各代理店ニ通達セリ

明治二十年四月一日以降政府ハ國庫金取扱所ヲ廢シ之カ代リトシテ國庫金出納所ヲ設置シ本行ニ其事務取扱ヲ命セラレタルニ依リ本行ハ曩ニ締結シタル國庫金取扱事務代理店トノ約條ヲ解キ更ニ各地ノ銀行ト國庫金出納所取扱代理ノ約條ヲ締結シ其第一條ニ於テ取扱事務ノ種類ヲ列擧シタル中臨時取扱ノ國庫金事務ナル一項ヲ設ケ紙幣交換事務ヲモ此中ニ包含セシメタルニ依リ同日以降曩ニ揭ケタル十錢紙幣交換ニ關スル約條書ハ自然消滅ニ歸シタリ（國庫編國庫金出納所、代理店ノ部參照）

又同年三月三十一日本行代理店國庫金取扱雜則第八臨時國庫金取扱ノ部編成出來シタルヲ以テ之ヲ各代理店ニ達シタルカ右臨時國庫金取扱ノ部ハ全ク十錢紙幣交換取扱方ヲ規定セルモノナルヲ以テ左ニ之ヲ揭ク（國庫編國庫金出納所、一般ノ部參照）

日本銀行代理店國庫金取扱雜則　第八

臨時國庫金取扱ノ部

第一條　拾錢政府紙幣交換事務ハ明治十九年勅令第五十號及大藏省令第二十五號ニ由リ交換請求スルモノニ應シ補助銀貨又ハ一圓銀貨若クハ兌換銀券ヲ以テ交換ノ取扱ヲ爲スモノタルヘシ但其事務ハ國庫金出納所事務ニ連係セサルモノナリ

第二條　拾錢政府紙幣交換基金ハ豫メ本行ヨリ送付預ケ置クヘキニ付代理店ハ臨第一號書式ノ預リ證書ヲ差出スヘシ但基金減少セシトキハ郵便又ハ電信ヲ以テ本行ヘ請求スヘシ

第三條　拾錢政府紙幣交換ノ請求アルトキハ其眞贋ヲ鑑査シ後基金ヲ以テ交換スヘシ但其代リ金ハ第一條種類ノ内請求者ノ望ニ隨フヘシト雖モ可成的兌換銀券又ハ壹圓銀貨ヲ以テ拂渡スヘシ

第四條　交換ノ際贋造又ハ變造ノ紙幣ヲ發見セシトキハ損傷紙幣交換取扱順序第二條ニ準シテ處分スヘシ

第五條　交換ヲ請求セシ拾錢紙幣ノ内損傷甚タシク鑑査行屆キ難キモノアルトキハ預リ證書ヲ交付シテ之ヲ預リ直ニ本行ヘ郵送（破裂セサル樣取計フヘシ）何分ノ答示ヲ得テ後處分スヘシ但其場合ニ在テハ本行ニテ交換スヘキモノト見ルトキハ更ニ預リ證書ヲ送付スヘクニ付之ヲ以テ交換手續ヲ了シ其證書ヲ現紙幣ト同視送付スヘシ

第六條　交換シタル紙幣ハ損傷紙幣打拔手續ニ準シテ大藏卿印章ヲ打拔キ每一ケ月分取纏メ翌月十日迄ニ發出本行ヘ遞送シ即日臨第二號書式ノ納付書ヲ作リ本行ヘ郵送スヘシ但其打拔濟紙幣及印章ハ普通荷物トシテ海陸便宜ニ回送スヘシ（打拔濟紙幣ト印章トハ日ヲ隔テ、別便ヲ以テ回送スヘシ）而シテ其打拔濟紙幣荷物ニハ（拾拔紙）ト又印章ニハ（拾拔札）ト符號ヲ記スヘシ

第七條　代理店ニ於テ交換打拔濟紙幣ヲ送納セシ上本行又ハ大藏省ニ於テ鑑査ノ際贋造又ハ變造ノモノヲ發見スルトキハ本行ヨリ其旨通知スヘクニ付代理店ニ於テ之ヲ辨償スヘキモノトス

第八條　代理店ニ於テ交換基金及ヒ換了紙幣ノ受拂ヲ勘定スル爲メ左ノ帳簿ヲ設置シ尙報告表ヲ作ルヘシ

一　拾錢政府紙幣交換金元帳（臨第三號書式）

是ハ本行ヨリ預リタル基金及換了紙幣ノ出入殘高ヲ勘定スルモノトス

一　拾錢政府紙幣交換金出入報告表(臨第四號書式)

是ハ元帳ニ據リ出入アル日毎ニ之ヲ作リ本行ヘ差出スヘキモノトス

臨第一號

第　號

證

一金何圓也

內

壹圓銀貨

五拾錢銀貨

貳拾錢銀貨

拾錢銀貨

五錢銀貨

兌換銀券

右ハ拾錢政府紙幣交換基金トシテ正ニ相預リ候也

年　月　日

日本銀行何地代理店

何々銀行役名

何　某

臨第二號

記

一拾錢政府紙幣何圓也

但何月何日何會社何丸ヘ積入回送ノ分(又ハ何月何日發通運會社便ヲ以テ回送ノ分)

右ハ明治何年何月中換了拾錢紙幣納付候也

年　月　日

日本銀行總裁宛

日本銀行何地代理店

何々銀行役名

何　某

紙幣　紙幣交換　政府紙幣

拾錢政府紙幣交換金元帳

年月日	摘要	借方 壹圓銀貨	借方 補助銀貨	借方 兌換銀券	借方 換了紙幣	借方 合計	貸 壹圓銀貨	借方 補助銀貨	借方 兌換銀券	借方 換了紙幣	借方 合計	借或貸	差引殘高 壹圓銀貨	差引殘高 補助銀貨	差引殘高 兌換銀券	差引殘高 換了紙幣	差引殘高 合計

臨第三號（竪一尺二寸 横八寸五分）

紙幣　紙幣交換　政府紙幣

臨第四號

拾錢政府紙幣交換金出入報告表

第　號　明治何年何月何日

金種類	前日ヨリ越高	受高	拂高	差引殘高
壹圓銀貨				
補助銀貨				
兌換銀券				
換了紙幣				
總計				

用紙美濃紙（竪九寸 横六寸五分）

日本銀行何地代理店

十錢紙幣ノ流通ハ獨リ內國ニ止ラス遠ク朝鮮ニ及ヒタルモ同地ニハ之カ交換取扱店ノ設置ナカリシヲ以テ流通上障害無キヲ保シ難キモ海外ヘ本行交換代理店ヲ設置スルハ不都合ノ嫌アルヲ以テ明治二十年五月三十日第一國立銀行ニ囑託シ在朝鮮同行釜山浦、元山津、仁川港三支店ニ於テ左記取扱手續ニ據リ十錢紙幣ヲ交換スルコトヽシタリ依テ同日大藏大臣ニ對シ其旨及此取扱ニ係ル元金遞送費、換了紙幣遞送費、荷造料並電信料等ハ實費ヲ以テ下渡相成度旨ヲ稟申シタルニ同年六月八日認可セラレタリ

朝鮮國內ニ流通スル我拾錢紙幣交換事務ノ取扱方ヲ第一國立銀行ニ協議委囑スルニ付同行ハ在朝鮮釜山浦元山津仁川港ノ三支店ヲシテ左ノ手續ニ據リ該事務ヲ取扱ハシムヘシ

第一條　朝鮮國內釜山浦元山津仁川港ニ在ル貴行支店ニ於テ取扱フヘキ拾錢紙幣交換ノ事務ハ總テ別冊雜則(第八)ヲ適用スルモノトス

第二條　日本銀行ハ前第一條ノ事務取扱方ヲ第一國立銀行ニ委囑スト雖別段保證金ヲ要セサルニ付各支店ノ不注意ヨリ出タル總テノ損失ハ第一國立銀行之ヲ負擔スヘシ

第三條　交換基金ハ豫算ヲ以テ預ケ入ルヽニ付其交換高基金ノ半額ニ達スルキハ別冊(第八)第二條ニ據リ請求スヘシ但基金ハ別途ニ流用スルヲ得ス尤萬一基金竭乏ノ場合ニ於テハ適宜ノ取計ヲ以テ各支店ニ於テ立替流通上澁滯セサル樣取計ヘシ尤モ其立替金ニ對シテハ利子ヲ付セサルモノトス

第四條　交換事務ニ關スル手數料ハ日本銀行ヨリ別冊雜則(第九)第十四條ニ揭ケタル割合ヲ以テ第一國立銀行本店ヘ仕拂ヘキニ付該事務取扱ノ爲メニ要スル第五條ニ揭クル約束外ノ經費ハ各支店ニ於テ之ヲ辨スルモノトス

第五條　基金請求ニ付要スル電報料及回送料幷ニ海上保險料等ハ日本銀行ヨリ之ヲ支辨スヘシ」

斯クテ通用禁止期限タル明治二十年六月三十日ヲ以テ之カ交換期限ト定メラレシモ同月十七日大藏省令第九號ヲ以テ更ニ同年十二月三十一日迄交換期限ヲ延長スルニ依リ右期限內ニ本行本支店又ハ代理店ヘ交換方申出ツヘキ旨公布セラレ續テ七月二日十錢紙幣交換場所僅少ノ爲メ引換方不便ノ聞エアルニ依リ東京、京都、大阪ノ三ケ所ニ於テハ此際特ニ交換場所ヲ增設シ又右三ケ所以外ノ土地ニ在テモ交換方不便ト思考スル場所ヘハ之ヲ增設シ以テ人民ノ不便無キ樣致スヘキ旨大藏大臣ヨリ達セラレタリ依テ同日東京ニ於テハ第一國立銀行、第三國立銀行、第四國立銀行東京支店、三井銀行、川崎銀行、橫濱ニ於テハ橫濱正金銀行、第二國立銀行、第七十四國立銀行ノ八行ニ委囑シテ同月四日以降右交換取扱方ヲ開始シ以上各行ヨリ引換濟紙幣ヲ本行ニ送付アリタルトキハ何時ニテモ之ヲ交換シ又基金入用ノ向ヘハ之ヲ交付シ置クコトヽシ右增設ノ旨ヲ官報及新聞紙ニ廣告シ又大阪支店ニ對シ大阪京都ニ於テモ右ニ準シ交換所ヲ增設スヘキ旨ヲ達セリ尋テ東京ニ於テハ大藏大臣通達ノ旨ニ據リ同年七月五日ヲ以テ前記ノ外十ケ所ニ交換取扱店ヲ增設シタルモ煩ヲ避ケ玆ニ一々記載セス

其後半ケ年宛數回交換期限ヲ延長シ明治二十二年十二月十四日ヲ以テ來ル二十三年六月三十日トセシカ同年三月一日法律第十三號ヲ以テ通用廢止政府發行補助貨幣及紙幣ノ引換請求期限ヲ定メ特ニ但書ヲ以テ去ル二十年六月三十日限リ通用ヲ廢止シタル十錢紙幣ハ此法律發布ノ日ヨリ起算シ滿三年ヲ以テ期滿免除ノ期限トスル旨ヲ明示セラレタルニ依リ十錢紙幣ノ交換期限ハ玆ニ明治

二十六年二月末日トナリタリ

既記ノ如ク十錢紙幣交換事務取扱代理店ハ國庫金出納所事務代理約條書ニ基キ委囑セルモノナルカ明治二十三年四月一日以降國庫金出納所ヲ廢止シ金庫制度ヲ布カレシニ依リ更メテ右金庫事務ヲ各銀行ニ委囑シタルモ此時以來公債其他ノ事務ハ從來ノ如ク金庫事務代理約條書中ニ包含セス全ク別種ノ約條書ニ依リ各銀行ト契約スルコトヽナレリ而シテ紙幣交換事務ハ公債其他事務代理約條書第一條ニ於テ取扱事務ヲ列擧セル中臨時取扱事務ノ條項ニ依リ各代理店ニ於テ取扱フコトヽナリタリ右金庫制度實施前ノ十錢紙幣交換事務代理店所在地、委託銀行等ニ就テハ國庫編ニ掲ケ其後ノモノニ就テハ國債編ニ掲ケタルヲ以テ茲ニ之ヲ省ク

尋テ同年四月二十六日大藏大臣ハ十錢紙幣ヲ始メ其他ノ政府紙幣、鎖店銀行紙幣等ノ交換ニ關スル箇々別々ノ命任及通達ヲ廢シ更メテ是等ヲ一括命任セラレタリ今政府發行十錢紙幣ニ關スル條項ヲ記載セハ該紙幣ハ本行本支店及各地代理店ニ於テ補助銀貨又ハ白銅貨ト交換シ交換濟紙幣ハ大藏卿印章ヲ打拔キ翌月末日限リ(其後二十四年五月十八日以降期限ヲ廢セラレタリ)其種類金額枚數ヲ區別シタル還納表ヲ添付シ主務ノ物品會計官吏ニ還納シ其證明ヲ受クヘシトセリ是ニ於テ本行亦之ニ準シ該取扱方帳簿等ノ改廢ヲ施シ同年五月九日國庫金取扱雜則第八ヲ廢シテ代理店紙幣交換取扱順序ヲ制定シ又本店支店ニ於ケル取扱方ニ就テハ紙幣交換取扱順序、支店紙幣交換取扱順序ヲ制定シ同月十二日ヲ以テ夫々支店代理店ニ達セリ而シテ之カ取扱順序ノ内容ハ命任書記載ノ事項ヲ敷衍シタルニ過キサルノミナラス其全文ハ第一目一般ノ部ニ掲ケタルヲ以テ茲ニ之ヲ掲ケス其後明治二十四年四月岐阜及和歌山ニ本行出張所ヲ設置スルニ及ヒ同所ニ於テモ本事務ヲ取扱ハ

シメ尋テ明治二十六年二月末日ヲ以テ十錢紙幣ノ交換期限到來シタルヲ以テ本行本支店出張所代理店ニ於ケル之カ事務モ亦終了ヲ告ケタリ

曩ニ記載セル如ク明治十九年八月三日拾錢紙幣交換手續ニ第三條ヲ追加シ代理店ニ於テ交換シタルモノニ限リ手數料トシテ交換額ノ千分ノ一ヲ支給セラルヘキ旨大藏大臣ノ命令アリシモ右ハ小額紙幣ノコトヽテ交換取扱ニ頗ル手數ヲ要スルニ依リ當時大藏大臣ニ認可申請中ナリシ代理店拾錢紙幣交換取扱手續第八條ニ於テ本行ヨリ代理店ヘ給與スヘキ手數料モ亦右同額トスヘキ旨ヲ明記セリ斯ク兩者同一額ナルニ於テハ本行カ交換基金ヲ代理店ヘ回送スルノ費用ハ之ヲ辨スルノ途無キニ依リ同年八月二十一日手數料增額或ハ別ニ遞送費支給相成度旨稟申シタルニ九月二十一日ヲ以テ代理店ヘ現送シタルモノニ限リ遞送實費ヲ支給スヘク但一圓銀貨交換ニ係ル分ハ兌換券ヲ以テ代用スヘキ旨指令セラレタリ尋テ二十年三月三十一日ヲ以テ制定シタル國庫金取扱雜則第八臨時國庫金取扱ノ部ニ於テハ代理店ニ給與スヘキ取扱料ニ付何等記載スル所ナカリシカ同年五月十日雜則第九給與金ノ部ヲ制定シ其第十四條ニ於テ交換手數料ハ交換金高千圓ニ付一圓ヲ、打拔手數料ハ千枚ニ付三錢六厘ヲ又打拔濟紙幣ノ遞送費ハ實費ヲ以テ支給スヘキ旨ヲ規定セリ(國庫編國庫金出納所、國庫金取扱料ノ部參照)其後右紙幣交換額頓ニ增加シタルカ何レモ汚染損傷甚シク眞贋鑑定ハ勿論算數方ニモ頗ル手數ヲ要スルニ依リ同年七月一日以降交換ノ分ヨリ交換金高千分ノ三ノ割合ヲ以テ手數料支給セラレタキ旨大藏大臣ニ稟請シタルニ同月三十日願ノ趣聞屆クルニ依リ十九年八月三日相達シタル紙幣交換手續追加第三條第一項ハ消滅ト心得ヘキ旨達セラレタリ尋テ二十三年四月二十六日改訂セラレタル命任書第十一條ニ於テ交換手數料トシテ交換高ノ千分ノ三ヲ、打貫手數料トシテ紙幣千枚ニ付

金三錢六厘ヲ又交換濟紙幣運搬費及荷造費ハ實費ヲ支給スヘキ旨明示セラレタリ尚ホ本行ヨリ代理店ニ給與スル取扱料ハ代理店紙幣交換取扱順序第十一條ニ於テ規定シ敢テ從前ト異ル所無カリキ」

今政府紙幣ノ交換高ヲ年別ニ表示スレハ左ノ如シ

明治十九年ヨリ明治二十三年三月末マテ紙幣消却高內譯

年次	交換高	摘要	金額
十九年	二〇、五四四、二五七、五〇〇円	銀貨ト交換	四三、三四六、七一六、一〇〇円
二十年	一一、九八五、七九四、三〇〇	公債ト交換	四、九三二、八〇〇、〇〇〇
二十一年	九、〇八〇、三一一、二五〇	損傷揩改引換	三二四、二五〇
二十二年	五、五四三、八〇二、六〇〇	計	四八、二七九、八四〇、三五〇
二十三年	一、一二五、六七四、七〇〇		
自一月至三月	四八、二七九、八四〇、三五〇		

年次	一圓以上紙幣交換高	五十錢以下紙幣交換高	引揚高
二十三年自四月至十二月	六、七九二、五四一、〇〇〇円	一、八〇〇、三一七、四五〇円	三〇〇・円
二十四年	三、七三五、四五五、五〇〇	一、一五五、六五七、三〇〇	四、七〇〇
二十五年	五、七五二、八九七、五〇〇	九九四、〇二五、二五〇	八八、六〇〇
二十六年	三、〇六七、四一七、五〇〇	七〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、六〇〇
二十七年	二、三〇二、四五三、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇、〇〇〇	〇
二十八年	一、八七五、三二三、〇〇〇	三八五、〇〇〇、〇〇〇	〇
二十九年	一、三六八、〇五二、五〇〇	四六〇、〇〇〇、〇〇〇	〇
三十年	一、四六五、〇七三、五〇〇	五〇八、一五四、四〇〇	〇
三十一年	一、五三一、二一七、五〇〇	二一六、一八五、〇五〇	二、二〇〇
三十二年	一、〇六九、七五六、五〇〇	四一一、二五〇、二〇〇	〇
三十三年	一、九四六、七一八、五〇〇		

年次	交換高	引揚高
三十四年	一二八、五一五、五〇〇	二九、五二六、四〇〇
三十五年	四六、二一八、〇〇〇	一一、七六一、六五〇
三十六年	二六、四五〇、〇〇〇	五、五七七、二五〇
三十七年	二五、二九一、〇〇〇	六、四九一、五〇〇
三十八年（三十七年分追加）	六、二五二、〇〇〇	二、三一三、九〇〇
計	三一、一三九、六三二、五〇〇	七、〇八六、二六〇、三五〇

備考　二十三年三月マテノ交換高ハ其筋ノ調査ニ係ルモノナリ

第三目　損傷政府紙幣

本行ニ收納シタル政府紙幣中損傷セルモノハ當初之ヲ取纏メ置キ之カ交換事務ヲ委託セラレ居ル三井銀行又ハ國立銀行等ニ就キ交換シ來リシモ漸次收納金額ノ增加スルニ從ヒ損傷紙幣モ亦增加シ一々他銀行ニ之カ交換ヲ請求スルハ甚タ不便ナルヲ以テ明治十六年九月二十日大藏卿ニ對シ本行ニ於テモ上記銀行ト同シク損傷紙幣交換事務ヲ取扱ヒタキ旨出願シタルニ同年十月二日ヲ以テ願ノ趣聞屆クルニ付損傷札交換規則ニ照準引換フヘク尤モ手數料トシテ交換高千圓ニ付二圓ノ割ヲ以テ支給スルニ依リ人民ヨリ手數料等ヲ徵收スヘカラス尙ホ交換規則及損札取扱方ノ義ハ出納局長ヨリ達スヘキ旨指令セラレ翌三日ヲ以テ出納局長ヨリ交換規則及取扱手續ヲ達セラレタリ斯クテ本店ニ於テハ損傷政府紙幣交換事務ヲ開始シタリシカ尋テ明治十七年九月二十二日大藏卿ノ認可ヲ得テ大阪支店ニ於テモ亦本店同樣交換事務ヲ取扱フコトヽナレリ

抑モ損傷紙幣交換ニ關スル規定ハ明治七年二月十二日大藏省達ヲ以テ各種紙幣損札交換規則ヲ公布セラレシニ始マリ爾後數度ノ改正ヲ經テ明治十年六月十六日ニ至リ大藏省達乙第二十一號ヲ以

テ第九條以下全部ヲ改正シ尋テ十二年二月小改正アリシカ爾後何等ノ改正ヲ見ス依テ玆ニハ本行ノ該事務取扱ヲ開始シタル當時現行ノ規則ヲ掲クヘシ

各種紙幣損札交換規則

第一條ヨリ第六條迄ハ太政官民部省金札幷大藏省開拓使發行兌換證券ノ損札交換ニ屬スルモノナレハ之ヲ略ス

第七條　新札九種寸法各種ノ別アリ及ヒ彩欄各色ノ異同アルニ着目スヘシ其加押スル所ノ印章ハ四個ナリ表面ニ明治通寶ノ朱印出納頭ノ勘合印アリ裏面ニ大藏卿ノ印記錄頭ノ勘合印アリ明治通寶及大藏卿ノ印章ハ札ニ隨ヒ大小ノ差異アリ出納記錄兩頭ノ印色ハ其種ニ隨ヒ青綠ノ差異左ノ如シ

百圓札

寸法　竪凡ソ五寸三分
　　横凡ソ三寸五分五厘

彩色　表ハ淡青地ニ黒紋
　　裏ハ淡紅地ニ深紅紋

印章四個　表明治通寶ノ朱印出納頭ノ綠印
　　裏ニ大日本帝國政府大藏卿ノ大黒印記錄頭ノ青印

五拾圓札

寸法　百圓ニ同シ

彩色　表ハ淡紅地ニ黒紋
　　裏ハ淡青地ニ深青紋

印章四個　表ニ明治通寶ノ朱印出納頭ノ青印
　　裏ニ大日本帝國政府大藏卿ノ大朱印記錄頭ノ綠印

拾圓札

寸法　竪凡ソ四寸五分五厘
　　横凡ソ二寸九分五厘

彩色　表ハ淡青地ニ黒紋
　　裏ハ淡紅地ニ紫色紋

印章四個　表ニ明治通寶ノ朱印出納頭ノ綠印
　　裏ハ大日本帝國政府大藏卿ノ大朱印記錄頭ノ青印

五圓札

寸法　拾圓ニ同シ

彩色　表ハ橙黄地ニ黒紋
　　裏ハ淡黒地ニ青紋

印章四個　表ニ明治通寶ノ朱印出納頭ノ青印
　　裏ハ大日本帝國政府大藏卿ノ大朱印記錄頭ノ綠印

貳圓札

紙幣　紙幣交換　損傷政府紙幣

寸法　竪凡ソ三寸七分
　　横凡ソ二寸四分
彩色　表ハ青地ニ黒紋
　　裏ハ橙黄地ニ茶褐色紋
印章四個　表ハ明治通寶ノ朱印出納頭ノ綠印
　　裏ハ大日本帝國政府大藏卿ノ小朱印記錄頭ノ青印

壹圓札
寸法　竪凡ソ三寸七分五厘
　　横凡ソ二寸三分五厘
彩色　表ハ橙黄地ニ黒紋
　　裏ハ淡青地ニ深青紋
印章四個　表ハ明治通寶ノ朱印出納頭ノ青印
　　裏ハ大日本帝國政府大藏卿ノ小朱印記錄頭ノ綠印

半圓札
寸法　竪凡ソ二寸九分五厘
　　横凡ソ一寸七分五厘
彩色　表ハ綠地ニ黒紋
　　裏ハ白地ニ淡褐色紋

印章四個　表ハ明治通寶ノ朱印出納頭ノ綠印
　　裏ハ大日本帝國政府大藏卿ノ小朱印記錄頭ノ青印

貳拾錢札
寸法　竪凡ソ二寸九分
　　横凡ソ一寸七分五厘
彩色　表ハ橙黄地ニ黒紋
　　裏ハ白地ニ青紋
印章四個　表ニ明治通寶ノ朱印出納頭ノ綠印
　　裏ニ大日本帝國政府大藏卿ノ小朱印記錄頭ノ青印

拾錢札
寸法　貳拾錢ニ同シ
彩色　表ハ淡紅ニ黒紋
　　裏ハ白地ニ綠紋
印章四個　表ニ明治通寶ノ朱印出納頭ノ綠印
　　裏ハ大日本帝國政府大藏卿ノ小朱印記錄頭ノ青印

第八條　新札ハ其全部ノ紋理彩欄及ヒ記號番號アリテ豫シメ贋模ヲ防ク周密ナリト雖モ就中大藏卿明治通寶及ヒ二種ノ勘合印アリテ其確證ヲ表セリ殊ニ其肉色精良ナルヲ以テ假令湯水ニ浸シ洗フトモ決シテ消滅スルコナシ故ニ眞僞不分明ノ札ハ湯水ニ浸シ指頭ニテ摩擦スレハ

紙幣　紙幣交換　損傷政府紙幣

眞僞必ス判然スヘシ其他壬申二百八拾一號幷ニ癸酉百七拾四號布告ノ趣ニモ注意シ取計フヘシ

第九條　水火等ノ災ニ罹リ或ハ鼠虫等ノ爲メ毀損セシモノヲ以テ交換ヲ乞ハヽ毀損ノ原因ヲ承認シ其札面ノ數位印章及裏面ノ紋色ニ着目檢査シテ左ノ箇條ニ照シ交換ニ付スヘシ

二切レ三切レ其外細斷スルトモ大藏卿印幷表裏二個ノ勘合印ハ勿論中央ノ數位及ヒ四隅ノ數字上下ノ記號番號マテ糊貼シテ全部連續セルモノ

燒損或ハ鼠虫ノタメ札面所々ヲ毀損スルトモ大藏卿印ヲ全存シ中央ノ數位及番號記號トモニ存在スルモノ

但大藏卿印ハ大日本帝國政府大藏卿ノ十字全存セサルモノハ半存ト見做スヘシ然レ𪜈全紙連續シテ鼠虫等ノタメ印中二三ノ字ヲ毀損スト雖𪜈中央ノ數位及表面四隅ノ數字幷ニ裏面上下ノ番記號トモニ顯存スルモノハ全額ヲ以テ交換スヘシ

縱橫斜ニ毀損スルトモ大藏卿ノ印全存シ中央ノ數位或ハ明治通寶ノ印ノ內一個幷表面四隅ノ數字二個以上ヲ現存シ上下ノ內記號番號共ニ一ケ所存在スルモノ

右全額ヲ以交換

縱横斜毀斜半片ハ毀滅シ殘リ半片ノ紙幣ハ大藏卿印中央ノ數位明治通寶ノ印半存シ上下ノ內記番號一個ヲ存スルモノ

但大藏卿印ハ大日本帝國政府大藏卿十字ノ內一字全體ヲ認ムルモノハ半存ト見做スヘシ」

三切四切其外細斷スルトモ糊貼シテ大藏卿印半存シ中央ノ數位或ハ四隅ノ數字二個ヲ現存シ上下ノ內記號番號一個ヲ存スルモノ

右半額ヲ以交換

大藏卿印全存スルトモ中央ノ數位及表面四隅ノ數字ヲ滅セシモノ

數位勘合印其他ノ印章存在ストモ大藏卿印中字體ヲ不認モノ

右交換ニ附スヘカラス

第十條　毀損燒損ノ紙幣交換ヲ乞ハヽ普通ノ損札ハ第九條ノ如ク毀損ノ原因ヲ承認シ不都合ノ儀無之候ハヽ交換ニ付スト雖𪜈可燃性藥汁含密性藥水海水其他腐蝕性ノ液類ニテ毀損セシ札又ハ油汚雨濕或ハ黴敗及鼠虫喰等ノ爲メ強ク毀傷シ或ハ燒損等強キモノハ持參人ヨリ其毀傷ノ原因ヲ詳記セル書面ニ證人ノ印信ヲ押サシメ事實明瞭ニ分リタル上交換ニ付スヘシ

第十一條　毀損シタル紙幣ヲ檢査スルニ中央ノ數位及四隅幷裏面紋色中ノ數字ヲ變換描改シ又ハ描改セント欲シテ手入セシヲ削去リ或ハ墨ヲ以塗抹セシ札其外不都合ノ事跡之レアル札ハ昨九年太政官第五十七號公布及ヒ昨九年當省甲第十二號布達ニ照準速ニ警察出張所ヘ差出處分ヲ請フヘシ

第十二條　毀損札三切或ハ四切レ其外細斷連續セサルモノ或ハ毀損燒失方ニヨリ第九條ニ揭ケタル箇條ニ照準難致分ハ第十條ノ通リ其毀傷ノ原因ヲ詳記セル書面ヲ差出サセ之ニ添書シテ引換方ヲ其管轄廳ヘ伺出ヘシ該廳ニ於テハ尙之ニ添書シテ出納局ヘ照會スヘシ

第十三條　損札交換ノ際ニ當リ贋僞ノ紙幣ハ勿論兼テ公布有之候於元紙幣寮押印ノ際紛失ノ未整五圓札（記號ふ番號〇三一九壹枚、〇三八〇〇マデ）持參スルモノアルトキハ（記號ぬ番號七ヨリ〇四〇〇マデ）半圓札（記號

明治五年九月太政官第貳百八拾壹號公布同八年三月當省甲第九號布達及ヒ昨九年四月太政官第五拾七號公布ニ準據シ速ニ警察出張所等ヘ申出處分ヲ受クヘシ

而シテ右政府紙幣(太政官札又ハ民部省札ニ對シ新紙幣ト稱スルコトアリ)ハ紙質脆弱破裂等ノ憂少カラサルヲ以テ明治十三年以來之ヲ改造シ十圓、五圓、一圓、五十錢及二十錢等五種ノ紙幣(改造紙幣ト稱シ或ハ贋ノ政府紙幣ニ對シ新紙幣ナル名稱ハ大ニ注意ヲ要ス)ヲ發行セラレ而シテ右改造紙幣ノ損傷セルモノニ對スル交換規則ハ明治十四年五月二十四日大藏省布達甲第七十五號ヲ以テ左ノ通リ達セラレタリ

損紙幣交換規則

水火災或ハ鼠喰虫喰等ノ爲メ毀損セシモノヲ交換スルトキハ毀損ノ原因ヲ取糺シ左ノケ條ニ照準交換スヘシ

第一條　小破或ハ二ツ切レ三ツ切レ等幾片ニ細斷スルトモ中央ノ數位(二字ヲ及ヒ大藏卿出納局長ノ印章記錄局長ノ割印上下ノ番記號(四ケ所)マテ接續スルモノ又全部所々破損スルトモ中央ノ數位(二字トモ)ヲ認メ大藏卿出納局長ノ印章記錄局長ノ割印上下ノ番記號四ケ所ノ內二ケ所(記號一ケ所又ハ番號一ケ所ノミ二ケ所記號ノミ二ケ所)存在スルモノハ全額ヲ以テ交換ニ附スヘシ

但全紙接續スルトモ左右ノ番記同シカラサルモノ又ハ彩紋等不合他ノ紙幣ヲ以テ接續スルトキハ交換ニ附セス

第二條　縱又ハ橫斜等半片ハ消滅シ殘リ半片ノ紙幣ハ中央ノ數位(二字ノ內)一字ヲ存在シ大藏卿印章或ハ出納局長ノ印章記錄局長割印ノ內一個上下番記號ノ內一個ヲ認ムルモノ及ヒ數位二字トモ各半存セシハ半額ヲ以テ交換ニ附スヘシ

第三條　大藏卿及其他ノ印章番記號トモ全存スルト雖モ中央ノ菊章及ヒ數位(二字トモ)ヲ認サルモノ中央ノ菊章及ヒ數位(二字トモ)存在スルトモ各印章及ヒ番記號ヲ不認モノハ交換ニ附スヘカラス

越エテ明治十七年四月八日ニ至リ大藏省告示第四十一號ヲ以テ右交換規則ヲ左ノ通リ改正セラレタリ

損紙幣交換規則

水火災或ハ鼠喰虫喰等ノ爲メ毀損セシモノヲ交換スルトキハ毀損ノ原因ヲ取糺シ左ノ箇條ニ照準交換スヘシ

第一條　小破或ハ二ツ切レ三ツ切レ等幾片ニ細斷スルトモ中央ノ數位(數位トハ各紙幣ノ種類ニ隨ヒ拾圓、五圓、壹圓、五拾錢、貳拾錢ヲ云フ以下皆之ニ同シ)全存シ大藏卿出納局長ノ印章記錄局長ノ割印上下ノ番記號(四箇所)マテ接續スルモノ又全部所所破損スルトモ中央ノ數位全存シ大藏卿出納局長ノ印章記錄局長ノ割印ノ內壹個上下番號記號四個所ノ內二箇所(記號一箇所番號一箇所又ハ番記號ノミ二箇所記號ノミ二箇所)存在スルモノ又中央ノ數位半存ト雖モ各印章全存番記號二箇所ヲ認ムルモノハ全額ヲ以テ交換ニ附スヘシ

但全紙接續スルトモ左右ノ番記同シカラサルモノ又ハ彩紋等不合他ノ紙幣ヲ以テ接續スルトキハ交換ニ附セス

第二條　縱又ハ橫斜等半片ハ消滅シ殘リ半片ノ紙幣ハ中央數位半存シ大藏卿印章或ハ出納局長ノ印章記錄局長割印ノ內壹個ヲ認ムルモノハ半額ヲ以テ交換ニ附スヘシ

第三條　大藏卿及ヒ其他ノ印章番記號トモ全存スルト雖モ中央ノ數位ヲ認メサルモノ中央ノ數

位存在スルトモ各印章及ヒ番記號ヲ認メサルモノハ交換ニ附スヘカラス

右交換規則ノ外其細則タル交換手續ハ明治十六年十月本行ヘノ交換事務取扱命令ニ續キ出納局長ヨリ達セラレ尚ホ十七年九月大阪支店ニテ本店同樣取扱命令ノ際左ノ通同支店交換手續ヲ達セラレタリ

交換手續書

人民ヨリ損札交換方申出候ハヽ先ツ居所姓名ヲ帖簿ニ登錄シ其上持參人ノ面前ニ於テ現札ヲ檢査シ損札交換規則ニ照シ交換ヲナスヘシ

一　引換ヘタル損札ハ凡金高見計之ニ各種金高ノ內譯書ヲ添（正副貳通）當局大阪出張所ヘ納付スヘシ

但シ代リ金ノ請取證書ハ成規ノ通リ印紙ヲ貼用シテ差出スヘシ

一　右檢查ノ節贋札及不足其外不都合ノ紙幣發見候ハヽ立會人ヘ下附ス然ルヘキハ他ノ紙幣ヲ以償納致スヘシ

一　損札交換規則ニ照準シテ交換額決シカタキ紙幣ハ同書第十二條ニ照シ所持人ヨリ其毀損ノ原因ヲ詳記セル書面ヲ差出サセ之ニ添書シ現紙幣ヲ添テ交換方當局大阪出張所ヘ伺出ヘシ當局同出張所於テハ右添書ニ交換額ヲ指令シ代リ金下ケ渡スヘシ

一　交換手數料ハ毎歲六月迄ノ分ハ七月十日迄十二月迄ノ分ハ一月十日迄兩度ニ損札交換額ヲ記載セル書面ヲ添請取方當局ヘ申出ヘシ

本店取扱ニ係ル損傷紙幣ハ適宜取纏メタル上其內譯明細書ヲ添付シテ之ヲ大藏省ニ納付シ後日之カ代リ金ヲ領收スルヲ便ナリトシ明治十六年十二月十日其旨出納局ニ照會シタルニ同月十四日ヲ以テ爾後本行申出ノ通リ取計フヘキニ就テハ損札ハ追テ檢查スルコトヽシ納付ノ際ハ持參人ト同局鑑定方ト合封シ置キ次テ檢查日ヲ通知シ本行ヨリノ立會人ト共ニ檢查ヲ執行スヘク若シ其節贋造紙幣、交換額相違其外鑑定違ヒノモノヲ發見シタルトキハ同種ノ紙幣ヲ以テ辨償スヘキ旨通知アリタリ

其後明治十八年六月六日第十四號布告ノ公布アリテ政府發行ノ紙幣ハ十九年一月ヨリ漸次銀貨ニ交換シ其交換シタル紙幣ハ之ヲ消却シ其交換手續ハ大藏卿之ヲ定メ本行ヲシテ其事務ヲ取扱ハシメラルヽコトヽナリシヲ以テ十八年十一月十日大藏卿ハ本行ニ其手續ヲ達セラレシカ翌十九年三月三日ニ至リ右手續ヲ改正シタルニ依リ四月一日以降實施スヘク尚ホ五十錢以下損傷紙幣ト補助銀貨トノ交換方ヲモ本行ニ命任スルヲ以テ右紙幣交換手續ニ準據シ交換方取計フヘク但從前ノ達ハ本文施行ノ日ヨリ廢止スヘキ旨ヲ達セラレタリ而シテ該紙幣交換手續ハ本節第二目政府紙幣ノ部ニ掲ケタルヲ以テ玆ニ之ヲ省略セリ

尚ホ右五十錢以下損傷紙幣交換代リ金トシテ紙幣ヲ要求スルモノアルトキハ國庫預リ金ノ內ヲ以テ交換スヘキ旨其筋ヨリ達セラレタルヲ以テ同年七月七日其取扱手續ヲ左ノ通リ定メタリ

一　（國庫局）第五課ニ於テ損傷小紙幣交換アリテ其代リ金紙幣ヲ要請スルトキハ請求書ヘ紙幣ヲ要スル旨ヲ記シ第三課ヘ送付スヘシ

一　（國庫局）第三課ニ於テハ國庫金預リ金ノ內政府紙幣ノ在高ニ照査シ差支ナキトキハ該請求書ヘ認印ヲ捺シ局長ノ檢印ヲ得テ之ヲ返付スヘシ

一（國庫局）第五課ニ於テハ局長ノ檢印ヲ證トシテ交換票ヲ作リ紙幣ト交換ノ旨ヲ記シ請求人ヲシテ金庫局ヘ持參セシメ交換ノ手續ヲ爲スヘシ

一　金庫局ニ於テハ交換票ニ依リ國庫金ノ內ヲ以テ交換ヲナシ該損傷紙幣ハ廢却（廢却ノ順序ヲ爲スト雖大藏省ヨリ拂出切符ヲ得サル間ハ國庫金タルヲ免レサレハ交換損傷小紙幣中ヘ混淆スルヲ得ス）ノ順序ヲ爲シテ別段ニ保存スヘシ

但右交換ハ單ニ圓以上ノ紙幣ト小紙幣（損傷トノ交換ニ止マルモノニ付現金ニ異動ナキモノトス）

一（國庫局）第三課ニ於テハ國庫預カリ金ノ內ヲ以テ交換シタル員額ヲ記帳スル爲メ補助簿（差引帳ニシテ損札ノ在高ヲ記入シ此帳簿ニ依テ大藏省ヘノ報告書ヲ調製スヘシ）ヲ設ケ之ニ記入シ尙其交換高ヲ大藏省ヘ（當日交換シタルモノヲ翌日迄ニ）報告スヘシ

一（國庫局）第五課ニ於テハ該損傷紙幣ノ交換ヲ記入スル爲補助簿ヲ設ケ置クヘシ

爾來右ニ據リ取扱ヒ來リシカ明治二十一年九月二十七日ニ至リ同年九月三十日限リ補助銀貨トノ交換ヲ廢シ翌十月一日以降去ル十六年十月二日付ヲ以テ指令シタル損傷紙幣交換ノ手續ニ據リ取扱ヒ代リ金ハ五十錢、二十錢紙幣及銅貨ヲ以テ交付スヘキ旨大藏大臣ヨリ達セラレタリ尤モ明治二十一年六月以降九月迄ニ銀貨ト交換シタル五十錢以下損傷紙幣ハ國庫ノ都合ニ因リ二十錢紙幣及銅貨ト交換ノコトニ更正シ既ニ大藏省國債局ニ送納シタル交換濟損傷紙幣ハ此際同省金庫局ニ納替ノ手續ヲナシ送納未濟ノ分ハ直ニ金庫局ニ納付シテ（送納未濟ノ內現札整理中ニ係ルモノハ預リ證書ヲ以テ納ムヘシ）同局ヨリ代リ紙幣ヲ受取リ曩ニ五十錢以下損傷紙幣交換基金トシテ本行ヘ渡シ置カレタル銀貨ノ殘高ハ國債局ノ達ニ依リ之ヲ返納スヘク又右更正ニ係ル損傷紙幣ノ打貫料請求書ハ金庫局ヘ差出スヘキコトヽナレリ

以上ハ本行本支店ニ於ケル明治二十一年頃マテノ損傷政府紙幣交換手續ナルカ其他本行カ大藏卿ノ命ヲ受ケ國庫金取扱所又ハ國庫金出納所ニ於テ取扱ハシメタル同手續ノ大要ヲ述フレハ大藏卿ハ明治十七年二月一日ヲ以テ本行ニ對シ國庫金取扱所ニ於ケル損傷紙幣交換取扱方ヲ命スルニ依リ左記損傷紙幣交換取扱順序及同打拔手續ニ照準シ同年三月一日ヨリ實施スヘキ旨ヲ達セラレタルニ依リ夫々各取扱所ヘ通達セリ

損傷紙幣交換取扱順序

第一條　損傷紙幣ノ交換ヲ請求スルモノアルキハ其目前ニ於テ檢査ヲナシ交換規則ニ據リ交換スヘシ

第二條　贋造及變造紙幣ヲ發見スルキハ明治九年四月太政官第五十七號同年五月當省甲第十二號達ニ照準シ見本紙幣未整紛失紙幣ヲ發見スル時ハ同五年九月太政官第二百八十一號同八年三月當省甲第九號同九年四月太政官第五十七號同十一年一月當省甲第二號達ニ照準シテ警察署若クハ警察分署ヘ屆出ヘシ

第三條　損傷紙幣交換代金ハ預金ノ中ヨリ同額ノ紙幣ヲ拂出交換請求人ヘ相渡シ損傷紙幣ハ預金ノ中ヘ收入スヘシ但損傷紙幣ハ預金ヘ收入スルト雖モ其現品ハ普通紙幣ト混同スヘカラス

第四條　損傷紙幣ハ預金ノ中ニ於テ交換ヲ爲スト雖モ金員ニ增減ナキモノトス然レ共日計表（第一圖）ヲ添付スヘシ（國庫納金取扱順序第九圖）

第五條　交換濟ノ損傷紙幣ハ打拔手續書ニ照準毎日其印章ヲ打拔ヘシ

第六條　印章打拔濟ノ紙幣ハ出納局ヘ送納ヲ命スヘキニ付其令達ヲ得ルヤハ三日以内ニ荷造ヲ爲シ之ヲ出納局ヘ送納スヘシ而シテ差立タル當日送納書（第二圖）ヲ作リ同局ヘ送付スヘシ

第七條　送納スヘキ打拔濟ノ紙幣ハ通常物品ノ取扱ヲ以出納局用物トシテ海陸便宜ニ回送スヘシ但打拔濟ノ印章ト紙幣トハ別封ニ仕立符號ヲ附シ日ヲ隔テテ（譬ハ紙幣ヲ甲日ニ差立タルヤ又ハ印章ハ乙日ニ差立ルカ如シ）回送スヘシ

第八條　印章打拔濟ノ損傷紙幣到着スルヤハ出納局鑑定人ヲシテ鑑定セシムヘキニヨリ日本銀行本店ヨリ立會人ヲ差出スヘシ

第九條　出納局ニ於テ鑑定ノ際贋造變造及見本紙幣未整紛失紙幣其他半額ニ交換スヘキモノヲ見誤リ全額ニテ交換ヲナシタルモノ發見又ハ員數不足スルヤハ總テ日本銀行ヨリ辨償スヘシ

第十條　辨償スル紙幣ハ總テ同種類ヲ以テスヘシ萬一同種類紙幣ニテ辨償シ能ハサルヤハ帳簿計表等ヲ式ノ如ク更正シテ他ノ種類ヲ以テスヘシ

第十一條　損傷紙幣交換ノ爲メ仕用スヘキ帳簿計表左ノ如シ

損傷紙幣種類別差引簿　（第一三圖）

同　一旬受拂報告表　（第一四圖）

同　受拂勘定書　（第一五圖）

第十二條　損傷紙幣種類別差引簿ハ交換ヲ爲シタル毎ニ各種類ヲ分チ之ヲ記入シ其殘高ヲ第四條ノ在高報告ヲナスヘシ

第十三條　損傷紙幣一旬受拂報告表ハ毎旬損傷紙幣種類別差引簿ノ受拂高及打拔濟ヲ區分シ翌旬二日以内ニ日本銀行本店ヲ經由シテ出納局ヘ差出ヘシ

第十四條　損傷紙幣受拂勘定書ハ一週年（其年七月一日ヨリ翌年六月卅日マテ）ヲ一期トシ毎期受拂額ヲ證明決算スルモノナレハ二通ヲ作リ其期限後十五日以内ニ日本銀行ヘ送致シ本店ハ之ヲ得テ奥書證印シ其到着ノ日ヨリ十五日以内ニ出納局ヘ差出ヘシ出納局ハ審査ノ一通ハ留メ置一通ハ奥書證印シテ返戻スヘシ日本銀行ハ之ヲ得テ勘定ヲ決了セシモノトスヘシ

第十五條　交換規則ニ照準シ難キ損傷紙幣ニシテ交換額難決モノ或ハ燒損等强クシテ手ヲ觸ル毎ニ破損スルモノハ交換請求人ヘ其旨ヲ示シ預リ證書ヲ附與シ交換規則第十條ニ照シ損傷ノ原因書ヲ差出サセ現品ヲ添テ（燒損等强キモノハ其儘板ニ挾ミ或ハ箱ニ入可成丈傷マサル樣ニ注意スヘシ）交換方ヲ出納局ヘ伺出ヘシ

第十六條　損傷紙幣交換高千圓ニ付金貳圓ノ割ヲ以手數料ヲ支給スヘキニ付人民ヨリ手數料ヲ請取ヘカラス但第十條更正受拂ニ係ルモノハ此手數料ヲ給セス

第十七條　印章打拔ノ手數料ハ千枚ニ付金三錢六厘ノ割ヲ以支給スヘシ

第十八條　手數料及運送費ハ毎歲兩度ニ拂渡スヘキニ付六月マテノ分ハ七月十日マテ十二月マテノ分ハ翌年一月十日マテニ明細仕譯書（第六圖）ヲ作リ之ニ會計局長宛ノ請求書ヲ添ヘ出納局ヘ差出スヘシ但運送費ハ運搬ヲ爲シタル會社等ノ受取證書ヲモ添付スヘシ

損傷紙幣打拔手續

一　紙幣ハ大藏卿印輪廓雷紋ノミヲ殘シ印中ハ悉皆打拔新紙幣ハ中央菊章幷ニ數位ヲ悉皆打拔ヘシ

一打拔器械大ノ分ハ紙幣ハ百圓ヨリ五圓マテ新紙幣ハ拾圓ヨリ貳拾錢マテ小ノ分ハ紙幣貳圓ヨリ拾錢マテヲ打拔モノトス

一打拔臺ハ樫又ハ槻ノ小口ヲ用フヘシ

一打拔方ハ同種ノモノ拾枚程ヲ重ネ（卿印數位）ノ中央ヘ針ヲ以テ目通シヲナシ打拔ヘシト雖モ不手馴ノ內ハ壹枚ツヽヲヨシトス

一燒損或ハ腐敗ノモノハ（紙幣ハ表面新紙幣ハ裏面）ヘ美濃紙又ハ半紙ヲ糊貼シテ拔取ルヘシ

一半片ノモノハ全紙ノ形ニ紙ヲ（紙幣ハ表面新紙幣ハ裏面）糊貼シテ拔取ヘシ

一打拔濟ノ上ハ檢査人ヲシテ種類ヲ分チ員數ヲ調査シ毎百枚ニ元結ヲ通シ結ヒ目ヘ封印ヲナサシメ又拔取タル文字ノ方モ同樣取扱フヘシ

第一圖　何年何月何日

第何號　損傷紙幣有高報告表

寸法 竪五寸 横六寸

摘要	金員		
	圓	錢	厘
前日ヨリ越高			
本日受入高			
本日拂出高			
本日有高			

所印
扱誰
取人之
金何
庫理
國部
地
何

紙幣　紙幣交換　損傷政府紙幣

第二圖

損傷紙幣送納書

一紙幣何圓也

內譯

全額札　何圓札　何圓　何枚

半額札　何圓札　何圓　何枚

何錢札　何錢札　何錢　何枚

此枚數何枚

一新紙幣何圓也

內譯

全額札　何圓札　何圓　何枚

半額札　何圓札　何圓　何枚

何錢札　何錢札　何錢　何枚

此枚數何枚

但荷造　何個

右損傷紙幣打拔濟ノ分何年何月何日御令達ニ依リ來ル何日出帆何社汽船何丸（或ハ通運會社ヲ以）へ搭載ノ積ヲ以本日差立送納候也

何地國庫金取扱所

部理人

何ノ誰印

年　月　日

出納局長官姓名宛

紙幣　紙幣交換　損傷政府紙幣

損傷紙幣　拾圓札

3

年	月	日	摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
				圓 錢 厘	圓 錢 厘		圓 錢 厘
明治何	年月	一	全額交換	20000		借	20000
		二	〃	10000		〃	30000
		五	何號令達ニヨリ出納局ヘ送納高		20000	〃	10000
		六	全額交換	30000		〃	40000

損傷紙幣　五圓札

4

年	月	日	摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
				圓 錢 厘	圓 錢 厘		圓 錢 厘
明治何	年月	一	全額交換	15000		借	15000
		二	〃	10000		〃	25000
		五	何號令達ニヨリ出納局ヘ送納高		20000	〃	5000

第三圖　損傷紙幣種類別差引簿

損傷紙幣　百圓札

1

年	月	日	摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
				圓 錢 厘	圓 錢 厘		圓 錢 厘
明治何	年月	一	全額交換	100000		借	100000
		五	何號令達ニ依リ出納局ヘ送納高		100000		0

損傷紙幣　五拾圓札

2

年	月	日	摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
				圓 錢 厘	圓 錢 厘		圓 錢 厘
明治何	年月	一	全額交換	50000		借	50000

損傷紙幣　半圓札

7

年	月	日	摘要	借 圓	借 錢	借 厘	貸 圓	貸 錢	貸 厘	借或貸	差引殘高 圓	差引殘高 錢	差引殘高 厘
明治何	年												
	一		全額交換	3	5	0				借	3	5	0
	二	〃	〃	0	5	0				〃	4	0	0
	〃		半額交換	0	2	5				〃	4	2	5
	五		何號令達ニヨリ出納局ヘ送納高				3	0	0	〃	1	2	5

損傷紙幣　貳拾錢札

8

年	月	日	摘要	借 圓	借 錢	借 厘	貸 圓	貸 錢	貸 厘	借或貸	差引殘高 圓	差引殘高 錢	差引殘高 厘
明治何	年												
	一		全額交換	1	8	0				借	1	8	0
	二	〃	〃	0	6	0				〃	2	4	0
	〃		半額交換	0	3	0				〃	2	7	0
	五		何號令達ニヨリ出納局ヘ送納高				2	6	0	〃	0	1	0
	六		全額交換	1	6	0				〃	1	7	0
	十五		本月五日出納局ヘ送納高ノ内不足（或ハ置損改）札發見ノ趣御達ニヨリ辨償ノ爲受入直ニ出納局ヘ送納高	0	2	0	0	2	0	〃	1	7	0

損傷紙幣　貳圓札

5

年	月	日	摘要	借 圓	借 錢	借 厘	貸 圓	貸 錢	貸 厘	借或貸	差引殘高 圓	差引殘高 錢	差引殘高 厘
明治何	年												
	一		全額交換	8	0	0				借	8	0	0
	二	〃	〃	2	0	0				〃	10	0	0
	五		何號令達ニヨリ出納局ヘ送納高				8	0	0	〃	2	0	0

損傷紙幣　壹圓札

6

年	月	日	摘要	借 圓	借 錢	借 厘	貸 圓	貸 錢	貸 厘	借或貸	差引殘高 圓	差引殘高 錢	差引殘高 厘
明治何	年												
	一		全額交換	16	0	0				借	16	0	0
	五		何號令達ニヨリ出納局ヘ送納高				10	0	0	〃	6	0	0
	六		全額交換	2	0	0				〃	8	0	0

損傷紙幣　通計

10

年月日		摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
明治年何月			圓錢厘	圓錢厘		圓錢厘
	一	全額交換	217 60 0		借	217 60 0
	二	〃	25 60 0			
	〃	半額交換	0 70 0		〃	243 90 0
	五	何號令達ニヨリ出納局ヘ送納高		168 60 0	〃	75 30 0
	六	全額交換	36 20 0		〃	111 50 0
			280 10 0	168 60 0		
	十五	本月五日出納局ヘ送納高ノ內ヨリ不足(或ハ贋描改)札等發見ノ趣御達ニヨリ更正ノ爲メ誤納拂除去	0 20 0	0 20 0		
			279 90 0	168 40 0		
	〃	仝上辨償ノ爲メ受入直ニ出納局ヘ送納高	0 20 0	0 20 0	〃	111 50 0
	十六	全額交換	5 50 0		〃	117 00 0

損傷新紙幣　拾圓札

11

年月日		摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
明治年何月			圓錢厘	圓錢厘		圓錢厘
	一	全額交換	10 00 0		借	10 00 0

損傷紙幣　拾錢札

9

年月日		摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
明治年何月			圓錢厘	圓錢厘		圓錢厘
	一	全額交換	3 30 0		借	3 30 0
	二	〃	2 50 0			
	〃	半額交換	0 15 0		〃	5 95 0
	五	何號令達ニヨリ出納局ヘ送納高		5 00 0	〃	0 95 0
	六	全額交換	2 60 0		〃	3 55 0
			8 55 0	5 00 0		
	十五	本月五日出納局ヘ送納高ノ內不足(或ハ贋描改)札發見ノ趣御達ニヨリ更正ノ爲誤納拂除去	0 20 0	0 20 0	〃	3 55 0
			8 35 0	4 80 0		
	十六	全額交換	5 50 0		〃	9 05 0

〔更正式ナリ更正ヲナストキハ當日マテノ締高ヲ顯ハシ後チ更正納拂高ヲ記入シ再ヒ締高ノ內ヨリ是ヲ減セシ高ヲ顯ハスヘシ(以下更正ノ箇所相同シ)〕

損傷新紙幣　五圓札

12

年月日	摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
明治何年一月一	全額交換	圓 錢 厘 5 0 0	圓 錢 厘	借	圓 錢 厘 5 0 0

損傷新紙幣　壹圓札

13

年月日	摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
明治何年一月一	全額交換	圓 錢 厘 2 0 0	圓 錢 厘	借	圓 錢 厘 2 0 0
〃六	〃	3 0 0		〃	5 0 0

損傷新紙幣　五拾錢札

14

年月日	摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
明治何年一月一	全額交換	圓 錢 厘 0 5 0	圓 錢 厘	借	圓 錢 厘 0 5 0

損傷新紙幣　貳拾錢札

15

年月日	摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
明治何年一月一	全額交換	圓 錢 厘 0 2 0	圓 錢 厘	借	圓 錢 厘 0 2 0

紙幣　紙幣交換　損傷政府紙幣

紙幣　紙幣交換　損傷政府紙幣

第　四　圖　（寸法 縦一尺一寸 横一尺三寸）

明治何年何月上(中下)旬損傷紙幣受拂報告表

種類	前旬ヨリ越高	交換受高	送納拂高	誤拂更正受納高	差引殘高	殘高中打拔濟高
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
紙幣						
百圓札	0	100000	100000	0	0	0
五拾圓札	0	50000	0	0	50000	50000
拾圓札	0	60000	20000	0	40000	10000
五圓札	0	25000	20000	0	5000	5000
貳圓札	0	10000	8000	0	2000	2000
壹圓札	0	18000	10000	0	8000	6000
半圓札	0	4250	3000	0	1250	0
貳拾錢札	0	4300	2600	0	1700	0
拾錢札	0	8550	5000	0	3550	0950
通計	0	280100	168600	0	111500	73950
新紙幣						
拾圓札	0	10000	0	0	10000	0
五圓札	0	5000	0	0	5000	0
壹圓札	0	5000	0	0	5000	2000
五拾錢札	0	0500	0	0	0500	0500
貳拾錢札	0	0200	0	0	0200	0200
通計	0	20700	0	0	20700	2700
總計圓	0	300800	168600	0	132200	76650

何地國庫金取扱所

部理人

何ノ誰印

損傷新紙幣通計

年月日	摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
		圓 錢 厘	圓 錢 厘		圓 錢 厘
明治何年一月十六	全額交換	17700		借	17700
	〃	3000		〃	20700

總計

年月日	摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
		圓 錢 厘	圓 錢 厘		圓 錢 厘
明治何年一月一	全額交換	235300		借	235300
二	〃	25600			
〃	半額交換	0700		〃	261600
五	何號令達ニヨリ出納局ヘ送納高		168600	〃	93000
六	全額交換	39200		〃	132200
		300800	168600		
十五	本月五日出納局ヘ送納高ノ内不足(或ハ贋描改)札等發見ノ趣御達ニヨリ更正ノ爲誤納拂除去	0200	0200		
		300600	168400		
〃	同上辨償ノ爲メ受入直ニ出納局ヘ送納高	0200	0200	〃	132200
十六	全額交換	5500		〃	137700

第五圖

第何號

損傷紙幣受拂勘定書

一損傷紙幣　何程　　何年何月ヨリ越受高
一同　　何程　　受入高
　　合計何程
　　外何程　　誤納
一損傷紙幣　何程　　出納局送納高
　　外何程　　誤拂
　　殘　何程

右何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ受拂高如斯候也
明治何年何月何日

出納局長官姓名宛

右勘定相違無之候也

日本銀行總裁姓名印

何地國庫金取扱所
部理人
何ノ誰印

第六圖

明治　年　月ヨリ　年　月迄（上下）半季分
損傷紙幣交換手數料幷打拔手數料請求書

一金何千何百何拾圓何拾錢
　內
金何百何拾圓　（何地國庫金取扱所於テ取扱候分）
但明治何年何月ヨリ何年何月迄損傷紙幣何萬何千何百圓交換手數料
　但千圓ニ付金貳圓ノ割
金何百何拾圓何拾錢　（何地國庫金取扱所於テ取扱候分）
但右同斷損傷紙幣何拾何萬枚打拔手數料
　但紙幣千枚ニ付金三錢六厘ノ割

右之通御渡有之度別紙仕譯書相添此段致請求候也

年　月　日

日本銀行總裁
何之誰印

會計局長官姓名宛

紙幣　紙幣交換　損傷政府紙幣

前書之通相違無之候ニ付茲ニ鈐印シ下渡候也

出納局長官姓名印

損札交換高幷打抜枚數仕譯書

一損札何千何百圓　明治　年　月　日送納
一損札何千何百圓　同　年　月　日送納
一損札何圓何拾錢　同　年　月　日送納
　但引替方何ノ上代リ金相渡候分
一損札何千何百圓　同　年　月　日送納
合損札何萬何千何百圓何拾錢
　內
　紙幣
　何圓札　何千圓　此枚數何枚
　何錢札　何千圓　此枚數何枚
　右全額交換ノ分
　何圓札　何　圓　此枚數何枚
　何錢札　何圓何錢　此枚數何枚
　右半額交換ノ分
　新紙幣
　何圓札　何　圓　此枚數何枚

何錢札　何　圓　此枚數何百枚
右全額交換ノ分
何拾錢札　何圓何拾錢　此枚數何千枚
右半額交換ノ分
此枚數合何萬何千何百枚
右之通御座候也

明治　年　月ヨリ同年　月迄
損傷紙幣送納ノ分運搬費請求書

一金何程　何地國庫金取扱所
此個數莚包又ハ油紙包　何個
但何年何月何日送納ノ分
一金何程　何地國庫金取扱所
此個數莚包又ハ油紙包　何個
但何年何月何日送納ノ分
合金何程
右之通御渡被下度別紙受取證書相添此段致請求候也

日本銀行總裁

尋テ明治十七年二月十六日前記交換取扱順序第十四條中「一週年（其年七月一日ヨリ翌年六月三十日マテ）」トアルヲ「六ケ月（一月一日ヨリ六月三十日マテ七月一日ヨリ十二月三十一日マテ）」ト更正シ來ル七月ヨリ實施スヘキ旨大藏卿ヨリ達セラレタルニ依リ三月五日ヲ以テ其旨各取扱所ニ通達セリ・續テ同年四月十五日ヲ以テ同順序中左ノ通リ改正セラレタリ

第六條ヲ左ノ通リ改正ス

第六條　印章打拔濟ノ紙幣送納ハ出納局長ノ達ニ隨ヒ各取扱所ヘ通達スヘシ取扱所ハ右通達ヲ得テ直ニ荷造ヲ爲シ三日以内ニ之ヲ出納局ヘ送納スヘシ且日本銀行本店ニ於テ右紙幣ノ送納書（第二圖）ヲ作リ（取扱所ヨリ發シタル送リ狀ヘ日本銀行總裁ニ換ユルモ妨ケナシ）出納局ヘ差出スヘシ

第十五條中挿註ノ下ヘ「日本銀行本店ヘ差出シ本店於テハ右現品及書類ヲ添ヘ」ノ二十四字ヲ加フ」

第二圖損傷紙幣送納書ヲ左ノ通リ改正ス

第二圖

損傷紙幣送納書

一紙幣　何圓也　　此枚數　何枚

内譯

全額札　何圓札　何枚

何錢札　何枚

半額札　何圓札　何枚

何錢札　何枚

一新紙幣　何圓也　　此枚數　何枚

内譯

全額札　何圓札　何枚

何錢札　何枚

半額札　何圓札　何枚

何錢札　何枚

但荷造何個

右ハ何地國庫金取扱所損傷紙幣在高ノ内印章打拔濟ノ分何年何月何日御達ニ依リ何月何日該地差立何社汽船何丸（通運會社便）ヲ以テ送納候也

明治何年何月何日

出納局長官姓名宛

第五圖損傷紙幣受拂勘定書中出納局長名宛以下書式ヲ左ノ通リ改ム

日本銀行總裁姓名印

右勘定相違無之候也

明治何年何月何日

出納局長官姓名宛

大藏何官姓名印

右勘定審査候處相違無之候也

明治何年何月何日

出納局長官姓名印

前書ノ勘定完結ニ付茲ニ鈐印シテ下渡候也

明治何年何月何日

日本銀行總裁姓名印

又前記損傷紙幣打拔手續ニ關シ明治十七年四月九日ヲ以テ大藏卿ヨリ第一項中「菊章幷ニ」ノ四字ヲ削除スル旨ヲ達セラレタルニヨリ同月十八日其旨各取扱所ニ達シタリ

右取扱順序第六條及第七條ヲ見ルニ取扱所ヨリ打拔濟紙幣ヲ送納スルトキハ當日送納書ヲ作リ直接出納局ヘ送付スヘキコトヽナリ居レルモ元來損傷紙幣ハ取扱所ニ於テ交換打拔ヲ了スト雖豫テ預リアル納金ヲ以テ交換シ置クモノナルニ依リ本行ノ債務ハ大藏省鑑定濟ノ後ニ非レハ之ヲ脫スルヲ得ス然ルニ取扱所ヨリ直接之ヲ大藏省ニ送納スルトキハ責任者タル本行ハ其納不納ヲ知悉スルコトヲ得ス從テ取締上且取扱上不都合ナルヲ以テ明治十七年二月九日大藏卿ノ認可ヲ得テ右送

納書ハ運送ヲ託シタル會社ノ預リ證書（東京ニテ現荷引換ニスヘキ證書）ト共ニ取扱所ヨリ本行ニ送付セシメ本行ニ於テ之ニ奥書シ會社預リ證書ト共ニ大藏省出納局ニ送付シ而シテ現物ハ取扱所ヨリ直ニ出納局ニ遞送シ出納局ハ本行ヨリ送付シ置キタル會社預リ證書ト引換ニ假ニ之ヲ受領シ置キ追テ本行員立會ノ上本受取ヲナシ本行宛ノ領收證書ヲ交付セラルヽコトヽセリ

又同日大藏卿ノ認可ヲ經テ損傷紙幣交換ハ各地國庫金取扱所ニ於テノミ之ヲ取扱ヒ其出張所ニ於テハ納金中ニ損傷シタル紙幣ヲ持參スル者アルトキニ限リ之ヲ受領シテ取扱所ニ回送シ取扱所ニ於テ交換ノ手續ヲ執リ出張所ニ於テハ直接ニ交換ヲナサヽルコトヽスルモ特ニ定詰出張所ニ於テハ都合ニ依リ交換ヲナスモ差支無キコトヽセリ而シテ各地國庫金取扱所交換ニ係ル紙幣ハ裏面印章數字等ニ係ハラサル場所（何地國庫金取扱所取扱）ノ印章ヲ押捺セシメ以テ其責任ヲ明瞭ナラシメ尙ホ交換ニ際シ請求者ノ承諾アルトキハ必スシモ同種紙幣ヲ以テセス便宜ノ通貨ヲ以テ代リ金ヲ交付シ得ルコトヽセリ

曩ニ國庫金取扱所ニ於テ損傷紙幣交換ノ取扱ヲ命セラルヽヤ取敢ス當時國庫金取扱所事務ヲ委託セル各銀行ニ本事務ノ取扱ヲ追加委託スルノ必要アルヲ以テ直ニ代理約條幷ニ國庫金取扱所納金取扱假規程（國庫編國庫金取扱所設立及管理代理店ノ部參照）ヲ追加シ以テ國庫金取扱所ニ於テ該事務ノ執行ニ遺漏無キヲ期シ之ヲ大藏卿ニ稟請シテ明治十七年二月十三日其認可ヲ得夫々締約ノ上命令期タル三月一日ヨリ各地國庫金取扱所ニ於テ本事務ヲ開始シ本行ニ於テハ損傷紙幣在高帳樣式缺ク）ヲ設置シ各取扱所ニ於ケル現在高ヲ一日瞭然タラシメタリ尤モ同年七月以降代理締約ノ向ニ對シテハ他ノ代理事務ト共ニ取纏メテ記載セル約條書ヲ以テ締結スルコトヽシ大藏卿ノ認可ヲ得タルカ其全文ハ擧ケ

テ國庫編ニ掲載セルヲ以テ玆ニハ二月十三日認可ニ係ル約條書追加及國庫金取扱所納金取扱假規程追加ノミヲ掲クヘシ

日本銀行國庫金取扱所事務代理追約條

第一條　明治十七年二月一日大藏卿ヨリ日本銀行ヘ令達セラレタル損傷紙幣交換取扱ハ本約條納金事務ニ附隨シテ代理ヲ季托スルニ付何某銀行ハ別紙國庫金取扱所納金取扱假規程追加ノ條々ヲ遵守シテ其事務ヲ取扱フヘシ

第二條　取扱所ヨリ打拔キ濟ノ損傷紙幣ヲ送納シ出納局ニ於テ鑑査ノ際變造及ヒ見本未整紛失等ノ紙幣其他半額ニテ交換スヘキヲ見誤リ全額ニテ交換ヲ爲シタルモノヲ發見シ又ハ員數不足アルキハ日本銀行ノ通知ニ隨ヒ何某銀行ニテ之ヲ辨償スヘシ

第三條　納金取扱假規程追加第廿二條ニ掲ケタル手數料（運送費ハ勿論）ハ何某銀行ニ於テ之ヲ受領スヘシ就テハ損傷紙幣交換打拔等一切ノ經費ハ何某銀行ニ於テ之ヲ辨スヘシ

右追約ヲナシタル證トシテ双方役員記名調印シ其本書ハ日本銀行ニ保存シ其正寫ハ何某銀行ニ保存スルモノ也

國庫金取扱所納金取扱假規程追加

第十六條　明治十七年二月一日大藏卿ヨリ令達セラレタル損傷紙幣（銀行紙幣ハ限外タルヘシ）交換事務ハ國庫金取扱所ニ於テ納金事務ニ附隨シテ取扱フモノトス

第十七條　大藏省ヨリ下付セラレタル損傷紙幣交換取扱順序竝ヒ交換取扱ニ係ル一切ノ令達書等本店ヨリ頒布シタルモノハ取扱所ニ於テ之ヲ遵守履行スヘシ

第十八條　損傷紙幣交換基金ハ大藏省ヨリ別ニ之ヲ交付セラレス取扱所預リ中ノ國庫納金ヲ以テ振替交換ヲ爲シ其交換シタル損傷紙幣ヲ以テ納金ノ送納ニ振向ルモノトス

第十九條　印章打拔濟ノ紙幣ハ交換取扱順序第七條ノ如ク物品ノ取扱トナシ其取扱所ヨリ直ニ出納本局ヘ宛現送ヲナスモノトシ（大阪出納局出張所納メ許サス）其送納書ハ本店ヘ宛郵送スヘシ但現荷出納局ヘ着達スルキハ本店ヨリ前ノ送納書ヘ奥書ノ上持出シ納付ヲ了シ而ノ取扱所ヘハ本店ヨリ領收證書ヲ差出スヘシ

第二十條　打拔濟紙幣ヲ送納スルニハ役員携帯シ來ルモ三菱會社又ハ共同運輸會社等ノ船便ニ托スルモ通運會社ノ陸便ニ托スルモ其取扱所ノ便宜ニ任ス但會社ニ托スルキハ其會社ヨリ發スル證書（東京ニ於テ現荷引換ニスヘキ證書ヲ前條送納書ト合封シテ本店ヘ郵送スヘシ

第二十一條　損傷紙幣勘定ニ係ル帳簿等ハ交換取扱順序ニ定メタル式ニ遵フヘシ補助簿ヲ設クルキハ第十一條ニ準シ又一週年ノ決算順序ハ第十二條ニ準スヘシ

第二十二條　損傷紙幣交換取扱順序ニ掲ケラレタル手數料及運送費ハ其割合又ハ實費ニ隨ヒ取扱所ヘ支給スヘシ但受取方ハ第十五條ニ準スヘシ

然ルニ斯クノ如ク本事務取扱ニ關スル事項ヲ國庫金取扱所納金取扱假規程ニ追加規定スルハ名實相伴ハサルノ嫌アルヲ以テ明治十七年四月三十日大藏卿ノ認可ヲ得右假規程ヲ廢シ國庫金取扱所規程ヲ制定シ同年七月一日ヨリ實施スルコトヽシ各取扱所ニ其旨ヲ達セリ其内損傷紙幣交換ニ關スル條項ヲ摘載スレハ左ノ如シ（國庫金取扱所、設立及管理ノ部參照）

損傷紙幣交換取扱

第十七條　損傷紙幣交換基金ハ大藏省ヨリ別ニ之ヲ交付セラレス取扱所預リ中ノ國庫納金ヲ以テ振替交換ヲ爲シ其交換シタル損傷紙幣ヲ以テ納金ノ送納ニ振向クルモノナルカ故此交換事務ハ國庫金取扱所納金事務ニ附隨シタルモノトス

第十八條　損傷紙幣ノ交換ハ同紙幣交換取扱順序書ハ勿論本店ヨリノ示達ニ據リ實際人民ノ交換請求ニ不便利無カラシムル樣取扱尙打拔送納等遲緩無カラシムヘシ

第十九條　損傷紙幣交換方ハ各國庫金取扱所ニ於テノミ取扱ヲ爲スヘキモノナリト雖モ人民ノ便宜ヲ量リ定詰出張所ニ於テモ交換ヲ取扱フハ苦シカラス尙又出張所ニ於テ交換ヲ取扱ハサルモ納金ノ中ヘ損傷紙幣ヲ取交納付セシンコトヲ請フ者アラハ之ヲ領收シ取扱所ヘ送付シテ交換ノ手續ヲ爲スヘシ但定詰出張所ニ於テ交換ヲ取扱フヘキ向ハ其旨豫テ本店ヘ屆置クヘシ

第二十條　打拔濟ノ損傷紙幣ハ其取扱所ニ於テ打拔ヲ爲シタルコトヲ證スル爲壹枚毎ニ裏面御印章及ヒ數字等ニ係ラサル位地ヘ（何地國庫金取扱所取扱）ノ朱印ヲ押捺スルモノトス

第二十一條　損傷紙幣ヲ交換スル場合ニ於テ其交換請求人承諾ノ上ハ同種類ヲ以テセス有合ノ通貨ヲ以テ引換ルモ苦シカラス

第二十二條　印章打拔濟ノ紙幣ハ交換取扱順序第七條ノ如ク物品ノ取扱ト爲シ其取扱所ヨリ直ニ出納本局ヘ宛現送ヲ爲スモノトシ（大阪出納支局納メヲ許サス）其送納書ハ本店ヘ宛郵送スヘシ但現荷出納局ヘ着達スルヲ本店ヨリ前ノ送納書ヘ奥書ノ上持出シ納付ヲ了シ而シテ取扱所ヘハ本店ヨリ領收證書ヲ差出スヘシ

第二十三條　打拔濟紙幣ヲ送納スルニハ役員出京便ヲ以テ携帶シ來ルモ海送陸送ヲ業トスル會社ヘ托シ遞送スルモ其取扱所ノ便宜ニ任ス但會社ニ托スルヲハ其會社ヨリ發スル證書（東京ニ於テ現荷引換ニスヘキ證書）ヲ前條送納書ト合封シテ本店ヘ郵送スヘシ

各地國庫金取扱所ヨリ送納シタル損傷紙幣ヲ大藏省出納局ニ於テ鑑査スルニ際シ過不足アリタルトキハ一先ツ之ヲ假納シ直ニ取扱所ニ通達シテ過剩金ハ返却シ不足金ハ徵收シ然ル後本納メヲ爲シ來リシモ斯クテハ出納局ノ手數尠カラサルノミナラス取扱亦煩雜ニ渉リ不都合ナルヲ以テ本行立會人ニ於テ直ニ其過不足金ヲ處分セシムルコトニ改メタキ旨主任官吏ヨリ談示ノ次第アリ且其過不足金額モ極メテ少額ナルニ依リ明治十七年七月十八日ヲ以テ左記鑑査立會人心得ヲ定メ立會人ニ於テ直ニ其過不足金ヲ處分セシムルコトヽセリ

出納局於テ損傷紙幣鑑査立會人心得

一　各地國庫金取扱所ヨリ送納シタル損傷紙幣出納局ニ於テ鑑査ノ際過不足ヲ生スルキハ立會人ニ於テ直ニ辨納ヲナシ上納ヲ了スヘシ

一　右鑑査ノ際半額交換トシテ上納シタルモノ全額交換トナリ又ハ員數ニ過剩ヲ生シタルキハ出納局ヨリ立會人ニ直ニ返付セラルヽニ付之ヲ受ケ本店ヘ持歸ルヘシ本店ニ於テハ預リ證書（國庫局長ヲ作リ取扱所ヘ送付スヘシ（國庫局長署名トス）

一　前條ノ如ク過不足ヲ生スルキハ出納局主金課ニ於テ其過不足ヲ生シタル事由ヲ記シタル書面ヘ主務官捺印ノ上立會人ニ渡サルヘキニ付立會人ハ此書面ヲ以テ歸店ノ上局長ヘ證明スヘシ

一　不足金辨納ノ基金トシテ金貳圓（金額ハ時宜ニ依リ增減ス）ヲ受取置キ帳簿ニ記入シ辨納アル都度差引ヲ

ナスヘシ若シ右ノ金額ニテ不足スルトキハ其旨本店ヘ通報シ金員ヲ受ル歟又ハ出納局ヘ斷リ置
翌日辨納ヲナス歟便宜之ヲ處置スヘシ
尋テ同月三十一日國庫金取扱所ヨリ損傷紙幣送納ノ內出納局ニ於テ鑑査ノ際過不足等發見シタル
トキ取扱所ニ於ケル取扱手續ヲ左ノ通リ定メ其旨各取扱所ニ達セリ

一 打拔濟損傷紙幣送納ノ內贋造變造見本未整紛失紙幣等或ハ過不足ヲ發見シタルトキハ本行ニ於テ明細書(甲印)ヲ製シ相達スヘキニ付取扱所ハ左ノ手續ニ依リ速ニ處分スヘシ

一 贋造變造見本未整紛失紙幣等發見シタル節ハ現札ヲ返却スヘクニ付取扱所ハ出所ヲ取糺シ交換取扱順序第二條ニ據リ警察署又ハ警察分署ヘ現札ヲ添ヘ屆出ルモノトス

一 右贋造其他ノ紙幣等又ハ半額ニテ交換スヘキヲ見誤リ全額ニテ交換シタルモノ或ハ不足札等發見シタルトキハ交換取扱順序第九條ニ據リ本行ヨリ直ニ出納局ヘ辨納シ其旨明細書ヘ記載スヘクニ付取扱所ハ其不足ノ員額ヲ速ニ本行ヘ辨償スヘシ尤本行ト「コルレスポンデンス」取引約條アル代理店ハ雜勘定ニ振替償還スルモ妨ケナシ(雜勘定通知書摘要中ヘ其旨ヲ明記シ回答書ヘ添付差出スヘシ)

但シ本項ノ手續ニ據リ辨償シタル上ハ交換取扱順序第十條ニ據リ帳簿更正ニハ不及モノトス

一 過剩札又ハ半額ヲ以送納シタルモノ全額交換ニナリタル分等モ又明細書ヘ記載シ尙其過額預リ書(乙印)ヲ送附スルニ付取扱所ハ該預リ書ヲ損札ト見做シ(曩ノ交換請求者ヘハ交換不足金ヲ仕拂フヘシ)其後送納令達ノ節該預リ書ヲ損札ニ取交セ差繼送納スヘシ

一 送納損札ニ對シ本行ヨリ交付スル領收證書ハ假令現札不足アルモ全額ヲ以テ交付スルモノトス就テハ其不足額ヲ追送辨償シタルトキニ於テハ領收證書ヲ交付セサルヘシ

一 前各項ニ對スル通達ヲ得タルトキハ必ス回答書ヲ差出スヘシ

甲印(明細書)

記

第何號送納損傷紙幣何程ノ內

一 贋造紙幣貳圓札
是ハ全額紙幣貳圓札ノ內ヨリ發見全ク不足ニナル分

一 描改紙幣貳拾錢札
是ハ半額紙幣貳拾錢札ノ內ヨリ發見全ク不足ニナル分

一 紙幣五拾錢札
是ハ全額紙幣五拾錢札ノ內不足發見ノ分

一 紙幣貳拾錢札
是ハ全額ヲ以送納ノ處半額ノモノヘ他ノ半片ヲ糊貼シテ全額ニ宛有之ニ付引分候處半片ハ半額札ニ受入他ノ半片ハ卿印難認モノニ付引揚切リ依テ何程不足ニナリタル分

一 紙幣壹圓札
是ハ全額紙幣壹圓札ノ內ヨリ過剩發見ノ分

一 紙幣貳拾錢札
是ハ半額ヲ以送納ノ處(內)全額交換ニナリタルヲ以過剩ニナル分

一 紙幣拾錢札

紙幣　紙幣交換　損傷政府紙幣

是ハ半額ヲ以送納ノ處〔内〕札面所々毀損・スレモ卿印五文字以上並四隅ノ數字番記號共存在ニ付全額交換ニナリタルヲ以過剰ニナル分

一　紙幣貳拾錢札

是ハ半額ノモノヘ他ノ半額ノモノヲ糊貼シテ全額ニ宛テ有之候間引分各半額ヘ受入但過不足無之

右ノ内不足額ハ速ニ辨償シ過剰額ハ別紙預リ書送附候條後納ノ節差繼可被取計候也

年　月　日

日本銀行
何地國庫金取扱所

乙印預リ書）

明治何年何月何日

證番	第	何	號	預先	何地	國庫金取扱所

一紙幣　何程

内

壹圓札　何程　全額　何枚

貳拾錢札　何程　同　何枚

一新紙幣　何程

内

日本銀行國庫局長

五拾錢札　何程　半額　何程

證番	第	何	號

一紙幣　何程

内

壹圓札　何程　全額　何枚

貳拾錢札　何程　同　何枚

一新紙幣　何程

内

五拾錢札　何程　半額　何枚

前書ノ通リ預リ置候也

明治　年　月　日

日本銀行國庫局長
姓　名　印

日本銀行
何地國庫金取扱所

尋テ明治二十年四月一日以降國庫金取扱所ヲ廢止シ國庫金出納所ヲ設置セラルヽコトヽナリタルニ依リ損傷政府紙幣交換事務モ亦同時ニ取扱所ヨリ出納所ニ移リタリ尤モ其際新ニ國庫金取扱雜則ヲ編纂シ其第二國庫金出納所事務取扱ノ部第四十條ニ於テ左ノ如ク該事務取扱方ヲ規定セリ（國庫編國庫金出納所事務諸規定ノ部參照）

第四十條　損傷政府紙幣交換方ヲ人民ヨリ出納所ヘ請求スルトキハ損傷紙幣交換規則及交換順序ニ據テ之ヲ鑑査領收シ代リトシテ出納所存在ノ紙幣ヲ交付スヘシ（其損傷紙幣ノ同種類ヲ以テスヘシ若同種類ナキ場合又ハ請求者承諾ノ上ハ外種類ヲ以テ交付スルモ差支ナシトス）但其損傷政府紙幣ハ交換ヲ了スルニ隨ヒ大藏卿印及數位ヲ打拔キ而メ其打拔ヲナシタルコヲ證スル爲メ壹枚毎ニ裏面御印章及數字等ニ係ラサル位置ヘ（何地國庫金出納所取扱）ノ朱印ヲ押捺シ一時出納所在高紙幣ノ部ニ組込置モノタルヘシ

但損傷政府紙幣交換方ハ出納所ニ於テノミ取扱ヲ爲スヘキモノナリト雖モ人民ノ便宜ヲ量リ各支所ニ於テモ交換ヲ取扱フハ苦シカラス又支所ニ於テ交換ヲ取扱ハサルモ納金ノ內ヘ損傷政府紙幣ヲ取交セ納付セントコヲ請フモノアラハ之ヲ領收シ出納所ヘ送付シテ交換ノ手續ヲ爲スヘシ

尙ホ國庫金出納所ニ給與スヘキ諸種ノ取扱料ニ就テハ國庫金取扱雜則第九諸給與金ノ部第八條ニ於テ損傷紙幣交換手數料、損傷及廢却紙幣打拔手數料並ニ同運搬費ハ損傷紙幣交換取扱順序第十六條乃至第十八條ニ揭ケアル割合若クハ實費ヲ以テ支給スヘキ旨ヲ規定シ其請求書及受領證ノ書式ヲモ併セテ揭載セリ又其第二十條ニ於テ損傷紙幣打拔器械ヲ新調セントスルトキハ其製造見積代價ヲ本行ニ申出テ承認ヲ得テ之ヲ調製シ代金ハ代理店ニ於テ仕拂タル上其受取證書ヲ添ヘ之ヲ『本

行ニ請求スヘキ旨ヲ明示セリ（國庫編國庫金出納所、國庫金取扱料ノ部參照）

又國庫金出納所開所前明治二十年三月一日ヲ以テ大藏大臣ヨリ去ル十七年二月一日ヲ以テ達シタル損傷紙幣交換取扱順序ニ左記數項ノ改正ヲ加ヘ國庫金出納所ニ於テ取扱フヘキ旨ヲ達セラレタリ依テ同月十八日出納所タルヘキ代理店ニ其旨ヲ達セリ

一　損傷紙幣受拂報告表ハ毎土曜日ニ調製シ日本銀行ヘ差出シ同銀行ニ於テハ接受ノ翌日出納局ヘ差出スモノトス其書式從前ノ通

一　損傷紙幣受拂勘定書ハ其年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ヲ以テ一期トシ調製スルモノニシテ翌年四月三十日迄ニ其地ヲ發シ日本銀行ヘ送付ス同銀行ニ於テハ接受ノ翌日ヨリ三十日以內ニ之ヲ出納局ヘ差出スモノトス其書式從前ノ通

一　損傷紙幣受入高ハ國庫金出納所ニ於テ毎土曜日ニ發スヘキ受拂電報中ヘ「ソン」ノ略文ヲ以テ其員額ヲ別項ニ揭ケ電報スルモノトス（此電報ハ種類ヲ區分スルニ及ハス其一周間ニ收入セル合高ヲ以テ電報スルモノトス）

續テ同月二十四日迄納損傷紙幣ニ對スル過不足金處分方ハ當分ノ內左ノ通リ心得ヘキ旨出納所タルヘキ代理店ニ達セリ

損傷紙幣送納ノ內過不足ニ係ル取扱方ハ左ノ手續ニ依リ處分スヘシ

一　打拔損傷紙幣送納ノ傳達ハ電信ヲ以テセス別紙(伯號)ヲ以テ達スルモノトス因テ出納所ニ於テモ發出ノ電報ヲ發セサルコトス

一　贋造變造其他事故アル紙幣又ハ半額ニ交換スヘキヲ全額ニ誤見ノモノ或ハ不足等ヲ發見セシトキハ其旨ヲ詳細通知スルニ據リ速ニ辨償スヘシ尤モ本行ト「コルレスポンデンス」取引約

定アル代理店ハ雜勘定ニ振替ヘ償還スルモ妨ケナシ右ノ場合ニ於テハ雜勘定通知書摘要ヘ其旨ヲ明記スヘシ

但本項ノ手續ニ據リ辨償シタル上ハ交換取扱順序第十條ノ帳簿更正ニハ及ハサルモノトス

一 半額ト認メ送納シタルモノ全額交換ニナリ又ハ全ク過剰札等アリタルトキハ預リ證書(叔號)ヲ送付スルニ付該預リ證書ヲ現札ト見做シ置其後送納令達ノ節他ノ損札ニ取交セ送納スヘシ但半額ニ交換ヲナシタル曩ノ請求者ヘハ不足金ヲ仕拂フヘシ

一 本行ヨリ交付スル領收證書ハ過不足ヲ問ハス送納達ノ員額ヲ以テス故ニ不足額ヲ追送辨償シタルトキハ領收證書ヲ交付セサルヘシ

伯號

明治　年　月　日

記號　何號

何地國庫金出納所

一損傷紙幣　何程

但何月何日ヨリ何月何日迄受入ノ分

記號　何號

一損傷紙幣　何程

但何月何日ヨリ何月何日迄受入ノ分

右送納可有之候也

明治　年　月　日

日本銀行國庫局長

姓　名印

何地國庫金出納所

明治　年　月　日

證番	第　號	預先	何地國庫金出納所
一紙幣	何程		
內			
壹圓札	何程	全額	何枚
貳拾錢札	何程	〃	〃
一新紙幣	何程		
內			
五十錢札	何程	半額	何枚

證番	第　號
一紙幣	何程

內			
壹圓札	何程	全額	何枚
貳拾錢札	何程	同	何枚
一新紙幣	何程		
內			
五拾錢札	何程	半額	何枚

前書ノ通リ預リ置候也

明治　年　月　日

日本銀行國庫局長

姓　名印

何地國庫金出納所

其後同年六月三日右送納損傷紙幣過不足金處分方手續第一項ヲ「打拔濟損傷紙幣ヲ送納セシムルトキハ普通送納金ノ例ニ依リ電達スルモノトス」ト改メ伯號書式ヲ削除シ其旨出納所ニ達セリ

尋テ同月十五日ニ至リ曩ニ記載セル二十年三月十八日達損傷紙幣交換取扱順序中改正、同月二十四日達損傷紙幣送納ニ係ル過不足處分方心得等ハ國庫金取扱雜則第二事務取扱ノ部第六十一條乃至

第六十三條トシテ左記ノ如ク之ヲ追加シ來ル七月一日ヨリ實施スヘキ旨各代理店ニ達セリ尤モ之カ實質ニ至リテハ左シテ從前ト異ル所ナカリキ（國庫編國庫金出納所、事務諸規定ノ部參照）

第六十一條　損傷紙幣交換順序ハ從前ノ手續ニ據ルト雖モ該順序ノ內損傷紙幣受拂報告表（出第十五號）ハ電信報告期日ニ本行ニ差出スモノトス尤收支電信報告中末項ヘ報告例ノ如ク其受入高ヲ電報スヘシ

第六十二條　損傷紙幣ノ送納通達ヲ出納局長ヨリ本行ヘ受クルトキハ出第二號書式ノ電報ヲ爲スヘシ出納所ハ發出ノ期日ニ損傷紙幣送納書（出第十六號）ヲ作リ之ヲ本行ヘ向ケ發シ同時ニ出第四號ノ文例ヲ以テ本行ヘ電報ヲナスヘシ但本行ニ於テ其送金納付濟ノトキハ（出第五號）ノ領收證書ヲ交付スル尤過不足ヲ問ハス送納達ノ員額ヲ以テスル故ニ不足額ヲ遞送辨償シタルトキハ領收證書ヲ交付セサルモノトス

一　贋造變造其他事故アル紙幣又ハ半額ニ交換スヘキヲ全額ニ誤見ノモノ或ハ不足等ヲ發付セシトキハ其旨ヲ詳細通知スルニ據リ速ニ辨償スヘシ尤モ本行ト「コルレスポンデンス」取引約定アル代理店ハ雜勘定ニ振替ヘ償還スルモ妨ケナシ右ノ場合ニ於テハ雜勘定通知書摘要ヘ其旨ヲ明記スヘシ

但本項ノ手續ニ據リ辨償シタル上ハ交換取扱順序第十條ノ帳簿更正ニハ及ハサルモノトス

一　半額ト認メ送納シタルモノ全額交換ニナリ又ハ全ク過剩札等アリタルトキハ預リ證書（出第八號）ヲ送付スルニ付該預リ證書ヲ現札ト見做シ置其後送納令達ノ節他ノ損札ニ取交セ

送納スヘシ但半額ニ交換ヲナシタル曩ノ請求者ヘハ不足金ヲ支拂フヘシ

第六十三條　損傷紙幣受拂勘定書（出第九號）ハ其年四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテヲ以テ一期トシ調製スルモノニシテ翌年四月三十日ニ其地ヲ發シ本行ヘ送付スルモノトス

斯クテ同年十一月十九日ニ至リ大藏大臣ヨリ國庫金出納所交換濟損傷紙幣ノ送納方ヲ左ノ通リ改正シタルニ依リ自今右ニ據リ取扱フヘキ旨ヲ達セラレタリ

一　國庫金出納所ヘ納入ノ損傷紙幣出納局ヨリ送納令達ヲ得タル日ヨリ三日以內ニ又印章打拔濟ノ分ハ右令達ヲ得タル日ヨリ三日以內ニ打拔ヲ了シタル日ヨリ三日以內ニ荷作ヲナシ之ヲ日本銀行本店ヘ送納スヘシ而シテ差立タル當日送納書ヲ作リ同所ヘ送付スヘシ

一　送納スヘキ打拔濟ノ紙幣ハ通常物品ノ取扱ヲ以海陸便宜ニ日本銀行本店ヘ回送スヘシ但打拔濟卿印又ハ數位ハ紙幣ト別封ニ仕立符號ヲ附シ日ヲ隔テ、（壹ハ紙幣ヲ甲日ニ差立タルトキハ卿印等ハ乙日ニ差立ルカ如シ）回送スヘシ

一　印章打拔濟ノ損傷紙幣及卿印等到達スルトキハ日本銀行ニ於テ一旦開封シ送納書面ニ照合ノ上各書面ト共ニ金庫局ヘ送附シ該紙幣同局ニ於テ鑑定ノ節ハ日本銀行本店ヨリ立會人ヲ差出スヘシ

尙ホ之カ發送ニ際シテハ其包裝ノ上ニ現札ハ「何號ニ對スル紙」又卿印ハ「何號ニ對スル丸」ト記載セシメ以テ一見直ニ其內容ヲ區別スルノ便ニ供シ且卿印ハ現札發送ノ翌日必ス發送シ右兩種共其送納書ハ正副二通ヲ送付セシメ又報告表中損傷紙幣在高報告表ハ爾後提出ニ及ハサルモ受拂報告表ハ每五十ノ日ニ提出セシムルコトヽシ明治二十一年三月十九日國庫局長ヨリ其旨各代理店ニ通牒セリ」

以下明治二十二年後ニ於ケル本行本支店出張所國庫金出納所及金庫ノ取扱ヒタル損傷政府紙幣交換ノ顚末ヲ合說センニ大藏大臣ハ明治二十二年三月二十七日ヲ以テ本行ニ對シ從來本行本支店及國庫金出納所ニ於テ交換方取計ヒ來レル損傷紙幣ノ內一圓以上ノ分ハ左記交換手續ニ據リ同年四月一日以降ハ大藏省ヨリ本行ヘ交付シ置ク紙幣交換基銀貨ヲ以テ交換ニ附シ五十錢以下損傷紙幣ハ去ル二十一年九月二十七日通達シタル通リ五十錢二十錢紙幣及銅貨ト交換スヘク且在東京、大阪、橫濱、高崎ノ諸銀行ヘ從來損傷紙幣交換方ヲ命シ置キタルモ同年三月三十一日限リ解除スルニ就テハ一般ノ便宜ヲ圖リ四月一日以降本行ヨリ右銀行ヘ契約シテ從前ノ通リ取扱ハシムヘク又國庫金出納所ノ取扱ニ係ル一圓以上ノ分ハ四月一日以降配賦令達セシモノヨリ施行スヘキ旨達セラレタリ依テ同月二十九日其旨大阪支店ニ達シ翌三十日前記各銀行ニ對シ四月一日以降損傷紙幣交換ノ義大藏大臣ヨリ本行ニ命任セラレタルニ就テハ其取扱方ヲ囑託スヘキモ期限切迫ノ場合ニ付差向キ從前ノ取扱ニ準シ差支ナク交換方取計ヒ損傷紙幣一圓以上ノ分及五十錢以下（一圓以上紙幣半額ニシテ端數ヲ生スル分トモ）ノ分トヲ區別シ本行本支店ヘ交換方申出ツヘク本行ニ於テハ一圓以上ハ銀貨、五十錢以下ハ紙幣ヲ以テ代リ金ヲ交付スヘキ旨ヲ通牒セリ

壹圓以上損傷紙幣銀貨ト交換手續

第一項　日本銀行本支店ニ於テ引換フヘキ壹圓以上損傷紙幣ハ直ニ銀貨ト交換スヘシ

第二項　配賦令達ニヨリ國庫金出納所ヨリ日本銀行ヘ送納セシ損傷紙幣ノ內壹圓以上ノ分ハ銀貨ト交換ヲナシ其銀貨ハ通常納金ト同シク其銀行預リ金通帳ニ記載シ金庫局ヘ納付スヘシ但五拾錢以下ノ分ハ直ニ同局ヘ納付スルモノトス

第三項　東京大阪橫濱高崎等ノ各銀行ニ於テ交換セシ壹圓以上損傷紙幣ハ日本銀行本支店ニ於テ銀貨ト交換ヲ爲スヘシ又五拾錢以下損傷紙幣ハ其銀行本支店本業部ニ於テ紙幣ト引換ヲナシ金庫局又ハ同局大阪出張所ヘ交換ヲ申出ツヘシ

第四項　日本銀行本支店ニ於テ引換フヘキ壹圓以上損傷紙幣ニシテ半額交換ニ屬シ五拾錢ノ端數ヲ生スルモノハ其銀行本業部ニ於テ紙幣ト交換ヲナシ更ニ金庫局又ハ同局大阪出張所ヘ交換申出スヘシ亦國庫金出納所ヨリ送納セシモノニシテ半額交換ニ係リ同樣五拾錢ノ端數アルモノハ五拾錢以下同樣金庫局又ハ同局大阪出張所ヘ納付スヘシ

第五項　前各項ノ外交換濟紙幣納付方等ハ十九年三月三日命任セシ紙幣交換手續ニヨルヘシ

但交換手數料及打貫手數料交付方ハ別ニ達スヘキ旨規定セルカ其後上記右交換手續第五項但書ニハ交換手數料及打貫手數料ノ外運搬費、鑑定料其他交換ニ關スル一切ノ費用請負額トシテ一ケ年金四千五十圓ヲ支給セラレ尙ホ東京大阪等各銀行ヘ本行ヨリ渡スヘキ交換手數料割合ハ追テ取極通知スヘキ筈ナルカ從來大藏省ヨリ各地取扱銀行ヘハ交換金千圓ニ付金二圓ノ割合ヲ以テ手數料ヲ支給セラレ居タルモ前述ノ如ク本行ニ對スル下附高ヲ一定セラレシヲ以テ爾後本行ヨリ各地取扱銀行ニ交付スヘキ手數料ヲ從前ノ割合ニ依ルトセハ本行取扱ニ係ル打貫料、運搬費、鑑定料、打貫器械費ヲ始メ其他ノ諸費ハ悉ク本行自辨ノ姿トナルヲ以テ十錢紙幣交換手數料ニ準シ交換金千圓ニ付金一圓ノ割ヲ以テ支給スルコトヽシ毎年三月九月ノ兩度ニ請求セシムルコトヽセリ

尋テ明治二十二年十二月二十七日ヲ以テ大藏大臣ヨリ損傷紙幣交換手續左ノ通リ相定メタルニ依

リ來ル二十三年一月一日ヨリ實施スヘク但二十二年三月二十七日ヲ以テ達シタル一圓以上損傷紙幣銀貨ト交換手續ハ本文實施ノ日ヨリ廢止スル旨ヲ達セラレタリ

損傷紙幣交換手續

第一條　壹圓以上ノ損傷紙幣ハ銀貨ヲ以テ交換シ五拾錢及貳拾錢ノ損傷紙幣ハ五拾錢貳拾錢ノ整備紙幣ヲ以テ交換スヘシ

但五圓及壹圓ノ損傷紙幣ニシテ半額交換ニ屬シ五拾錢ノ端數ヲ生スルモノハ壹圓整備紙幣付屬ノ新銅貨又五拾錢及貳拾錢ノ損傷紙幣ニシテ半額交換ニ屬シ拾錢又ハ五錢ノ端數ヲ生スルモノハ貳拾錢整備紙幣付屬ノ新銅貨ヲ以テ交換スヘシ

第二條　前條交換基銀貨ハ紙幣交換手續ニ依リ國債局ヘ請求シ豫メ日本銀行本支店ヘ備ヘ置クヘシ

但交換基金ハ各預リ證書ヲ發シ每週其事要ヲ區別シタル收支報告表ヲ製シ國債局又ハ金庫局ヘ差出スヘシ

第三條　日本銀行本支店ニ於テ交換スヘキ損傷紙幣ハ直ニ交換シ東京大阪橫濱高崎等ノ各銀行ニ於テ交換セシ損傷紙幣ハ日本銀行本支店ニ於テ鑑定計査シ然ル後チ交換スヘシ

第四條　配賦令達ニ依リ國庫金出納所ヨリ日本銀行ヘ送納セシ損傷紙幣ハ該紙幣ニ屬スル打貫濟大藏卿印又ハ中央數位ノ到着ヲ待チ之レト共ニ鑑定計査シ然ル後チ交換スヘシ尤其交換代リ金ト通常納金ト同シク日本銀行預リ金通帳ニ記載シ金庫局ヘ納付スヘシ

第五條　金庫局又ハ同局大阪出張所ニ於テ納金中ヨリ發見ノ損傷紙幣ハ該局又ハ出張所ノ通達ヲ得テ即日鑑定計査ヲ了シ交換スヘシ

第六條　日本銀行大阪支店又ハ國庫金出納所ニ於テハ大藏卿印若クハ中央數位ヲ打貫キタル上其打拔濟紙幣ト卿印若クハ數位ハ日ヲ異ニシテ回送スヘシ

第七條　前各條鑑定計査ノ際價造變造描改若クハ未整紛失見本紙幣及不足種類違或ハ全額交換部中ヨリ半額交換ノ分又ハ半額交換部中ヨリ交換ニ付シ能ハサルモノ等ヲ發見スルキハ交換請求ノ各銀行等ヨリ辨償セシムヘシ

但損傷甚シク又ハ成規ニ明文ナク交換額ヲ定メ難キモノアラハ金庫局ヘ照會シ指示ヲ得テ交換スヘシ

第八條　描改手入未整紛失見本等ノ紙幣及損傷甚シキ爲メ交換ニ付シ能ハサルニ依リ引揚切リノ處分ニ歸シタル紙幣又ハ半額交換ニ付シタル紙幣ハ各其部類每ニ區別保管スヘシ尤交換濟ノ報告ニ於ケルモ之ヲ區別スル勿論ナリトス

第九條　日本銀行本支店ニテ交換セシ損傷紙幣ハ總テ大藏卿印若クハ中央數位ヲ打貫キ其打貫キタル分ハ決シテ各種混淆セサラシムヘシ

第十條　第二條ニ揭クル交換基金ヲ以テ交換濟損傷紙幣ノ內銀貨交換ニ係ルモノハ國債局ニ報告シ整備紙幣及新銅貨ト交換ヲナシタルモノ及引揚札ハ每周其事要ヲ區別シ金庫局ヘ報告スルモノトス

第十一條　前條損傷紙幣及引揚札ハ記錄局ニ送付シ同局物品會計官吏ノ預證書ヲ得テ金庫局ニ納付スルモノトス

尋テ翌二十三年三月六日ヲ以テ右交換手續第一條但書中「五圓及壹圓ノ損傷紙幣ニシテ半額交換ニ屬シ五拾錢ノ端數ヲ生スルモハ壹圓整備紙幣付屬ノ新銅貨又ハ四十五字ヲ削除スル旨大藏大臣ヨリ達セラレタリ

尋テ同年四月一日以降從來ノ國庫金出納所ヲ廢シ金庫制度ヲ布カルヽコトヽナリシカハ大阪支店幷ニ同日以降本金庫事務ヲ委託スヘキ各代理店ニ對シ損傷紙幣ノ交換方ハ追テ何分ノ達アル迄總テ國庫金出納所ニ於テ取扱ヒタル通リ取扱フヘキ旨ヲ達セリ

尚ホ五十錢以下損傷政府紙幣ニ關シ同年三月二十五日第千百十四號ヲ以テ大藏大臣ヨリ左記五拾錢半圓及貳拾錢損傷紙幣交換手續ヲ定メタルニ付同年四月一日ヨリ實施スヘキ旨ヲ達セラレタリ

五拾錢半圓及貳拾錢損傷紙幣交換手續

第一條　五拾錢半圓及貳拾錢ノ損傷紙幣ハ五拾錢貳拾錢ノ整備紙幣ヲ以テ交換スヘシ

但半額交換ニ屬スルモノ通シテ拾錢又ハ五錢ノ端數ヲ生スルモハ政府紙幣五拾錢以下交換基銀貨白銅貨ヲ以テ交換スヘシ

第二條　損傷紙幣ハ種類枚數等詳細ナル計算書ヲ添付シ記錄局物品會計官吏ニ送納シ右計算書ニ該官吏ノ證明ヲ受ケ之ヲ以テ代リ整備紙幣ヲ請求スヘシ

第三條　中央金庫ニ於テ交換シタル損傷紙幣又ハ納金中ヨリ發見シタル損傷紙幣ハ要部打貫濟直ニ第二條ノ手續ヲナシ本金庫支金庫ニ於テ交換シタル損傷紙幣ヲ配賦令達ニ依リ中央金庫ニ送納セシモノハ之ニ屬スル打貫濟大藏卿印又ハ中央數位ノ到着ヲ待チ共ニ鑑定計查シ然ル後第二條ノ手續ヲナシテ交換スヘシ

第四條　本金庫支金庫ニ於テハ大藏卿印若クハ中央數位ヲ打貫キタル上其打貫濟紙幣ト卿印若クハ數位ハ日ヲ異ニシテ回送スヘシ

第五條　交換セシ損傷紙幣ハ總テ大藏卿印若クハ中央數位ヲ打貫キ其打貫キタル分ハ決シテ各種混淆セサラシムヘシ

第六條　第三條ノ鑑定ニ於テ發見シタル描改手入未整紛失見本等ノ紙幣引揚切リノ處分ニ歸シタルモノハ種類枚數等詳細ナル計算書ヲ添ヘ記錄局物品會計官吏ニ納付シ國債局ヘ報告スヘシ

第七條　第二條ノ交換代リ紙幣ヲ受取タルモハ國債局物品會計官吏ヘ領收證書ヲ差出シ損傷紙幣及引揚札ヲ納メタルモハ記錄局物品會計官吏ヨリ其領收證書ヲ得ヘシ

依テ本行ニ於テハ右ニ準シ同年三月三十一日五拾錢半圓及貳拾錢損傷紙幣交換取扱順序ヲ制定セリ其全文左ノ如シ

五拾錢半圓及貳拾錢損傷紙幣交換取扱順序

第一項　五拾錢半圓及貳拾錢損傷紙幣交換ハ明治二十三年三月二十五日大藏大臣御達第一一一四號五拾錢半圓及貳拾錢損傷紙幣交換手續（以下單ニ交換手續ト稱ス）ニ據リ取扱フモノトス

第二項　五拾錢半圓及貳拾錢損傷紙幣交換ヲ請求スル者ハ金庫局ニ於テ鑑定計查シ國庫現金有高ノ內ヲ以テ交換スヘシ但シ交換手續第一條但書ニ該當スル者ハ此限ニアラス

第三項　交換濟損傷紙幣ハ直ニ打拔ノ手續ヲナスヘシ但シ打拔濟損傷紙幣ト雖モ通貨ニ算入シ置クモノトス

第四項　各地本支金庫ヨリ送納ニ係ル打拔濟損傷紙幣ハ金庫局ニ於テ收受シ鑑定計查シタル後

チ國庫局ヘ通知シ通貨ト見做シテ收納ノ手續ヲナスヘシ

第五項　金庫局ハ打拔濟損傷紙幣ヲ適宜取纏メ其種類枚數金額等ヲ銀券局ヘ通知シテ代リ金ヲ請求スヘシ

第六項　銀券局ハ金庫局ノ通知ニ依リ損傷紙幣納付書（第一書式）ヲ作リ交換手續第二條ノ手續ヲナスヘシ但シ記錄局物品會計官吏ヘ送納ノ打拔濟損傷紙幣ニ對シ銀券局ヨリ預リ證ヲ金庫局ヘ交附スヘシ

第七項　大藏省國債局ヨリ代リ金下附アリタルトキハ銀券局ハ紙幣交換元金小科目損傷紙幣交換元金ヲ以テ收納シ直ニ同科目ヲ以テ金庫局ヘ前ニ交附シタル預リ證引換ニ拂渡シ金庫局ハ國庫現金有高ヘ補塡スヘシ

第八項　銀券局ハ大藏省國債局ヨリ下附ノ代リ金ニ對シ領收證（第二書式）ヲ差出スヘシ

第九項　損傷紙幣ヲ鑑定ノ際搗改手入未整紛失見本等ノ無效紙幣ヲ發見シタルトキハ金庫局ハ直ニ之ヲ銀券局ニ通知シ銀券局ハ無效紙幣納付書（第三書式）ヲ作リ交換手續第六條ノ手續ヲナスヘシ

第十項　金庫局ハ國庫金受拂日計表ノ下部ヘ五拾錢及壹圓半額及貳拾錢損傷紙幣有高ヲ記入シ國庫局ヘ報告スヘシ

第十一項　銀券局ハ五拾錢及壹圓半額及貳拾錢損傷紙幣交換帳（第四書式）ヲ備ヘ置キ其交換ヲ記入スヘシ

甲　甲ハ記錄局ヘ差出ス

損紙第何號

記

種類	枚數	金額
紙幣　半圓札　半額		
紙幣　半圓札　全額		
紙幣　貳拾錢札　半額		
紙幣　貳拾錢札　全額		
紙幣　小計		
新紙幣　五拾錢札　半額		
新紙幣　五拾錢札　全額		
新紙幣　貳拾錢札　半額		
新紙幣　貳拾錢札　全額		
新紙幣　小計		
合計		

右交換損傷紙幣大藏卿印章及中央數位打拔ノ上其紙片共送納候也

明治何年何月何日

日本銀行總裁

何　某㊞

記錄局物品會計官吏

何　某殿

銀券局長

紙幣　紙幣交換　損傷政府紙幣

乙　乙ハ記錄局物品會計官吏ノ證明ヲ受ケ代リ金請求書ニ添テ國債局ヘ差出ス

損紙第何號　記

種類		枚數	金額
紙幣	半圓札 全額		
	半額		
	貳拾錢札 全額		
	半額		
	小計		
新紙幣	五拾錢札 全額		
	半額		
	貳拾錢札 全額		
	半額		
	小計		
合計			

銀券局長

右交換損傷紙幣大藏卿印章及中央數位打拔ノ上其紙片共記錄局物品會計官吏ヘ納付候也

明治何年何月何日　日本銀行總裁　何　某㊞

國債局長　何　某殿

丙　丙ハ日本銀行ヘ控ヘ置ク

損紙第　號

明治何年何月何日

種類		枚數	金額
紙幣	半圓札 全額		
	半額		
	貳拾錢札 全額		
	半額		
	小計		
新紙幣	五拾錢札 全額		
	半額		
	貳拾錢札 全額		
	半額		
	小計		
合計			

宛名　甲　記錄局物品會計官吏何　某

乙　國債局長　何　某

紙幣　紙幣交換　損傷政府紙幣

第何號

證

一紙幣　何拾何萬枚

此金額何拾何萬圓也

內

五拾錢札何萬枚　記號何　番號自何番至何番

此金額何萬圓

貳拾錢札何萬枚　記號何　番號自何番至何番

此金額何萬圓

右何月何日損紙第何號納付之交換損傷紙幣ニ對スル代リ紙幣正ニ領收候也

日本銀行總裁

明治何年何月何日　何某印

大藏省國債局物品會計官吏

何某殿

銀券局長

第何號

明治何年何月何日　國債局物品會計官吏　何某

種類	記號	番號	枚數	金額
整備紙幣 五拾錢札				
整備紙幣 貳拾錢札				
合計				○

甲

無効第何號

記

種類	枚數	金額	摘要
紙幣 半圓札			
紙幣 貳拾錢札			
紙幣 小計			
新紙幣 五拾錢札			
新紙幣 貳拾錢札			
新紙幣 小計			
不明			
合計			

銀券局長

右紙幣引揚切リ之處分致候分送納候也

明治何年何月何日

日本銀行總裁

何某 ㊞

記錄局物品會計官吏

何某殿

乙

無効第何號

記

種類	枚數	金額	摘要
紙幣 半圓札			
紙幣 貳拾錢札			
紙幣 小計			
新紙幣 五拾錢札			
新紙幣 貳拾錢札			
新紙幣 小計			
不明			
合計			

銀券局長

右紙幣引揚切リ之處分致候分記錄局物品會計官吏ヘ納付致候此段及御報告候也

明治何年何月何日

日本銀行總裁

何某 ㊞

國債局長何某殿

無効第　何　號

甲	記錄局物品會計官吏　何　某
宛	明治何年何月何日
名	國債局長　何　某
乙	

種類	枚數	金額	摘要
紙幣 半圓札			
紙幣 貳拾錢札			
紙幣 小計			
新紙幣 五拾錢札			
新紙幣 貳拾錢札			
新紙幣 小計			
不明			
合計			

損傷紙幣交換帳

入 紙幣 貳拾錢札 全額	入 紙幣 貳拾錢札 半額	入 紙幣 小計	入 合計	拂出 明治年	拂出 摘要	拂出 新五拾錢札	拂出 新貳拾錢札	拂出 合計

第四書式　　錢拾貳及圓拾錢五半

| 受 | | |

第三條　中央金庫ニ於テ交換シタル壹圓以上損傷紙幣ハ直ニ日本銀行ニ就テ銀貨若クハ兌換銀行券ト交換スヘシ

第四條　本支金庫ニ於テ交換シタル壹圓以上損傷紙幣ハ大藏卿印若クハ中央數位ヲ打貫キ配賦令達ニ依リ中央金庫ニ送納スヘシ

第五條　本支金庫ニ於テ前條ノ損傷紙幣ヲ送納スルトキハ打貫キタル卿印若クハ數位ノ紙片ハ日ヲ異ニシテ回送スヘシ

但打貫キタル卿印若クハ數位ノ各種混淆ナキヲ要ス

第六條　中央金庫ニ於テ本支金庫ヨリ送納シタル損傷紙幣ハ之ニ屬スル卿印若クハ數位ノ紙片到着スルヲ待テ第三條ノ交換ヲ爲スヘシ

第七條　各金庫ニ於テ壹圓以上損傷紙幣交換ノ際發見シタル描改手入未整紛失見本等ノ紙幣ニシテ引揚切リノ處分ニ歸シタルモノハ本年三月二十五日第一一一四號令達（五拾錢半及貳拾錢圓）損傷紙幣交換手續第六條ニ據ルヘシ

第八條　各金庫ハ損傷紙幣交換ニ關スル帳簿ヲ設置シ其員額種類ヲ詳記スヘシ

是ニ於テ金庫出納役ハ本支金庫ニ於ケル損傷紙幣交換手續及同打貫手續ヲ定メ同月二十八日第十七號ヲ以テ各金庫ニ達セリ其全文左ノ如シ

本支金庫ニ於ケル損傷紙幣交換手續

第一條　損傷シタル政府發行紙幣之交換ヲ請求スルモノアルキハ其紙幣持參人ノ目前ニ於テ鑑定シ交換規則ニ據リ金庫現在金ヲ以テ之ヲ交換ス可シ但交換濟損傷紙幣在高ハ本年三月十一日甲國第四四九號日本銀行總裁達ニ據リ中央金庫ヘ報告スルモノトス

第二條　本支金庫ニ於テ鑑定ノ際贋造及描改紙幣ヲ發見スルトキハ明治九年第五十七號布告同年大藏省甲第十二號達ニ照準シ見本紙幣未整紛失紙幣ヲ發見スルトキハ明治五年太政官第二百八十一號同八年大藏省甲第二號達及同九年第五十七號布告ニ照準シテ警察署若クハ警察分署ヘ届出可シ但描改手入未整紛失見本等ノ紙幣ニシテ引揚切リノ處分ニ歸シタルモノハ其理由書ヲ付シ第四條ニ據リ中央金庫ヘ送納スルモノトス

第三條　第一條ニ據リ交換濟ノ損傷紙幣ハ大藏卿印若クハ中央數位（以下單ニ卿印若クハ數位ト云フ）打貫手續書ニ照準毎日其印章ヲ打貫モノトス

第四條　卿印若クハ數位打貫濟ノ損傷紙幣ハ金庫相互間回送金振換金取扱順序第二條第三項ニ據リ中央金庫ヘ回送ス可シ但支金庫ニ於テハ同順序第三條ニ據リ通常物品ノ取扱ヲ以テ第一號書式ノ送納書ヲ添ヘ之ヲ中央金庫ニ於テ打貫濟ノ損傷紙幣ハ漸次其本金庫ヘ回送ヲ爲シ置其本金庫ニ於テ本文ノ手續ヲ爲スモノトス

第五條　本支金庫ニ於テ前條打貫濟ノ損傷紙幣ヲ回送スルトキハ打貫タル卿印若クハ數位ノ紙片ハ日ヲ異ニシテ回送ス可シ但打貫キタル卿印若クハ數位ノ各種ハ混淆ナキヲ要ス

第六條　中央金庫ニ於テ鑑定ノ際贋造描改及見本紙幣未整紛失紙幣其他半額ニ交換ス可キモノヲ見誤リ全額ニテ交換ヲナシタルモノ發見又ハ員數不足スルトキ中央金庫ニ對シテハ總テ當該本金庫ヨリ辨償スルモノトス

第七條　前條ニ據リ辨償スル紙幣ハ總テ同種類ヲ以テスヘシ萬一同種類ノ紙幣ニテ辨償シ能ハ

サルトキハ帳簿計表等ヲ更正シテ他ノ種類ヲ以テ辨償スルモノトス

第八條　交換規則ニ照準シ難キ損傷紙幣ニシテ交換額決シ難キモノ或ハ燒損等强キモノハ交換請求人ヘ其旨ヲ示シ預リ證書ヲ附與シ交換規則第十條ニ據リ損傷ノ原因書ヲ差出サセ現品ヲ添テ（燒損等强キモノハ其儘板ニ挟ミ或ハ箱ニ入レ可成丈ケ傷マサル樣ニ注意ス可シ）交換方ヲ中央金庫ヘ申出ツルモノトス

第九條　損傷紙幣交換手數料トシテ金高千圓ニ付金貳圓及卿印若クハ數位打貫手數料トシテ千枚ニ付金三錢六厘ノ割合ヲ以テ支給スルモノトス

第十條　本支金庫ニ於テ損傷紙幣ノ受拂ヲ計算スル爲メ第二號書式ノ損傷紙幣種類別差引簿ヲ設置シ之ヲ整理スルモノトス

第十一條　損傷紙幣種類別差引簿ハ損傷紙幣及損傷新紙幣ヲ區別シ尙其紙幣ノ種類ヲ細別シ交換ノ爲メ受入タルトキ之ヲ借方欄内ニ登記シ又中央金庫ヘ回送シタルトキ之ヲ貸方欄内ニ登記シ差引其殘高ヲ揭クルモノトス

本金庫ニ於テ其所屬支金庫ニテ交換ニ係ルモノ第四條但書ニ據リ其本金庫ヘ回送受入タルトキハ前項ノ如ク損傷紙幣種類別差引簿ヘ登記シ其摘要欄内ヘ某地支金庫ニ於テ交換ノ分ト記載シ置クモノトス

第十二條　損傷紙幣種類別差引簿ハ各本支金庫ニ於テ製造スルモノトス

損傷紙幣打貫手續

一　紙幣ハ大藏卿印輪廓雷紋ノミヲ殘シ印中ハ悉皆打貫新紙幣ハ中央數位ヲ悉皆打貫ヘシ

一　打貫器械大ノ分ハ紙幣ハ百圓ヨリ五圓マテ新紙幣ハ拾圓ヨリ貳拾錢ヲ小ノ分ハ紙幣貳圓ヨリ拾錢マテヲ打貫モノトス

一　打貫臺ハ樫又ハ槻ノ小口ヲ用フ可シ

一　打貫方ハ同種ノモノ拾枚程ヲ重ネ（卿印ノ數位ノ中央ヘ針ヲ以テ目通シヲナシ打貫ヘシ）

一　燒損或ハ腐敗ノモノハ（紙幣ハ表面新紙幣ハ裏面）ヘ美濃紙又ハ半紙ヲ糊貼シテ貫取ル可シ

一　半片ノモノハ全紙ノ形チニ紙ヲ（紙幣ハ表面新紙幣ハ裏面）糊貼シテ貫取ル可シ

一　打貫濟ノ上ハ檢查人ヲシテ種類ヲ分チ員數ヲ調查シ每百枚ニ元結ヲ通シ結ヒ目ハ封印ヲナサシメ又貫取タル文字ノ方モ同樣取扱フ可シ

第一號書式

損傷紙幣送納書

一紙幣何圓也

內譯

全額札　何圓札　何枚

何錢札　何圓札　何枚

半額札　何圓札　何枚

何錢札　何圓札　何枚

此枚數何枚

一新紙幣何圓也

此枚數何枚

紙幣　紙幣交換　損傷政府紙幣

内譯

全額札

何圓札　何枚
何錢札　何圓　何枚

半額札

何圓札　何枚
何錢札　何圓　何枚

但荷造何箇

右損傷紙幣打貫濟ノ分何年何月何日何號御通達ニ依リ來ル何日出帆何社汽船何丸ヘ搭載
（或ハ通運會社ヲ以テ）本日差立送納候也

年　月　日

何地本金庫
金庫出納役代理人
何某銀行（支店）（出張店）
頭取（支配人）
何　某　印

金庫出納役宛

第二號書式　損傷紙幣種類別差引簿（何地本金庫又ハ何地支金庫）

紙幣交換　損傷政府紙幣

損傷紙幣　拾圓札

年月日	摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
		円 錢 厘	円 錢 厘		円 錢 厘
明治何年一月十五日	全額交換	500,000		借	500,000
〃		300,000			
〃	半額交換	100,000		〃	900,000
〃	何號令達ニヨリ中央金庫ヘ回送高		600,000	〃	300,000
〃	本月五日中央金庫ヘ回送高ノ内不足（或ハ贋損改）札發見ノ趣達ニヨリ更正ノ爲誤納拂出		50,000		
〃	全上更正ノ爲受入	50,000			
〃	全上辨償ノ爲メ追納	50,000			
〃	全上中央金庫ヘ回送ノ爲追拂		50,000	〃	300,000

損傷新紙幣　拾圓札

年月日	摘要	借	貸	借或貸	差引殘高
		円 錢 厘	円 錢 厘		円 錢 厘
明治何年一月十五日	全額交換	200,000		借	200,000
〃	〃	100,000		〃	300,000

尚明治二十三年五月二十九日大藏大臣ハ金庫出納役ニ對シ同年三月二十五日第千百十四號及五月二十日第二千百四十六號ヲ以テ達シタル損傷紙幣交換手續ニ依リ各地本支金庫ニ於テ交換シタル損傷紙幣ハ其時々令達セサルニ依リ五百圓ニ滿チタルトキハ其都度、五百圓未滿ハ毎月末日（末日ノ當ルトキハ其前日）中央金庫ニ送納スヘキ旨ヲ達セラレタリ依テ金庫出納役ハ曩ニ達セル交換手續第四條回送方ハ前記ノ方法ニヨリ中央金庫ヘ送納シ回送及振換拂報告表摘要ヘ中央金庫ヘ回送損傷紙幣ト記載報告スヘキ旨同年六月三日ヲ以テ各金庫ニ通達セリ

其後一圓以上紙幣ヲ各金庫ニ收納シタルトキハ之ヲ打貫キタル上中央金庫ニ回送セシムルコトヽナリシカ明治二十四年十二月五日ニ至リ大藏大臣ヨリ損傷紙幣ハ便宜右納入濟一圓以上紙幣ト合セ回送スルモ妨ケナキヲ以テ爾後右兩種ヲ合セテ二千圓ニ滿チタルトキハ其都度、二千圓未滿ハ毎月末日各本金庫ヨリ中央金庫ニ回送セシメ若シ月末ニ在テ回送額僅少ナルトキハ翌月ニ繰越シ定額ニ達スルヲ俟テ回送セシムヘキ旨達セラレタリ依テ同月十日第六十八號ヲ以テ金庫出納役ハ其旨及發送報告ニハ兩種ヲ區別記載スヘキ旨ヲ各金庫ニ達セリ尤モ三十一年十月二十九日以降損傷紙幣、政府發行一圓以上紙幣、國立銀行紙幣及本行一圓兌換券ヲ合セ五千圓ニ滿チタルトキ又右員額ニ滿タサルモ金庫ニ於テ便宜ト認メタル場合ニハ其都度中央金庫ニ回送セシムルコトヽシ尋テ三十三年五月二十九日ニ至リ右第六十八號通達ヲ廢止セリ

是ヨリ先金庫出納役ハ既記ノ如ク損傷紙幣交換手續ニ附屬シテ損傷紙幣打貫手續ヲ各金庫ニ達シタルカ尚ホ明治二十三年六月二十日ヲ以テ右ノ內紙幣ハ卿印、新紙幣ハ中央數位及其打貫クヘキ部分缺損（若シ半額交換ニ付ス可キ紙幣ハ卿印中ノ文字全ク一字以上同新紙幣ハ中央數位ノ內全ク一字以上アルトキハ現存ノ儘打貫カス又其打貫紙幣ハ下部左隅數字ノ上菊章新紙幣ハ卿印中央ノ箇所ヘ元結ヲ通シ共ニ天地ヲ揃ヘ結束シテ送納スヘキ旨ヲ各金庫ニ通牒セリ

尋テ同年六月二十四日ニ至リ既記（五拾錢半圓及貳拾錢）損傷紙幣交換手續第六條ヲ左ノ通リ改正スル旨大藏大臣ヨリ達セラレタリ

第六條　第三條ノ鑑定ニ於テ猶改手入未整紛失見本等ノ紙幣ヲ發見シタルトキハ其事由書ヲ添ヘ之ヲ警視廳ヘ告發スヘシ

依テ金庫出納役ハ同年七月二日ヲ以テ曩ニ達シタル本支金庫ニ於ケル損傷紙幣交換手續第二條但書ヲ削除スル旨ヲ各金庫ニ達セリ

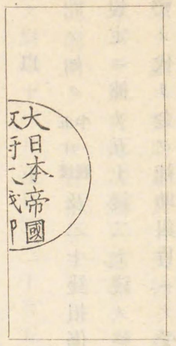
各地本金庫ニ於テ損傷紙幣ノ交換額ヲ決定シ難キモノハ其現物ヲ中央金庫ニ回送シ以テ交換額ノ決定ヲ求メ若シ中央金庫ニ於テモ尚ホ決定シ難キモノハ更ニ之ヲ大藏大臣ニ稟請伺定シ該金庫ニ回答スルト共ニ右損傷紙幣ヲ返送シ來リシモ斯クテハ徒ニ手數ヲ要スルノミナラス遞送中或ハ損傷ノ度ヲ增シ隨テ交換額ニ變更ヲ來スコト無キヲ保シ難キニ依リ之カ取扱ヲ改正スルノ必要ヲ認メタルカ一方大藏大臣ニ伺定スルモノニ在テハ其指令ニ際シ現物ヲ留置キ單ニ預リ證ヲ下付セラルヽニ依リ中央金庫ニ於テモ之ニ倣ヒ各地本金庫ヨリ照會シ來リタルトキハ現物ヲ留置キ其預リ證書ヲ交付シ該金庫ニ於テハ之ヲ現紙幣ト看做シ他ノ損傷紙幣ト共ニ送納セシムルコトヽシ其旨明治二十三年七月十四日第四十二號ヲ以テ各金庫ニ達セシカ越エテ三十三年五月二十九日ニ至リテ之ヲ廢止セリ

又各金庫ヨリ送納ニ係ル損傷紙幣ノ內損傷甚シク交換無効ニ屬スルモノアルトキハ其都度中央金

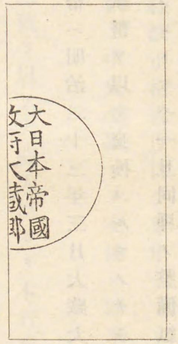
庫ヨリ發送元金庫ニ之ヲ返却スルニ依リ各金庫ニ於テハ該無効紙幣ヲ取纏メ置キ適宜ノ員數書ヲ添付シテ毎年五月十一月ノ兩度ニ中央金庫ニ送付セシムルコト、シ同年十月十八日第七十三號ヲ以テ其旨金庫出納役ヨリ各金庫ニ達セリ

本目ノ初メニ記載セル各種紙幣損札交換規則第九條ニ於テハ紙幣毀損ノ程度ヲ示シテ其交換額ヲ定メアルモ大藏卿印章毀損ニ關スル條項ハ事微細ニ渉ルヲ以テ往々其見解ヲ異ニシ不都合尠カラサルニ依リ之ヲ確定シ置クノ必要ヲ認メ明治二十四年五月二十九日數種ノ圖面ヲ添付シ右ニ付交換額指定アリタキ旨大藏大臣ニ稟請シタルニ同年六月五日ヲ以テ指令セラレタリ依テ心得ノ爲メ金庫出納役ヨリハ各金庫ニ、本行ヨリハ取扱方委託銀行ニ其旨ヲ通牒セリ該圖面及其交換指定額左ノ如シ

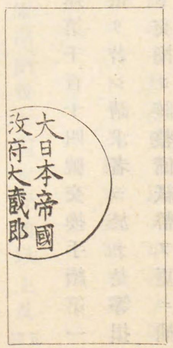
第一圖



第二圖



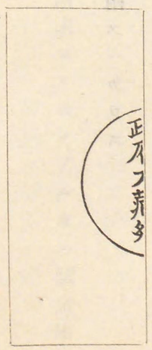
第三圖



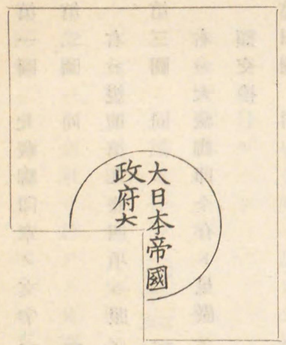
第四圖

第五圖

第六圖



第七圖



紙幣　紙幣交換　損傷政府紙幣

第一圖　大藏卿印章ノ文字一行ト四分ノ一存在
第二圖　同　一行ト二分ノ一存在
右ハ規則第九條四項ニ照シ半額交換
第三圖　同　一行ト十分ノ六存在
右ハ大藏卿印全存ト見做シ中央數位明治通寶印共全存ノモノニ對シ規則第九條三項ニ準シ全額交換
第四圖　同　一行ノ四分ノ三存在
第五圖　同　一行ノ二分ノ一存在
右ハ卿印半存ト見做シ同項ニ準シ半額交換
第六圖　同　一行ノ十分ノ四存在
右ハ卿印中字體ヲ認メサルモノトシ同第七項ニ準シ交換ニ附スヘカラス
第七圖
右ハ交換方要求ノ時々伺出ヘシ

以上

既記ノ如ク五十錢半圓及二十錢損傷紙幣ハ明治二十三年三月大藏大臣達第千百十四號交換手續第一條ノ規定ニ據リ五十錢二十錢ノ整備紙幣ヲ以テ交換スルモノナルニ依リ若シ請求者ニ於テ是等損傷紙幣ノ代リ金ヲ補助銀貨ニテ受取ラントセハ一旦同種ノ整備紙幣ト交換シ該整備紙幣ヲ更ニ補助銀貨ト交換スルノ手續ヲ執ルコトヽナルヲ以テ本行ニ於テハ結局印章打貫等ヲ始メ總テ重複ノ手

數ヲ費サヽルヘカラサルニ依リ明治二十四年六月三十日ヲ以テ本行ハ大藏大臣ニ對シ右損傷紙幣ヲ以テ直ニ補助銀貨ト交換シ得ル樣改正相成度旨ヲ稟申シタルニ同年七月八日ヲ以テ申出ノ通リ認可スルモ交換基金ノ都合アルニ依リ中央金庫ヨリ交換ノ請求アリタルトキハ請求金額ヲ具シ其都度伺出ッヘキ旨指令セラレタリ

尋テ同年十一月三日第三千百五十三號ヲ以テ大藏大臣ヨリ本行及金庫出納役ニ對シ壹圓以上及五拾錢半圓貳拾錢損傷紙幣交換手續ヲ左ノ通リ改正スル旨達セラレタリ從テ曩ニ本行ノ制定セル五拾錢半圓貳拾錢損傷紙幣交換取扱順序ハ自然消滅トナレリ

損傷紙幣交換手續

第一條　中央金庫及本金庫支金庫ヘ政府發行損傷紙幣ノ交換ヲ請求スルモノアルトキハ該金庫ハ損傷紙幣交換規則ニ照準シ金庫ノ在金ヲ以テ交換スヘシ
但交換濟損傷紙幣ノ高ハ明治廿三年三月四日第七七〇號達ニ據リ主計局ヘ報告スヘシ

第二條　中央金庫ニ於テ交換シタル損傷紙幣又ハ納金中ヨリ發見シタル損傷紙幣ハ直ニ日本銀行ヘ送付スヘシ

本金庫支金庫ニ於テ交換シタル壹圓以上損傷紙幣ハ明治廿四年九月十八日第二九二七號達第二項ノ金額ニ合併（即チ送金額貳千圓ニ滿チタルトキハ其都度貳千圓未滿ハ毎月末日マテニ）シテ中央金庫ヘ回送スヘシ

本金庫支金庫ニ於テ交換シタル五拾錢以下損傷紙幣ハ支金庫ハ毎五十ノ日本金庫ヘ回送シ本金庫ハ本金庫ニ於テノ交換紙幣ヲ併セテ毎月末日マテニ中央金庫ヘ回送スヘシ

第三條　中央金庫及本金庫支金庫ニ於テ交換シタル損傷紙幣ハ總テ大藏卿印又ハ中央數位ヲ打

貫キ其打貫キタル片紙ハ各種混淆セサラシムヘシ

本金庫支金庫ニ於テ打貫キ濟紙幣ハ卿印又ハ數位ト日ヲ異ニシテ支金庫ハ本金庫ヘ本金庫ハ中央金庫ヘ回送スヘシ

第四條　中央金庫ハ本金庫ヨリ損傷紙幣ノ回送ヲ受ケタルトキハ之ニ屬スル打貫キ濟大藏卿印又ハ中央數位ノ到着ヲ待チ共ニ鑑定計査シテ日本銀行ヘ送付スヘシ

第五條　日本銀行ハ中央金庫ヨリ損傷紙幣ノ送付ヲ受ケタルトキハ壹圓以上紙幣ニ對シテハ直ニ銀貨若クハ兌換銀行券ト交換シ五拾錢以下紙幣ニ對シテハ第六條ノ手續ヲ經五拾錢貳拾錢ノ整備紙幣ヲ以テ中央金庫ヘ償入スヘシ

但五拾錢以下損傷紙幣ニシテ半額交換ニ屬スルモノ通シテ拾錢又ハ五錢ノ端數ヲ生シタルトキハ紙幣基金補助紙幣銷却基金ヲ以テ償入スヘシ

第六條　日本銀行ハ五拾錢以下損傷紙幣ニ對シテハ種類金額枚數等詳細ナル計算書ヲ添付シ主務ノ物品會計官吏ニ送納シ右計算書ニ該官吏ノ證明ヲ受ケ別ニ該官吏ノ領收證書ヲ受取而シテ證明ヲ受ケタル計算書ヲ以テ代リ五拾錢及貳拾錢ノ整備紙幣ヲ請求スヘシ

但整備紙幣ヲ受取タルトキハ主務ノ物品會計官吏ヘ領收證書ヲ差出スヘシ

第七條　第一條ノ交換ニ際シ描改手入未整紛失見本ノ紙幣ヲ發見シタルトキハ其事由書ヲ添ヘ之ヲ其筋ヘ告發スヘシ

中央金庫ハ第四條ノ鑑定計査ニ際シ前項紙幣ヲ發見シタルトキハ最初回送シタル本金庫ニ返付シ本金庫ハ其取扱ニ係ルモノハ直ニ前項ノ手續ヲナシ又支金庫ノ取扱ニ係ルモノハ支金庫ニ返付シ支金庫ハ前項ノ手續ヲナスヘシ

第八條　第六條ノ送納紙幣ニシテ追テ記番號帳ノ消印ヲ爲スニ當リ前條紙幣ヲ發見シタルトキハ物品會計官吏ヨリ其紙幣ヲ日本銀行ヘ返付スヘキニ付同行ハ同種類ノ損傷紙幣ヲ以テ償入スヘシ

但日本銀行ハ本條返付ノ紙幣ヲ中央金庫ニ返付シ中央金庫ハ其取扱ニ係ルモノハ第七條第一項ノ手續ヲナシ又本金庫支金庫ノ取扱ニ係ルモノハ同第二項ノ手續ヲナスヘシ

第九條　損傷紙幣交換規則ニ據リ交換額相決シ難キモノアルトキハ事由書ヲ添ヘ日本銀行ヨリ大藏大臣ニ伺出ツヘシ

第十條　前條ノ紙幣ニシテ交換ノ効力アルモノト雖モ其損傷タル多クハ焦損又ハ幾片ニ切裂シ取扱上危險ナルモノニ付大藏大臣決裁ノ上ハ直ニ主務ノ物品會計官吏ニ預ケ置キ預リ證書ヲ受ケ之ヲ以テ紙幣ト見做シ他ノ紙幣ト共ニ送納スヘシ

第十一條　中央金庫及本金庫支金庫ハ損傷紙幣交換ニ關スル帳簿ヲ設置シ其員額種類ノ詳記スヘシ

以上記載セル如ク損傷紙幣ノ交換ハ初メ本行本支店國庫金取扱所、同出納所、金庫並ニ本行ニ於テ特ニ委託シタル各銀行ニ於テ之ヲ取扱ヒ來リシカ前掲ノ通リ交換手續ヲ改正セラレ爾後中央金庫並各本支金庫ニ於テノミ交換ヲ取扱ヒ中央金庫ニ於テハ右ヲ取纏メ更ニ本行ニ交換ヲ請求シ本行ハ獨リ中央金庫ノミノ請求ニ應シテ交換ノ手續ヲ爲シ直接請求者ニ對シテハ取扱ハサルコトヽナリタルニ依リ明治二十四年十一月十九日大阪支店ニ對シ爾後該支店所有紙幣中ニ損傷ノモノアルトキハ大阪本金庫ニ就キ交換ヲ請求スヘキ旨ヲ達シ又曩ニ損傷紙幣交換事務取扱ヲ委託セル東京、大阪横濱高崎ノ諸銀行ニ對シテハ同月二十日ヲ以テ右委託ヲ解除セリ又右交換手續ノ改正ニ據リ爾

後交換請求ノ紙幣ニシテ損傷甚シク無効ニ屬スヘキモノハ請求者ニ之ヲ返却スヘキモ從來ノ取扱ニ依リ已ニ引揚切トシテ當時本行ニ保管セルモノハ同月二十五日大藏大臣ノ認可ヲ得テ之ヲ同省國債局ニ還納スルコトヽセリ

越エテ明治二十九年八月二十六日大藏大臣ヨリ前記交換手續第六條及第八條ヲ削除シ第五條ヲ左ノ通リ修正スル旨達セラレタリ

第五條　日本銀行ハ中央金庫ヨリ損傷紙幣ノ送附ヲ受ケタルトキハ壹圓以上紙幣ニ對シテハ銀貨若クハ兌換銀行券ト交換シ五拾錢以下紙幣ニ對シテハ補助銀貨若クハ銅貨ト交換スヘシ

是ヨリ先明治二十三年四月二十六日ヲ以テ大藏大臣ハ從來各種紙幣交換ニ關シ各別ニ其取扱方ヲ命任シ來リシヲ改メ一命令任書ノ下ニ統括シ更メテ命任書ヲ下付セラレタルヲ以テ損傷紙幣モ亦爾後該命任書ニ據リテ取扱フコト、ナレリ依テ本行ニ於テモ該命任書ニ準シ同年五月九日紙幣交換取扱順序、支店紙幣交換取扱順序ヲ制定シ各種紙幣交換ニ關スル取扱方ヲ規定セリ而シテ當時代理店ニ於テハ十錢紙幣ノ外政府紙幣ノ取扱ヲ爲サヽリシニ依リ代理店紙幣交換取扱順序ニ於テハ十錢紙幣ニシテ損傷シタルモノハ明治十年大藏省布達乙第二十一號損傷紙幣交換規則ニ據リ取扱フヘキ旨ヲ規定セルノミニシテ其他ノ損傷政府紙幣ニ付何等記載スル所無キモ紙幣交換取扱順序及支店紙幣交換取扱順序ニ於テハ各簡單ニ損傷紙幣ニ關スルコトヲ規定シ既記同年三月三十一日制定ノ五拾錢及貳拾錢損傷紙幣交換取扱順序ト相併テ損傷紙幣交換事務取扱上ノ指針タリキ然ルニ其後明治二十四年十一月十三日ヲ以テ大藏大臣ヨリ損傷紙幣交換手續ノ改正ヲ達セラルヽニ及ヒ既記ノ如ク右五拾錢及貳拾錢損傷紙幣交換取扱順序全文ハ自然消滅ニ歸シタリ越エテ三十二年一月以降是等紙幣交換取扱順序全文ヲ改正シ續テ三十三年一月以降代理店紙幣交換取扱順序中ニ政府紙幣交換ニ關スル條項ヲ追加規定セルノ詳細ハ本節一般ノ部ニ讓リ茲ニ之ヲ省ク尚ホ當初下付ノ命任書ニ於テハ一圓以上紙幣ハ一圓銀貨ヲ以テ交換スヘキコトヽナリ居タルモ斯クテハ半額交換等ノ紙幣ニ對スル代リ金交付上不都合ノ點アルニ依リ明治二十三年五月二十七日ヲ以テ命任書中ニ追加セラレシ結果損傷紙幣交換上補助銀貨ヲ要スル場合ニハ本行ニ於テ一圓銀貨ヲ補助銀貨ニ交換シ然ル後右ノ補助銀貨ヲ以テ交換スルコトヽナレリ

斯クテ政府紙幣ハ明治三十二年十二月三十一日限リ總テ其通用ヲ廢シ其翌日ヨリ起算シ滿五ケ年ヲ以テ交換期限トセラレシヲ以テ右交換期限ノ到來ニ依リ損傷紙幣交換事務モ亦完結ヲ告ケタリ

第四目　國立銀行紙幣

明治十六年五月五日第十四條布告ヲ以テ國立銀行條例ヲ改正シ其第四十九條ニ於テ此條例ヲ遵奉シテ創立シタル銀行ヨリ發行スル所ノ銀行紙幣ヲ通貨ト引換ヘンコトヲ請求スルモノアルトキハ日本銀行ニ於テ之ヲ引換フヘキ旨ヲ規定セラレ又同月十一日大藏卿ヨリ下付セラレタル國立銀行紙幣消却事務取扱命令書第六條ニ於テ本行ハ各國立銀行ヨリ紙幣引換準備金ノ預托ヲ受クルニ付キ該紙幣引換ノ義ハ國立銀行條例改正第四十九條ニ據リ本行ニ於テ之ヲ負擔シ若シ通貨ト交換ヲ請求スルモノアルトキハ本行本店ニ於テ之ヲ引換フヘク尤モ大藏卿ニ於テ要用ナリト思考スルトキハ更ニ本行ニ命シテ本行支店又ハ「コルレスポンデンス」約定店ニ於テ之カ引換ヲ爲サシムルコトアルヘキ旨ヲ明示セラレ茲ニ本行ハ國立銀行紙幣ノ交換ヲ取扱フコト、ナリ當時本行カ各國立銀

行ト締結セル紙幣消却處分約條書第七條ニモ其旨ヲ定メ置キタリ然ルニ之カ交換基金ニ就テハ命令書中何等記載スル所ナキヲ以テ同年六月四日大藏卿ニ對シ如何心得ヘキヤヲ伺出テタルニ同年七月二十四日ヲ以テ實際交換方ヲ請求スルモノアリシトキハ先ツ本行有金ヲ以テ交換シ置キ何分ノ義其時ニ際シ更ニ伺出ツヘキ旨指令セラレタリ

又損傷國立銀行紙幣ニ就テハ明治十二年一月第三號布告ヲ以テ改正セラレタル國立銀行成規第二十四條ニ據リ金額、店名（又ハ役員姓名以下之ニ準ス）明瞭ニシテ番號記號全存スル者及番號記號一モ存セサル者ニテモ缺失セシ部分ニ金額及店名、番號記號各其一ノ連續シテ俱ニ存スヘキ餘地アル者ハ總テ半額ヲ以テ交換シ、番號記號各其一ヲ存シ且金額及店名明瞭ナルモ缺失セシ部分ニ猶金額及店名、番號記號各其一ノ連續シテ俱ニ存スヘキ餘地アル者ハ總テ半額ヲ以テ交換シ又細裂シテ其紙片ノ全備セサル者ト雖之ヲ集合シテ彩紋、字體等ノ連續スル者ハ前記ノ例ニ照準全額或ハ半額ヲ以テ交換シ又汚染シタル紙幣ニシテ金額及其店名等ヲ認メ得ヘキ者ハ全額ヲ以テ之ヲ交換スルモノトセリ尤モ交換額ノ決シ難キモノアルトキハ其都度大藏大臣ニ伺出其指令ヲ俟テ交換額ヲ決定スルコトヽセリ

其後國立銀行ハ早キハ明治二十九年九月、遲キモ同三十二年中ニハ營業滿期トナルヘキヲ以テ二十九年三月九日法律第八號ヲ以テ國立銀行紙幣ノ通用期限ヲ三十二年十二月九日トシ該紙幣ノ所持人ハ其翌日ヨリ起算シ滿五箇年內ニ其引換方ヲ政府ニ請求スヘク若シ此引換期日ヲ過クルトキハ總テ所持人ノ損失トシ而シテ本法ハ官命又ハ平穩鎖店ニ係ル國立銀行發行ノ紙幣ニハ之ヲ適用セサル旨ヲ公布セラレ尙ホ同日法律第七號ヲ以テ營業滿期國立銀行處分法ヲ、同月二十三日法律第十一號ヲ以テ國立銀行營業滿期前特別處分法ヲ公布セラレ國立銀行ハ營業終了ノ日ニ於テ其發行紙幣ヲ未タ悉皆消却シ能ハサルトキハ消却殘高ニ相當スル金額ヲ政府ニ納付シ玆ニ全ク其發行紙幣トノ關係ヲ絕チ而シテ政府ハ該納付金ヲ以テ殘存紙幣消却ノ基金ト爲シ其發行紙幣ヲ交換スルコトヽナリシニ依リ同年九月五日ヲ以テ大藏大臣ハ本行ニ對シ右紙幣交換事務ヲ命スルニ依リ同年九月以降左ノ條々ニ據リ處理スヘキ旨ヲ命セラレタリ

命任書

第一條　此命任ニ依リ交換スヘキ紙幣ハ營業滿期國立銀行紙幣及營業滿期前特別處分ヲ爲シタル國立銀行紙幣交換基金ヲ以テ發行銀行ニ拘ハラス現ニ流通セル各國立銀行紙幣ヲ通シテ之ヲ合同交換スヘシ

第二條　前條交換ニ對シ支出シタル金額ハ其銀行每ニ區分シ每月二回官房第三課ニ報告スヘシ

第三條　紙幣交換基金ハ現金前渡ヲ以テ交付スヘキニツキ當省ニ請求スヘシ

第四條　本命任ニ依リ其行取扱ニ係ル紙幣交換ニ關スル金員及交換方ニツキテハ一切ノ責任ヲ負ヒ損失ヲ生スル場合ニハ之ヲ辨償スヘシ

第五條　交換濟紙幣ハ其表面及裏面ニ廢棄印ヲ押捺シ發行銀行並ニ種類金額枚數ヲ區別シタル還納表ヲ添ヘテ之ヲ還納シ且前月ノ交換高ヲ翌月十日限リ官房第三課ニ報告スヘシ

前項還納表ハ主務物品會計官吏ノ證明ヲ得テ仕拂計算書ノ證憑ニ充ツルモノトス

第六條　前條還納紙幣ニシテ追テ記番號帳ノ消印ヲ爲スニ當リ萬一贋造描改又ハ見本其他不正ノモノアルコトヲ發見スルトキハ其紙幣ヲ返付スヘキニツキ物品會計官吏ニ領收證書ヲ差出スヘシ

前項返付ノ紙幣ニ對シ現金ヲ以テ償入ノ爲メ其事由ヲ詳悉シ當省ヘ具申シ之ニ對シ納入告知書ノ交付ヲ受ケタルトキハ中央金庫ヘ納入スヘシ

第七條 紙幣交換基金ノ支拂ニ關シテハ明治二十三年勅令第六十八號ニ依リ會計檢査院ノ檢査判決ヲ受クヘシ

第八條 每年度ノ紙幣交換基金ニシテ當該年度三月三十一日迄ニ交換ニ供セラレサルモノハ翌年度四月二十日限リ交換未濟報告書ヲ當省ヘ差出スヘシ

第九條 前條交換未濟金ニ對シテハ返納告知書ヲ交付スヘキニ依リ中央金庫ヘ還納スヘシ

第十條 紙幣交換基金ニ對シ其行ハ每月一回仕拂計算書ヲ調製シ調還書類（交換濟紙幣還納表）ヲ添ヘ翌月末日限リ下檢査ヲ受クル爲メ之ヲ當省ニ差出スヘシ

但本條計算書ヲ差出シタル後各地支店代理店ヨリ送附シ來ル交換濟紙幣ノ回着スルカ又ハ事故アリテ翌々月ニ渉ルモノアルトキハ該月ノ計算書ニ編入スヘシ

第十一條 紙幣交換ニ關スル帳簿書式ハ鎖店銀行紙幣ノ例ニ依ルヘシ

尋テ同月二十六日大藏省告示第七十二號ヲ以テ東京第一國立銀行ハ同月二十五日營業期限滿了ニ付同行ヨリ發行セル紙幣ノ交換義務ハ自今政府ニ於テ之ヲ引受ケ其事務ハ日本銀行ヲシテ取扱ハシムル旨ヲ告示セラレ、續テ同年十月一日同省告示第七十五號ヲ以テ宇土第百三十五國立銀行ハ營業滿期前特別處分ノ許可ヲ受ケ同年九月三十日營業滿期前特別處分法第五條ノ手續ヲ了シタルニ付同行發行紙幣ノ交換義務モ亦自今政府ニ於テ引受ケ其事務ハ日本銀行ヲシテ取扱ハシムル旨ヲ告示セラレタリ然ルニ百三十有餘ノ銀行ヨリ發行セル紙幣ニ對シ此ノ如ク一行每ニ公告スルハ極メテ煩雜ナルニ依リ同年十月五日同省告示第七十八號ヲ以テ營業滿期處分法幷滿期前特別處分法ニ據リ處分ヲ爲シタル國立銀行ヨリ發行セル紙幣ノ交換義務ハ右處分後總テ政府ニ於テ引受ケ其事務ハ日本銀行ヲシテ取扱ハシムルニ付自今其都度之ヲ公示セサル旨ヲ告示セラレタリ

而シテ營業滿期又ハ滿期前特別處分ヲ爲スニ當リ各國立銀行ハ其發行紙幣未消却ニ相當スル金額ヲ政府ニ納付シ政府ハ之ヲ以テ紙幣ノ消却基金即チ交換基金トセラルヘキコトハ既ニ記載シタル所ナルカ右紙幣交換基金ハ二十八年二月法律第十六號及二十九年三月法律第十二號ヲ以テ鎖店銀行紙幣交換基金特別會計法ヲ追加改正セラレシ結果其適用ヲ受クルコトヽナリ從テ本行ハ二十三年四月勅令第六十八號第三項ニ據リ大藏省ヨリ隨時右基金ノ前渡ヲ受ケ其仕拂ハ會計檢査院ノ證明ヲ受クルコトヽナレリ

依テ本行ニ於テハ之カ整理ノ爲メ二十九年九月ヲ以テ官金部勘定中ニ特ニ「銀行紙幣交換元金」ナル一科目ヲ設ケ尙ホ銀行紙幣交換ニ關スル一切ノ事務ヲ整理スル爲メ命任書第十一條ノ趣旨ニ從ヒ左ノ帳簿ヲ設置セリ

銀行紙幣交換元金元帳（第一號樣式）
同　精算帳（第二號樣式）
交換濟銀行紙幣受拂帳（第三號樣式）
同　明細帳（第四號樣式）
還納銀行紙幣明細帳（第五號樣式）

第三號樣式　交換濟銀行紙幣受拂帳

明治年	摘要	受高	拂高	差引殘高

第一號樣式　銀行紙幣交換元金元帳

明治年	摘要	借方	貸方	借或貸	差引殘高

第二號樣式　銀行紙幣交換元金精算帳

明治年	摘要	元受高	精算高	差引殘高

紙幣　紙幣交換　國立銀行紙幣

第四號樣式　交換濟銀行

明治年	摘要	舊壹圓札	舊貳圓札	舊五圓札

第五號樣式　還納銀行

明治年	摘要	舊壹圓札		舊貳圓札		舊五圓札	
		枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額

紙幣明細帳

舊拾圓札	舊貳拾圓札	新壹圓札	新五圓札	合計

紙幣明細帳

舊拾圓札		舊貳拾圓札		新壹圓札		新五圓札		合計	
枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額

此ノ如クニシテ國立銀行紙幣交換事務ハ當初本店ニ於テノミ之ヲ取扱ヒ來リシモ該紙幣ハ全國ニ瀰漫シ流通區域頗ル大ナルヲ以テ之カ交換ヲ容易ナラシメンカ爲メ支店出張所代理店ニ於テモ本事務ヲ取扱ハシムルコトヽシ先ツ銀行紙幣交換取扱順序ヲ制定シテ各取扱店ニ於ケル交換手續ヲ詳細規定シ明治三十年五月十八日ヲ以テ取扱店名及右取扱順序ヲ添付シ其旨大藏大臣ニ稟請シタルニ翌十九日ヲ以テ認可セラレタリ依テ同月二十五日支店出張所（札幌チニ對シ自今銀行紙幣交換取扱順序ニ據リ銀行紙幣ノ交換ヲ取扱ヒ其交換基金ハ官金部勘定ヲ以テ計算スヘキ旨ヲ達シ尚北道支店所轄札幌出張所、小樽、根室ノ兩派出所及名古屋支店所轄津派出所ニ於テモ便宜之ヲ取扱ヒ各其所轄店ニ於テ取纏メ整理セシムルコトヽシ又代理店（國債事務取扱代理店ト同シ）ニ對シテハ公債其他取扱事務代理約條書第一條末號ニ據リ本事務ヲ委託スヘキ旨ヲ通牒セリ右銀行紙幣交換取扱順序全文左ノ如シ

銀行紙幣交換取扱順序

第一條　國立銀行（鎭店銀行チ除ク以下同シ）發行紙幣ノ交換ハ法令ニ據リ取扱ヒ其代リ金ハ通貨ヲ以テ拂渡スヘシ

第二條　國立銀行發行紙幣ノ交換ニ關スル元金ハ（銀行紙幣交換元金）ノ科目ヲ以テ計算スヘシ

第三條　銀行紙幣交換元金ハ豫メ其金高ヲ見積リ日本銀行本店ヘ請求シ其回送ヲ受ケタルキ第三號書式ノ領收證ヲ差出スヘシ

第四條　國立銀行發行紙幣交換ノ際贋造描改等其他不正ノ紙幣ヲ發見シタルキハ法令ニ據リ處分スヘシ

第五條　交換紙幣損傷ナルキハ國立銀行成規第二十四條ニ據リ取扱ヒ其交換額決シ難キモノハ交換請求者ヘ其旨ヲ示シ損傷ノ原因ヲ詳記シタル保證人連署ノ書面ヲ徵シテ預リ證ヲ交付シ置キ該紙幣並書面ヲ日本銀行本店ヘ回送シ其指示ヲ請フヘシ

第六條　交換濟銀行紙幣ハ第一號樣式ノ消印ヲ第二號樣式ニ據リ押捺シ毎月一回以上適宜取纏メ（交銀紙）ノ符號並送附書番號ヲ表記シ配達證明小包郵便ヲ以テ日本銀行本店ヘ回送シ即日第四號書式ノ送附書ヲ差出スヘシ

第七條　交換濟銀行紙幣日本銀行ニ於テ鑑査ノ際鑑定違ヒノ紙幣又ハ不足ヲ發見シタルキハ其交換取扱店ニ於テ之ヲ辨償スヘシ

第八條　交換濟銀行紙幣鑑査結了シタルキハ第五號書式ノ鑑査濟證書ヲ交附スヘシ

第九條　毎年三月末日銀行紙幣交換元金殘高ノ有無及其金額ヲ日本銀行本店ヘ電報シ且該殘高ヲ適宜ノ方法ヲ以テ一旦返戻スヘシ

前項返戻金ニ對シテハ領收證ヲ交附スヘシ

第十條　銀行紙幣交換元金元帳（第七號樣式）及交換濟銀行紙幣受拂帳（第八號樣式）ヲ備ヘ置キ銀行紙幣交換元金及交換濟銀行紙幣ノ受拂ヲ計算整理スヘシ

第十一條　銀行紙幣交換元金若クハ交換濟銀行紙幣ノ受拂アリタルトキハ第九號樣式ノ銀行紙幣交換金受拂報告表ヲ日本銀行本店ヘ差出スヘシ

第十二條　國立銀行發行紙幣交換ニ關スル諸費ハ日本銀行代理店ニ限リ左ノ割合ヲ以テ毎年六月十二月ノ二期ニ拂渡スヘキニ付第六號書式ノ請求書ニ實費證書ヲ添ヘ日本銀行本店ヘ請求

スヘシ

一　手數料　交換金高ノ壹萬分ノ五

二　消印料　紙幣千枚ニ付金五錢五厘

三　運搬費　實際支拂ヒタル金額

第十三條　日本銀行支店出張所ニ於テ國立銀行發行紙幣交換ニ關シ支拂ヲ要スル諸費ハ營業費ヲ以テ支拂フヘシ

第一號樣式

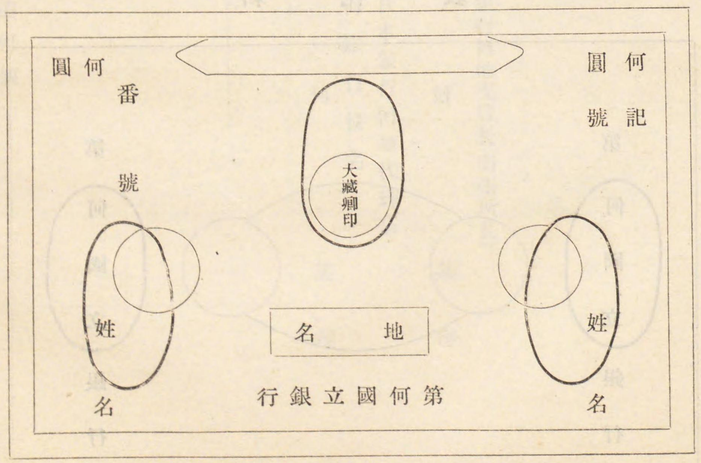
竪一寸三分橫一寸

消ノ字ハ最モ判明ナル樣字格ヲ大ニスヘシ

取扱店名ハ支店出張所代理店名ヲ細書スヘシ

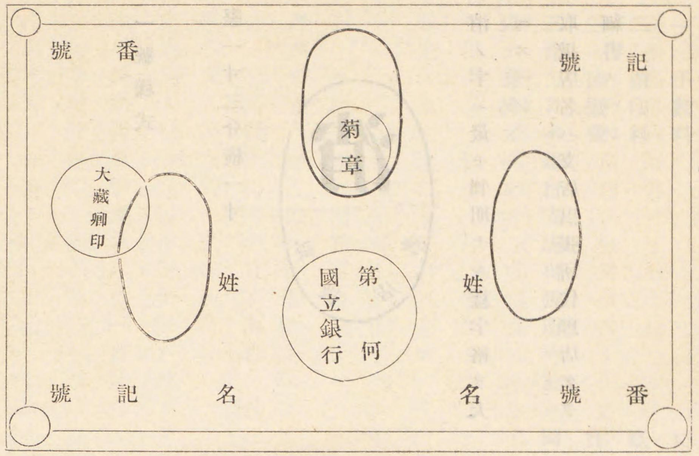
紙幣　紙幣交換　國立銀行紙幣

第二號樣式ノ一・舊札



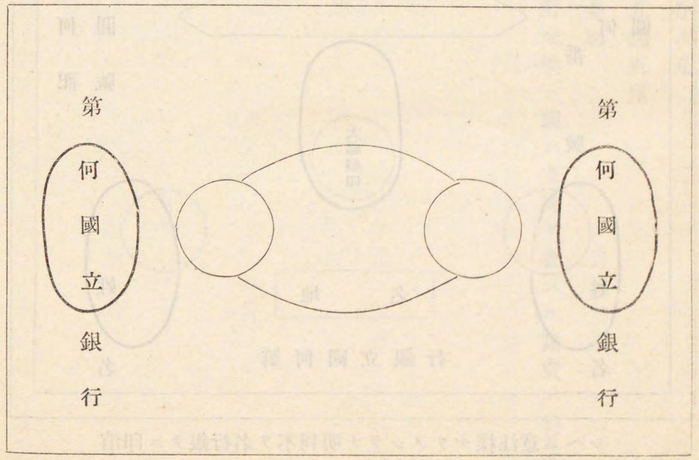
消印ニテ銀行名ヲ不判明ナラシメサル樣注意スヘシ

第二號樣式ノ二　新札表



消印ニテ銀行印章ヲ不判明ナラシメサルヤウ注意スヘシ

新札裏



第三號書式

記

一金何圓也

但銀行紙幣交換元金

右正ニ領收候也

年　月　日

日本銀行總裁宛

日本銀行何地支店長（出張所長）

何　某　㊞

又ハ日本銀行何地代理店

何銀行役名

何　某　㊞

第四號書式

第　何　號

交換濟銀行紙幣送附書

一交換濟銀行紙幣何圓也

此枚數　何　枚

內譯

紙幣　紙幣交換　國立銀行紙幣

此荷造何個

種類	全額	半額	合計
舊何圓札			
舊何圓札			
新何圓札			
舊何圓札			
新何圓札			
合計			

右本年何月交換濟ノ分消印ノ上本日小包郵便ヲ以テ及御送附候也

年　月　日

日本銀行總裁宛

日本銀行何地支店長(出張所長)

何　某　㊞

又ハ日本銀行何地代理店

何銀行役名

何　某　㊞

第五號書式

第何號

證

送付書年月日	送付書番號	金額	枚數
合計			

右交換濟銀行紙幣鑑定計査相濟候也

明治　年　月　日

日本銀行總裁

何　某　㊞

日本銀行何地支店
出張所
代理店　宛

紙幣　紙幣交換　國立銀行紙幣

第六號書式

自何年何月至何年何月 銀行紙幣交換諸費請求書

一金何圓也　手數料
一金何圓也　消印料
一金何圓也　運搬費
合計金何圓也

內譯

發送月日	送附書番號	金額	枚數	運搬費
合計				

右國立銀行發行紙幣交換諸費御拂渡相成度依テ別紙運搬費ニ對スル實費證書相添ヘ此段請求致候也

年　月　日

日本銀行總裁宛

日本銀行何地代理店
何銀行役名
何某 ㊞

第七號樣式　銀行紙幣交換元金元帳

紙幣　紙幣交換　國立銀行紙幣

治明年	摘要	借方	貸方	借或貸	殘高引差

第八號樣式　交換濟銀行紙幣受拂帳

舊弐拾圓札、舊拾圓札、舊五圓札、舊弐圓札、舊壹圓札、新五圓札、新壹圓札、合計ノ口座テ可シ置ク

治明年	摘要	受高	拂高	殘高引差

第九號様式　銀行紙幣交換金受拂報告表

第　號　　明治　年　月　日

摘要	前日繰越高		受高		拂高		差引殘高	
銀行紙幣交換元金								
通貨								
交換濟銀行紙幣								
舊貳拾圓札								
舊拾圓札								
舊五圓札								
舊貳圓札								
舊壹圓札								
新五圓札								
新壹圓札								
合計								

日本銀行何地支店(出張所)(代理店)　印

依テ本店ニ於テハ各取扱店ヨリ送付シ來ル交換濟紙幣ヲ統括シ本店取扱ノ分ト併セテ之ヲ大藏省ニ還納スルコトヽシタルカ各取扱店ニ於ケル交換基金ハ其筋ヨリ交付セラレタルモノヲ分配シ官金部勘定中ニ「支店銀行紙幣交換元金」「出張所銀行紙幣交換元金」「代理店銀行紙幣交換元金」ノ三科目及左記帳簿ヲ新設シ以テ各取扱店ニ關スル勘定ヲ整理スルコトヽセリ

支店銀行紙幣交換元金元帳　甲號様式
出張所銀行紙幣交換元金元帳　同
代理店銀行紙幣交換元金元帳　同
銀行紙幣交換元金有高帳　乙號様式
各地交換濟銀行紙幣有高帳　同
各地交換濟銀行紙幣記入帳　丙號様式

甲號樣式　支店 出張所 代理店 銀行紙幣交換元金元帳

治年明	摘要	借方	貸方	借或貸	差引殘高

乙號樣式

銀行紙幣交換元金有高帳

各地交換濟銀行紙幣有高帳

治年明	摘要	受高	拂高	差引殘高

帳入記幣紙行

紙幣	還納		監査濟證書				交換諸費						交換諸費	
	月	日	年	月	日	番號	手數料		消印料		運搬費		拂渡月日	
紙幣交換														
國立銀行紙幣														

各地交換濟銀　式樣號丙

着日到月	數枚	金額	附送書 號番	附送書 日月	摘要	治明年

爾來上記ノ如キ勘定科目ヲ以テ計算シ來リシカ大藏大臣ノ認可ヲ經テ明治三十年六月七日以降官金部勘定ヲ廢シ營業部ニ併合計算スルコトニ改メシヲ以テ之ト同時ニ銀行紙幣交換基金ハ政府紙幣、鎖店銀行紙幣ノ交換基金ト共ニ「紙幣交換元金」ナル勘定科目ヲ以テ計算シ其詳細ハ之ヲ內譯科目ニ讓ルコトヽシ、支店出張所代理店ニ對スル交換基金ノ勘定科目モ亦之ニ準シ尙ホ支店出張所代理店銀行紙幣交換元金元帳ヲ廢止シテ支店出張所代理店紙幣交換元金元帳ニ併記スルコトヽセリ

是ヨリ先明治二十九年九月二十九日ヲ以テ大藏大臣ハ金庫出納役ニ對シ各地本支金庫ニ收入シタル國立銀行紙幣ハ便宜本金庫ニ取纏メ本金庫ハ之ヲ中央金庫ニ回送シ中央金庫ハ日本銀行ニ就キ通貨ト交換スヘキ旨ヲ達セラレシニ依リ金庫出納役ハ國立銀行紙幣回送手續ヲ定メ十月五日ヲ以テ之ヲ各金庫ニ達セリ（本章國立銀行紙幣滯却ノ部參照）爾來各本金庫ハ右回送手續第四條ニ據リ國立銀行紙幣五千圓ニ滿チタルトキハ其都度之ヲ中央金庫ニ回送シ來リシモ漸ク其收入額ヲ減スルニ至リシカハ三十一年十月二十九日ヲ以テ損傷政府紙幣、政府發行一圓以上紙幣、一圓兌換券ニ國立銀行紙幣ヲ併セテ五千圓ニ滿チタルトキ又五千圓未滿ト雖金庫ニ於テ便宜ト認ムルトキハ其都度中央金庫へ回送セシムルコトヽシタルカ尋テ三十三年五月二十九日ニ至リ右回送手續ヲ廢止シ其旨各金庫ニ達セリ」

又明治三十一年十二月ヲ以テ既記明治三十年五月制定ノ銀行紙幣交換取扱順序ヲ廢シ翌三十二年一月以降ハ一般ノ紙幣交換ニ就テ規定セル紙幣交換取扱順序、支店出張所紙幣交換取扱順序、代理店紙幣交換取扱順序ニ據リ夫々處理スルコトヽセリ尤モ規定ノ內容ハ從前ト大差無ク唯勘定科目及帳簿ニ就キ少シク改正增削シタルモノアル等ニ過キス而カモ此科目及帳簿ノ改廢モ同順序改正ニ先タチ已ニ決定シタルモノニシテ更メテ同順序中ニ規定シタルニ止レリ（本節一般ノ部參照）

國立銀行紙幣ハ豫定ノ如ク明治三十二年十二月九日ヲ以テ通用ヲ廢止シ其翌日ヨリ起算シ滿五ケ年ヲ以テ交換期限トセラレタルカ所持人ノ便ヲ圖リ右交換期限中國庫ヘノ納金トシテ之ヲ金庫ニ差出シタルモノアルトキハ便宜受領シ直ニ日本銀行ニ就キ通貨ト交換シ以テ收入ノ手續ヲ爲シ差支無キヤヲ金庫出納役ヨリ大藏省ニ照會シタルニ同月二十五日ヲ以テ認可セラレタルニ依リ金庫出納役ハ同月二十七日ヲ以テ其旨各金庫ニ通達セリ尙ホ支金庫等ニ於テ收入セル國立銀行紙幣ノ交換ニ關スル特別ノ取扱方ニ就テハ三十三年七月三十一日ヲ以テ各支店出張所代理店ニ達シタルカ右ハ便宜本節第二目政府紙幣ノ部ニ揭ケタリ就テ觀ルヘシ

既ニシテ五箇年ノ交換期間ヲ經過シ本行ノ命セラレタル國立銀行紙幣交換事務ハ全ク終結ヲ告クルニ至レリ

營業滿期國立銀行紙幣交換高左ノ如シ

年次	交換高	
二十九年	九六四、六四一・〇〇	円
三十年	四、一四五、六六五・〇〇	
三十一年	二、七九九、二五四・〇〇	
三十二年	八七九、二二九・五〇	
三十三年	四九一、〇六六・〇〇	
三十四年	三四、六一三・〇〇	
三十五年	一七、七四四・〇〇	
三十六年	一一、九八六・〇〇	
三十七年	九、一七九・〇〇	
三十八年（追加三十七年分）	四、〇八九・〇〇	
計	九、三五七、四六七・〇〇	

第五目　鎖店銀行紙幣

明治十五年八月飯山第二十四國立銀行ノ大藏卿ヨリ鎖店ヲ命セラレタルヲ始メトシ大阪第百二十六國立銀行、須賀川第百八國立銀行相踵テ鎖店ヲ命セラレタルニ依リ是等國立銀行ノ發行紙幣ハ國立銀行條例第九十六條及第九十七條ニ據リ右紙幣發行ニ對スル抵當公債證書ヲ政府ニ於テ沒收賣却ノ上紙幣ヲ消却スル手續ナルヲ以テ右紙幣ノ交換ハ大藏省ニ於テ之ヲ擔當シ其取扱方ヲ各國立銀行及大藏省爲替方ニ命シ且夫々引換期限ヲ定メテ該紙幣所持人ハ右期限內ニ交換ヲ請求スヘク期限經過後ハ如何ナル事情アルモ一切其請求ニ應セサルコトヽセラレタリ然ルニ明治十六年七月一日以降本行ハ國庫金取扱ヲ命セラレ漸次各地ニ國庫金取扱所ヲ設置シ大藏省爲替方ハ國庫金取扱所ノ設置ト共ニ廢止セラルヽコトヽナリタルヲ以テ爾後國庫金取扱所ニ於テモ國立銀行及大藏省爲替方同樣鎖店銀行紙幣ノ交換ヲ取扱フコトヽナレリ尋テ大阪第二十六國立銀行亦鎖店ヲ命セラレ其發行ニ係ル紙幣ハ國立銀行、大藏省爲替方及國庫金取扱所ニ於テ引換フヘキ旨同年十二月二十八日太政官布達第二十四號ヲ以テ公布セラレタリ左レハ國庫金取扱所ノ中國立銀行ニ委託シアルモノニ在テハ大藏省ニ於テ國立銀行トシテ直接指揮セラルヽニ依リ本行トハ何等ノ關係ナキモ國立銀行ニ非サル國庫金取扱代理店ニ在テハ總テ本行ヲ介シテ指揮命令セ

ラレタリ

而シテ右國庫金取扱代理店ニ於テハ大藏省爲替方ヨリ引繼キタル取扱手續書ヲ本行ヨリ達シタルモノトシテ取扱フコトヽセリ即チ國立銀行鎖店ノ際時々大藏省ヨリ國立銀行並ニ爲替方ニ達セラレタルモノニ據レハ右鎖店銀行紙幣ヲ引換ノ爲メ持參シタル者アルトキハ直ニ其請求ニ應シ一ケ月毎ニ其交換高ヲ大藏省銀行局ニ報告シ且交換濟紙幣ニハ表裏ノ兩面ニ廢棄ノ印ヲ押捺シ大藏省出納局又ハ同局大阪出張所ニ現送シテ其代リ紙幣ヲ請求スルカ或ハ國稅金中ニ差加ヘ上納スルモ不苦又交換手數料ハ交換高千分ノ二ヲ支給セラルヽ筈ニシテ尙本行ヨリ代理店ニ達シタルモノニハ引換手數料並現送費請求ノ節ハ鎖店銀行一店毎ニ區別相立可申出旨ヲ付記シタリ其後明治十七年四月ヲ以テ交換濟紙幣ヲ出納局又ハ同局大阪出張所ヘ送付スルトキハ銀行別ニ紙幣種類、枚數、金額ノ明細表並ニ番記號帳ヲ添付スヘキ旨大藏省ヨリノ通牒ニ依リ各取扱所ニ通達シ又二十年三月ヲ以テ交換手數料並ニ遞送費ハ毎翌半年度內ニ其請求書ヲ提出スヘキ旨ヲ通達セリ其後二十年四月ヨリ國庫金取扱所ノ廢セラレ國庫金出納所ノ設置セラルヽニ及ヒ鎖店銀行紙幣交換事務モ引續キ同所ニ於テ取扱ヒタリ

以上記載セル如ク鎖店銀行紙幣交換ニ關スル直接ノ事務ハ各國立銀行並ニ國庫金出納所ニ於テ取扱ヒ而シテ大藏省金庫局ハ國立銀行及國庫金出納所ノ請求ニ對シテ交換シ來リシカ實際上不便尠カラサルヲ以テ明治二十二年十月二十四日ヲ以テ大藏省ノ取扱ヒ來レル交換事務ヲ同月以降本行ニ於テ取扱ヒ其取扱手續ハ銀行局ト協議スヘキ旨大藏大臣ヨリ達セラレ從來金庫局ニ保管セル鎖店銀行廢札引換基金殘額ハ悉皆本行ニ引繼カレタリ是ニ於テ直ニ銀行局ト協議シ其取扱手續ヲ左ノ通リ決定セリ

鎖店銀行廢札交換取扱手續

一　各國立銀行及國庫金出納所ヨリ鎖店銀行廢札ノ交換ヲ請求スレハ日本銀行ニ於テ廢札引換基金ヲ以テ直チニ之レヲ引換フヘシ而シテ其引換高ハ毎行ニ區別シ一ケ月分取纏メ之レニ其紙幣ノ種類員額等ヲ記載シタル明細書ヲ添ヘ翌月十日迄ニ大藏省ニ上納スヘシ

一　日本銀行ヨリ鎖店銀行廢札ヲ上納スレハ記錄局ニ於テ之レヲ受入ヘシ而シテ同局ハ右受入レノ上調査ヲ了レハ日本銀行ヘ領收證書ヲ交付シ尙ホ銀行局ヘ其紙幣種類枚數金額ヲ行別ニ記載シタル明細書ヲ添ヘ之レカ領收濟ノ趣ヲ通牒スルモノトス

一　日本銀行ニ於テ鎖店銀行廢札引換基金ニ不足ヲ生スルトキハ其金額ヲ大藏省ヘ請求スヘシ同省ハ其請求ニ依リ之レカ調査ヲナシ確實ト認ムルトキハ其金額ヲ下渡スヘシ又交換終期ニ至リ基金ニ殘餘アレハ悉皆之レヲ大藏省ヘ還納スルモノトス

右取扱手續第三項規定ノ如ク交換基金ハ大藏省ヨリ交付セラレタルカ之ヲ他ノ紙幣交換基金ト區別スル爲メ同年十二月特ニ勘定科目「國庫預金」ノ內譯科目タル「紙幣交換元金」中ニ更ニ「鎖店銀行紙幣交換元金」ノ小科目ヲ設ケ又該事務取扱ノ爲メ鎖店銀行紙幣交換帳、交換濟鎖店銀行紙幣有高帳ヲ設ケ其他ハ在來ノ帳簿ニ依リテ其計算ヲ明カニセリ

斯クテ明治二十三年四月二十六日ニ至リ大藏大臣ハ從來ノ命任書及諸達ヲ廢シ新ニ一般紙幣ノ交換ニ關スル事務ヲ一括命任セラレ同月一日以降該命任書ニ揭クル條項ヲ遵守シ取扱フヘキ旨ヲ達セラレタリ而シテ該命任書中ニ於テ鎖店銀行紙幣ハ本行本支店及各地代理店ニ於テ其交換ヲ取扱

ヒ之カ代リ金ハ通貨ヲ以テシ、交換濟紙幣ハ表裏兩面ニ廢棄ノ印ヲ押捺シ翌月十日限リ二十四年五月十八日以降期限ヲ廢セラレ二十七年一月以降再ヒ本文ノ期限トナレリ)其種類、金額、枚數ヲ區別シタル還納表ヲ添付シ之ヲ主務物品會計官吏ニ還納スヘキ旨ヲ規定セラレタリ依テ本行ニ於テモ右命任書ニ準シ同年五月九日ヲ以テ各種紙幣交換ノ取扱手續ヲ一括規定シタルカ是即チ紙幣交換取扱順序、支店紙幣交換取扱順序、代理店紙幣交換取扱順序ノ三種ニシテ大體前記命任書ヲ敷衍シタルモノナルニ依リ玆ニハ唯本行內部ニ於ケル取扱方ノミヲ抄出スヘシ

第一　本店取扱方

一　紙幣交換ハ紙幣交換元金(小科目鎖店銀行紙幣交換元金ノ三科目ヲ以テ計算スヘシ)、支店紙幣交換元金及代理店紙幣交換元金ヲ以テ受入レ、交換

一　交換元金ハ大藏省ニ請求シ紙幣交換元金小科目鎖店銀行紙幣交換元金)ヲ以テ拂渡スヘシ

ヲ請求スルモノアルトキハ其紙幣ヲ鑑定計査シ該元金小科目ヲ以テ拂出シ交換ノ報告ヲ得

一　支店及代理店ヘ元金ヲ回送スルトキハ支店又ハ代理店勘定ヲ以テ拂出シ交換ノ報告ヲ得テ決算スヘシ

一　支店及代理店ヨリ交換消印濟紙幣ヲ回送シタルトキハ金庫局ヘ回付シ次項ノ期限內ニ鑑定計査セシムヘシ

一　交換濟紙幣ハ翌月五日マテニ消印シ支店及代理店ヨリ回送ノ分ト合シ還納表ヲ添付シテ記錄局物品會計官吏ヘ還納シ還納表ヘ該官吏ノ證明ヲ受クヘシ

第二　支店代理店取扱方

一　交換元金ハ其金高ヲ見積リ本行本店ヘ請求シ交換ヲ請求スルモノアルトキハ其紙幣ヲ鑑定計査シ該元金ヲ以テ拂渡スヘシ但代理店ニ於テ交換ニ際シ元金不足スルトキハ便宜繰替交換ノ上之ヲ請求スヘシ

一　交換濟紙幣ハ本店ニ在テハ前月二十六日ヨリ其月二十五日マテ一ケ月分取纏メ其月末日マテニ消印シ送納書ヲ調製シ本店ニ之ヲ回送スヘク又代理店ニ在テハ前月二十一日ヨリ其月二十五日限リ送納書ヲ調製シ本行ニ之ヲ回送スヘシ

尙當時委託シタル代理店ハ同年四月一日以降公債其他ノ事務ヲ委託シタル各銀行ト同一ニシテ鎖店銀行紙幣交換事務ハ其際ノ委託契約書第一條ニ列記セル取扱事務種類中臨時取扱ノ事務(但シ取扱フヘキ事件ハ臨時ニ該當セリ而シテ右約條書全文、委託銀行名等ハ其後ノ改正變更期限ノ延長等ト共ニ示達スヘシ)ニ擧ケテ國債編、取扱店ノ部ニ之ヲ記載セリ

代理店ニ於ケル紙幣交換元金ハ代理店紙幣交換取扱順序第二條ニ據リ豫メ本行ヨリ送付シ置クヲ原則トシ但書ヲ以テ若シ元金不足スルトキハ便宜繰替支拂ヒ置キ郵便又ハ電信ヲ以テ請求スヘキコトヽナリ居レルモ明治二十三年五月二十一日ヲ以テセサルニ依リ該紙幣ノ交換請求アリタルトキハ右順序第二條但書ニ據リ交換取計ヒノ上直ニ其金額ヲ請求スヘキ旨銀券局長ヨリ各代理店ヘ通牒セリ

又當時本行ニ於テハ鎖店銀行紙幣交換元金ハ各銀行毎ニ區別スルコトナク合同シテ計算ヲ爲シタルモ大藏省ヨリノ照會ニ依リ同年七月四日取扱順序ヲ改正シテ各銀行別ニ分割計算スルコトニ改

メタリ（本節一般ノ部參照）

尋テ明治二十四年十二月八日大藏大臣ハ各國立銀行ニ對シ鎖店銀行紙幣ヲ交換シタルトキハ該紙幣ヘ廢棄印又ハ消印ヲ押捺スルノ外更ニ交換取扱ヲナシタル銀行名ノ印章ヲ押捺ノ上本行ヘ送致スヘキ旨ヲ達セラレ尚翌九日大藏省監査局長ヨリ本行代理店ニシテ國立銀行本支店ニ非ル者ハハ本行ヨリ右ノ趣通達アリタキ旨照會アリシニ依リ同月十一日ヲ以テ支店出張所及指定ノ代理店ヘ其旨通達セリ

又大藏大臣ノ命ニ依リ明治二十七年一月以降交換濟紙幣ハ其種類ヲ區分シタル員額ヲ每月一回大藏省官房第三課ニ報告スルコトヽナレリ

越エテ明治三十二年一月以降紙幣交換取扱順序、支店出張所紙幣交換取扱順序ヲ改正實施シタルモ鎖店銀行紙幣ニ付テハ左シテ改正シタル條規ナク唯支店出張所代理店ニハ之カ交換基金ヲ前渡シ置カサルニ依リ便宜繰替交換ノ上其代リ金ヲ本店ニ請求受領スヘキ旨ヲ明定シタルト代理店ニテ交換シタル紙幣ノ發送月日ヲ每月末日トシタルコトノ二點ニ止マレリ尚ホ勘定科目帳簿等ハ多少改正シタル所アルモ今一々之ヲ述ヘス須ラク取扱順序ニ就テ其詳ヲ知ルヘシ（本節一般ノ部參照）

鎖店銀行紙幣ノ引換期限ハ當初極メテ短期ニ定メ飯山第二十四國立銀行紙幣ハ明治十六年十二月三十一日限リ、大阪第百二十六國立銀行紙幣ハ明治十七年六月三十日限リ須賀川第百八國立銀行紙幣ハ同年十一月三十日限リトセラレシカ實際紙幣受授ニ際シ其發行銀行名、役員姓名等ヲ查閱スル者殆ト之レナキヲ以テ遽カニ是等銀行紙幣ノ引換ヲ禁止スルニ於テハ爲メニ當時流通セル一般國立銀行紙幣ノ信用ニ關スルモノアルヘキ虞アルニ依リ明治十六年十二月二十八日ヲ以テ上記三銀行紙幣ノ引換期限ヲ何レモ十八年十二月三十一日迄延期セラレタリ又大阪第二十六國立銀行紙幣モ同日ヲ以テ其引換期限ヲ十八年十二月三十一日ト定メラレシカ其後右四銀行紙幣共二十三年十二月三十一日迄延長セラレ尚ホ大藏大臣ハ同月二十四日ヲ以テ二十三年度以降交換未濟ニ係ルモノハ二十二年法律第四號會計法第十八條（政府ノ負債ニシテ其ノ仕拂フヘキ年度經過後滿五箇年內ニ債主ヨリ支出ノ請求若クハ仕拂ノ請求ヲ爲サヽルモノハ期滿免除トシテ政府ハ其ノ義務ヲ免ルヽモノトス但シ特別ノ法律ヲ以テ期滿免除ノ期限ヲ定メタルモノハ各々其ノ定ムル所ニ依ル）ニ依リ處分スヘキ旨ヲ達セラレタルニ依リ本行ハ各地代理店ニ對シ直ニ其旨ヲ通達セリ然ルニ國立銀行條例第九十七條ノ公告ハ鎖店銀行紙幣ノ引換期限ヲ規定シタル迄ニシテ其期限ハ一定ノ法式ヲ以テ公告スルコトヲ命セサレハ大藏大臣ハ公示、默示ノ何レヲ採ルモ法律上敢テ不都合無シトシ明治二十四年以降ノ引換ハ別ニ公示セスシテ依然引換ヲナシ來リシカ明治二十四年八月十三日大藏省令第二十二號ヲ以テ飯山第二十四國立銀行紙幣ハ二十七年三月三十一日迄、大阪第百二十六國立銀行紙幣ハ同年六月三十日迄、須賀川第百八國立銀行紙幣ハ二十八年六月三十日迄各其期限ヲ延長スル旨再ヒ公示セラレ從テ去ル明治二十四年十二月二十四日ヲ以テ達セラレタル引換期限ノ件ハ取消ス旨ヲ更メテ通達セラレタリ依テ本行ニ於テハ各店ヘ向ケ其旨ヲ通達セリ

尋テ明治二十五年七月二十日ニ至リ大藏大臣ハ鎖店ヲ命シタル東京第三十三國立銀行發行紙幣ノ通用ヲ禁止シ本行ニ其引換方ヲ命セラレ其引換期限ヲ明治二十八年七月十九日トスル旨ヲ告示セ

ラレタリ

斯クテ飯山第二十四國立銀行紙幣ハ明治二十七年三月三十一日ヲ以テ引換期限到來シ其他ノ各鎖店銀行紙幣ハ更ニ三十二年十二月三十一日迄引換期間ヲ延長セラレ其期間ノ滿了ト共ニ一般鎖店銀行紙幣引換事務ハ全ク終了ヲ告ケタリ尚ホ此外京都第百十一國立銀行ハ三十一年三月二十九日ヲ以テ鎖店ヲ命セラレシカ紙幣合同消却方法ニ依リ其發行ニ係ル紙幣ハ悉皆消却シタルニ付同年四月三十日大藏省告示第三十五號ヲ以テ同行紙幣ハ一般銀行紙幣ト同樣明治二十九年三月法律第八號第一條及第二條ノ規定ニ準シ其通用期限ヲ三十二年十二月九日トシ引換期限ハ通用期限ノ翌日ヨリ起算シ滿五ケ年ト定メラレタリ

以上記載セル鎖店銀行紙幣交換ニ付テハ本行ハ取扱手數料トシテ一ケ年金十五圓宛ヲ大藏大臣ヨリ下付セラルヘキ旨年々令達アリタルカ本行ヨリ各代理店ニ交付シタルモノハ明治二十三年五月十二日通達代理店紙幣交換取扱順序第十一條ニ於テ明示スルカ如ク交換金高ノ千分ノ一ヲ手數料トシ尚此外ニ消印料トシテ紙幣千枚ニ付金三錢六厘ヲ、運搬費ハ實費ヲ拂渡シ其後明治三十二年一月一日以降ハ改正取扱順序第十六條ニ據リ手數料ハ交換金高ノ一萬分ノ五、押印料ハ紙幣千枚ニ付金五錢五厘トシ、運搬費ハ從前ノ通リ實費ヲ以テ支拂フコトヽセリ

又鎖店銀行紙幣交換基金ニ就テハ明治二十三年三月法律第二十五號ヲ以テ鎖店銀行紙幣交換基金特別會計法ヲ公布セラレ其詳細ニ關シテハ同年四月勅令第六十八號ヲ以テ規定セラルヽ所アリシカ本行ハ既記ノ如ク右勅令第六十八號第三項ニ據リ大藏省ヨリ隨時右基金ノ前渡ヲ受ケ其仕拂ニ關シテハ會計檢査院ノ證明ヲ受クルコトヽセリ

今本行カ取扱ヒタル鎖店銀行紙幣ノ交換高ヲ掲クレハ左ノ如シ

年次	交換高
二十二年十二月	五二六・〇〇〇 円
二十三年	二、八〇七・〇〇〇
二十四年	三、〇九九・〇〇〇
二十五年	四、〇六八・〇〇〇
二十六年	二三、四五三・〇〇〇
二十七年	三〇、三五八・〇〇〇
二十八年	一二、八一八・五〇〇
二十九年	九、〇六七・〇〇〇
三十年	三四、一七〇・〇〇〇
三十一年	一二、五一八・五〇〇
三十二年（三十二年分追加）	五、七一三・〇〇〇
計	一七七、〇九九・〇〇〇

第二節　國立銀行紙幣消却

國立銀行紙幣ハ明治五年十一月公布ノ國立銀行條例ニ於テ國立銀行ハ資本金十分ノ六ニ相當スル公債證書ヲ抵當トシテ大藏省ニ預納シ紙幣寮ヨリ通用紙幣ヲ受取リ資本金十分ノ四ニ當タル引換準備金ヲ置キテ之ヲ發行スルノ規定ニ始マリシカ明治七年ニ至リ曩ニ政府ノ濫發シタル不換紙幣

ノ害漸ク現ハレ貨物ノ輸入頗ル多ク正貨ノ流出亦從テ多ク爲メニ紙幣ノ價格漸ク低落シ本位金貨トノ間ニ差異ヲ生スルニ至レリ左レハ前記條例ノ下ニ發行シタル銀行紙幣ハ直ニ正貨兌換ヲ請求セラレ殆ト世上ニ流通スルモノナキノミナラス國立銀行ハ兌換ノ都度却テ損失ヲ蒙リ發行スヘキ紙幣ハ空シク庫中ニ保藏セサルヘカラサルノ狀態ニ陷リシカハ當時設立セラレタルモノ僅ニ四行ニ過キサリキ依テ政府ハ明治九年八月ニ至リ國立銀行條例ヲ改正シ資本金十分ノ八ニ相當スル公債證書ヲ出納寮ニ預納シ之ト同額ノ紙幣ヲ發行シ資本金十分ノ二即チ紙幣發行高ノ四分ノ一ニ相當スル通貨ヲ引換準備ニ充ツルコトヽナリ國立銀行ハ一方ニ於テハ紙幣發行ノ制限ヲ擴張セラレ他方ニ於テハ正貨兌換ノ制ヲ廢セラレ其受クル特典遽カニ增加シテ從前ノ比ニアラサルニ依リ爾後陸續相踵テ各地ニ國立銀行ノ設立ヲ見ルニ至リ忽チニシテ其數百五十三ノ多キニ及ヒ之カ紙幣發行高ハ一時三千四百四十餘萬圓ノ巨額ニ上レリ而シテ前述ノ如ク條例ノ改正ニ依リ國立銀行紙幣ハ正貨兌換ヲ變シテ通貨兌換トナリシカ當時ニ於ケル主タル通貨ハ實ニ政府發行ノ不換紙幣ナリシヲ以テ右不換紙幣ト引換ヲ爲ス國立銀行紙幣モ亦事實上ノ不換紙幣タルヲ免レサルニ至レリ而シテ政府ハ明治十年ノ西南事變ニ際シ多額ノ不換紙幣ヲ發行シタルノミナラス右改正條例ニ依リ發行シタル國立銀行紙幣亦頗ル巨額ニ達シタリシカハ紙幣ノ價格ハ著シク下落シ其結果物價及金利ハ騰貴シ公債證書價格ハ低落シ外國貿易ハ巨額ノ輸入超過ヲ見ル等上下交々其弊ニ苦シミタリキ依テ政府ハ幣制ノ根本的改革ヲ行ハンコトヲ期シ先ツ中央銀行ヲ設立シテ之ニ兌換券發行ノ權ヲ與ヘ從來政府又ハ國立銀行ヨリ發行シタル諸種ノ紙幣ヲ悉皆消却シテ之ニ代フルニ中央銀行兌換券ヲ以テスルノ計畫ヲ立テ玆ニ明治十五年十月ヲ以テ本行ノ創立ヲ見ルニ至レリ尋テ明治十六年五月更ニ國立銀行條例ヲ改正セラレ爾後國立銀行ハ鎖店其他ノ事故アルニ非レハ開業免狀ヲ受ケシ日ヨリ二十箇年ノ間其營業ヲ繼續シ得ヘクノ許可ヲ受ケ其營業ヲ繼續スルヲ得ヘキコトヽナレリ而シテ右改正條例第百十二條ニ於テ紙幣消却ノ方法ヲ明カニシ國立銀行紙幣ハ左ニ揭クル方法ヲ以テ發行銀行營業年限內ニ悉皆消却シ其取扱手續ハ大藏卿之ヲ定メ本行ヲシテ之ニ從事セシムヘク又第四十九條ニ於テ爾後該紙幣ヲ通貨トシテ引換ヘンコトヲ請求スル者アルトキハ本行ニ於テ之ヲ引換フヘキ旨ヲ規定セラレタリ

一　各國立銀行ノ紙幣引換準備金ハ大藏卿ノ指定スル期限迄ニ日本銀行ニ納付シ營業年限內之ヲ定期預ケトナシ以テ紙幣消却ノ元資ニ充ツヘシ

一　各國立銀行ハ每半季利益金ノ多少ニ拘ラス其銀行紙幣下付高ニ對シ年二分五厘即チ半季一分二厘五毛)ニ當ル金額ヲ引去リ之ヲ日本銀行ニ預ケテ紙幣消却ノ元資ニ充ツヘシ

一　日本銀行ハ前二項ニ揭クル金額ヲ預リ各國立國立銀行ト別段ノ約定ヲ結ヒ之カ發行紙幣ヲ消却シテ大藏省ニ上納スルモノトス但其約定書ハ大藏卿ニ呈シテ之カ奥書證印ヲ受クヘシ

一　日本銀行ヨリ右消却紙幣ヲ上納シタルトキハ大藏省ニ於テ此條例第五十一條ノ手續ニ從ヒ之ヲ燒捨テ其都度之ヲ公告スヘシ

一　日本銀行ヨリ右消却紙幣ヲ大藏省ニ上納シタルトキハ豫テ出納局ニ差出シ置キタル紙幣抵當公債證書ノ內右消却高ニ相當スル員額ヲ大藏省ヨリ直チニ其銀行ニ還付スヘシ

是ニ於テ大藏卿ハ明治十六年五月十日ヲ以テ各國立銀行ニ對シ紙幣消却方法ヲ命令スルト共ニ本行ニ對シテハ翌十一日其命令書寫(略之)ヲ添ヘ各銀行ト協議ヲ遂ケ約定ヲ結ヒ左ノ命令書ニヨリ不

都合ナキ様取計フヘキ旨ヲ達セラレタリ

命令書

第一條　其銀行ハ國立銀行條例追加第百十二條ニ依リ各國立銀行ノ發行紙幣消却方ヲ引受ケ各々其營業年限內ニ悉皆之ヲ處分スルノ義務ヲ負フモノトス

第二條　其銀行ハ前第一條ニ記載スル紙幣消却ノ爲メ各國立銀行ヨリ納付スル所ノ發行紙幣引換準備金ヲ定期預リトナシ之ヲ以テ利付公債證書ヲ買入レ之ヲ其銀行ニ保管シ置キ年々其利子ヲ以テ各國立銀行ヨリ發行シタル紙幣ヲ遞減消却スヘシ

第三條　其銀行ハ前第一條ニ記載スル紙幣消却ノ爲メ前第二條準備金ノ外各國立銀行ヨリ毎半季二月一日八月一日迄ニ其紙幣下付高ニ對シ年二分五厘(半季壹分貳厘五毛)ニ當ル金額ヲ其銀行ニ納付シタルトキハ之ヲ以テ利付公債證書ヲ買入レ各々其營業年限內之ヲ其銀行ニ保管シ置キ年々其利子ヲ以テ各國立銀行ヨリ發行シタル紙幣ヲ遞減消却スヘシ

第四條　其銀行ハ前第二條第三條ニ揭クル公債利子ヲ以テ各國立銀行ノ發行紙幣ヲ消却シ其營業年限ニ至リ尙殘存スルモノハ第三條ニ揭クル公債證書ヲ賣却シ其代金ヲ以テ悉皆之ヲ消却シ若シ過剩ヲ生スルトキハ之ヲ各國立銀行ニ還付スヘシ

第五條　前第二條ニ據リ各國立銀行ヨリ其銀行ニ納付スル所ノ準備金ハ各國立銀行ノ發行紙幣ノ消却ヲ完了シタル上其銀行ヨリ之ヲ各國立銀行ニ還付スルモノトス但シ其營業年限內ニ於テ公債證書價格ノ騰貴ニヨリ前第三條ニ記載スル公債證書(即チ發行紙幣ニ對スル二分五厘ノ金額ヲ以テ買入レタル分)及ヒ其利子減少ヲ生シ之カ爲メ紙幣消却ノ元資ニ不足ヲ來スコトアルトキハ最初準備金ヲ以テ買入レタル公債證書ヲ賣拂ヒ其代金ノ內ヨリ之ヲ補充スヘシ

第六條　其銀行ハ各國立銀行ヨリ紙幣引換準備金ノ預托ヲ受クルニ付キ該紙幣引換ノ義ハ國立銀行條例改正第四十九條ニ據リ其銀行ニ於テ之ヲ負擔シ若シ通貨ト交換ヲ請求スルモノアルトキハ其銀行本店ニ於テ之ヲ引換フヘシ但シ大藏卿ニ於テ要用ナリト思考スルトキハ其銀行ニ命シテ其銀行支店又ハ「コルレスポンデンス」店ニ於テ之カ引換ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第七條　第二條第三條ニ記載スル公債證書ノ內若シ公債支消ノ抽籤ニ當ルモノアルトキハ其銀行ニ於テ其當籤金額ヲ受取リ之ヲ以テ右當籤ノ公債額面ニ相當スル他ノ公債證書ヲ買入レ以テ其當籤ノ員額ヲ補充スヘシ而シテ尙ホ餘剩アルトキハ更ニ之ヲ以テ公債證書ヲ買入レ亦以テ紙幣消却ノ元資ニ加フヘシ

第八條　前第七條ノ當籤金額ヲ以テ公債證書ヲ買入レ尙ホ端數ヲ生シ公債證書ヲ買入ルヘキ員額ニ充タサル者アルトキハ之ヲ次季ニ繰越シ其第二條ノ公債證書ニ係ルモノハ第二條ノ公債證書次回ノ當籤金額ニ併セ第三條ノ公債證書ニ係ルモノハ第三條ノ公債證書次回ノ當籤金額ニ併セ之ヲ以テ更ニ紙幣消却ノ元資トシテ公債證書買入レニ充ルモノトス

第九條　各國立銀行ノ發行紙幣ハ第二條第三條ノ消却法ニ依リ逐年其流通高ヲ減少スヘシト雖モ第三條ニ從ヒ各國立銀行ヨリ其紙幣下付高ニ對シ其銀行ニ預ケ入ルヘキ金額(紙幣下付高ニ對スル年二分五厘)ハ其營業年限內紙幣流通高ノ減少ニ拘ラス年々同額ヲ以テ納付シ更ニ增減ナキモノトス

第十條　國立銀行ノ內若シ第三條ニ記載スル期限內ニ預ケ金ノ納付ヲ怠リタル者アルトキハ其銀行ハ其趣ヲ大藏卿ニ稟申スヘシ大藏卿ハ此稟申ニ依リ右預ケ金ヲ怠リタル銀行ヲ督促シ尙ホ

之カ納付ヲ爲ササルトキハ大藏省ニ於テ右銀行（預ケ金ヲ怠リタル銀行）ノ紙幣抵當公債證書ノ利子ノ内ヨリ當季納付高ニ相當スル金額及ヒ當季買入ルヘキ公債證書ノ利子一季分ニ相當スル金額ヲ引去リ大藏省ヨリ直チニ之ヲ其銀行ニ下付シ其當季納付高ニ相當スル金額ハ右銀行ノ紙幣消却ノ爲メ公債證書ヲ買入レシメ當季買入ルヘキ公債證書ノ利子一季分ニ相當スル金額ハ直チニ之ヲ以テ其季ノ消却元資ニ充ルモノトス

第十一條　第二條第三條及ヒ第七條ニ記載スル公債證書ノ利子ハ毎季日本銀行ニ於テ直チニ東京府廳ヨリ受取リ之ヲ以テ各國立銀行ノ發行紙幣ヲ引換ヘ之ニ消印ヲ爲シ而シテ毎月五日マテニ前月分ノ消却高ヲ取纒メ之ニ其紙幣ノ種類。記號。番號。員額等ヲ記載シタル明細表ヲ添付シテ之ヲ大藏省ニ上納シ且ツ此ノ明細表ノ寫ヲ以テ右期限迄ニ各國立銀行ニ通知スヘシ而シテ各國立銀行ニ於テ此通知ヲ受ケタルトキハ直チニ之ヲ大藏卿ニ屆出テシムルモノトス

第十二條　此命令書ニ據リ其銀行ニ於テ各國立銀行ヨリ受領スル所ノ金額ハ全ク各國立銀行ノ發行紙幣ヲ消却スルノ元資ニシテ其營業年限内ニ於テ不時鎖店ノ場合ヲ除クノ外何等ノ事情アルモ之ヲ引出ス可カラサルハ勿論其銀行ニ於テモ亦誠實ニ之ヲ保管シ決シテ之ヲ融通運轉スルヲ得サルモノトス

第十三條　此命令書ニ據リ其銀行ニ於テ各國立銀行ヨリ受預スル所ノ金額ハ公債證書ト爲シ其利子ヲ以テ各國立銀行ノ紙幣消却ノ元資ニ當ツルモノナルカ故ニ其銀行ハ別段之ニ利子ヲ付セサルモノトス

第十四條　其銀行ニ於テ各國立銀行ノ爲メ此命令書ニ據リ預リ金取扱幷ニ發行紙幣ノ消却方ヲ

負擔スルハ其銀行ヨリ各國立銀行ニ對スル義務ニシテ別段之カ手數料ヲ收メサルモノトス

第十五條　其銀行ハ此命令書ニ記載スル預金取扱幷ニ紙幣消却事務ノ爲其銀行内特ニ一部ヲ設ケテ之ヲ處辨セシムヘシ

第十六條　其銀行ニ於テ各國立銀行ノ發行紙幣消却ノ事務ヲ處辨スルニ就テハ各自ニ其勘定ヲ異ニシ敢テ混淆ス可カラサルハ勿論ナリト雖モ第二條第三條及ヒ第七條ニ據リ公債證書ヲ買入レ又ハ其抽籤賣拂等ニ於テハ各國立銀行トモ合同シテ之ヲ取扱ヒ別段之カ區別ヲ立テサルモノトス

第十七條　其銀行ハ各國立銀行ノ發行紙幣消却ニ關スル事務ノ顚末及ヒ其ノ計算等ヲ報告スル爲メ一銀行毎トニ半季報告表ヲ作リ上半季ノ分ハ八月十五日迄下半季ノ分ハ二月十五日迄ニ之ヲ大藏卿ニ差出シ其寫ヲ以テ各々其國立銀行ニ送付スヘシ

第十八條　國立銀行ノ内若シ其銀行ニ就テ同銀行ノ發行紙幣消却ニ關スル帳簿書類ヲ査閲センコヲ大藏卿ニ稟請スル者アリテ大藏卿之ヲ許可スルニ於テハ直チニ其銀行ニ命シテ特ニ右稟請セシ銀行ノ勘定ニ關スル部分ニ限リ之カ査閲ヲ受ケシムルモノトス

第十九條　其銀行ハ各國立銀行ノ發行紙幣消却ノ事務ヲ負擔スルニ付此命令書ノ旨趣ニ基キ各國立銀行ト特別ノ約定ヲ結ヒ其取扱手續ヲ定ムヘシ但シ此約定書ハ本書二通及ヒ副書壹通（大藏省ニ留置ク分）ヲ製シ大藏卿ニ呈シテ之カ奥書證印ヲ受ケタル上其本書一通ハ國立銀行ニ留置キ一通ハ其銀行ニ留置クモノトス

第二十條　前第十九條ニ記載スル約定書中此命令書ノ旨趣ニ牴觸セサル箇條ニシテ其細目ニ渉

ルモノハ其銀行ト國立銀行トノ協議ヲ以テ適宜規定スルヲ得ヘシト雖モ其都度之ヲ大藏卿ニ稟申シテ許可ヲ受クヘキモノトス

第二十一條　大藏卿ニ於テ必要ナリト思考スルトキハ何時ニテモ此命令書ノ箇條ヲ改正又ハ增削スルコヲ得

然ルニ毎季合同ノ元資ヨリ得ル利金ヲ以テ銀行毎ニ區別シ其銀行記名ノ紙幣ヲ對合消却スルニ於テハ全國ニ流通セル紙幣ノ纏束ヲ要シ其手數尠少ナラサルノミナラス時々交換遞送ヲ要スルカ爲メ費用增加シ且勘定整理ノ期遷延シ取扱上甚タ不便ノモノアルヲ以テ本行ニ於テハ右紙幣ノ消却ヲ元資公債證書ノ處分ニ準據シ合同シテ處分スルヲ可ナリト思惟セル際恰モ多數ノ國立銀行亦本行ト其意見ヲ同ウシ右ニ更正稟議方ヲ本行ニ依賴アリタルヲ以テ明治十六年五月二十一日本行ハ右各銀行ヨリ提出セル合同消却處分見込書ヲ添付シテ命令書ノ改正幷ニ合同消却方法ノ令達方ヲ大藏卿ニ稟申シタルニ同月三十日ヲ以テ本行並ニ各國立銀行ニ對シ本行ニ於テ各國立銀行紙幣ヲ消却スルニ付テハ左ノ通合同消却方ヲ定メタルヲ以テ右ニ準據シ不都合ナキ樣處分スヘキ旨ヲ達セラレタリ右銀行紙幣合同消却方法全文左ノ如シ

銀行紙幣合同消却方法

第一條　日本銀行ニ於テ各國立銀行ノ紙幣ヲ消却スルハ毎季紙幣消却元資金ヨリ生スル利子ノ金額ヲ準據トシ總體ノ發行高ヲ合同シテ便宜之レヲ消却處分スルモノトス故ニ其年ノ都合ニヨリテハ一銀行ノ計算ニ於テ或ハ紙幣發行高ト其實際ノ消却高トニ過不足ヲ生スル事アルヘシト雖モ終期ニ至リテ悉皆其消却ヲ完了スヘキモノトス

第二條　日本銀行ハ毎季紙幣消却元資金ノ利子ヲ管轄廳ヨリ受取ルトキハ其金額ヲ各銀行紙幣發行高ニ對比シテ一行毎ニ其季ノ消却割付高ヲ算定シ其一覽表ヲ製シテ六月十五日迄ニ之レヲ大藏省ニ上呈シ各國立銀行ヘハ右期限迄ニ其計算書ヲ發付シテ當季ニ消却スヘキ銀行紙幣ノ割付高ヲ通知スヘシ

第三條　日本銀行ハ前第二條ニ揭クル利子金ヲ以テ消却シタル(各銀行紙幣ノ合高ヲ取纏メ其發行店毎ニ之レヲ區別シ其種類員額及記號番號ノ內譯書ヲ添ヘテ之レヲ大藏省ヘ納付シ大藏省ヨリ請取證書ヲ領收スヘシ

第四條　右ノ受取證書ヲ領受セハ日本銀行ハ各銀行紙幣消却證書(各行ノ紙幣實際ノ消却多寡ニ拘ハラス第二條ノ割付高ニ從フヘシ及實際消却シタル紙幣ノ種類員額記號番號ノ內譯書ヲ各國立銀行ヘ送付スヘシ

第五條　各國立銀行ハ右ノ消却證書ヲ得タルトキハ紙幣消却ノ旨ヲ大藏省ヘ屆出テ紙幣下付高ノ內ヨリ該金額ヲ控除シ元高消除ノ書面ヲ作リ之ヲ日本銀行ヘ送達スヘシ

第六條　各國立銀行ヨリ紙幣消却ノ旨ヲ大藏省ヘ屆出タルトキハ大藏省ハ各銀行紙幣實際消却高ノ多寡ニ拘ハラス第二條ノ割付消却高ニ從ヒ紙幣抵當公債證書ヲ直チニ各國立銀行ニ下付スルモノトス

第七條　各國立銀行中營業滿期ニ至リ發行紙幣尙殘存スルモノハ日本銀行ニ於テ命令書第三條ニ揭クル公債證書ヲ賣拂ヒ其代金ヲ以テ之レヲ消却シ尙殘額アレハ命令書第二條ニ揭クル公債證書ヲ賣拂ヒ其代金ヲ日本銀行ニ預リ置キ以テ右殘存紙幣消却ノ資ニ充ツルモノトス

第八條　各國立銀行中紙幣消却未タ完了セサル場合ニ於テ鎖店スルモノアルキハ日本銀行ハ其銀行ヨリ預リタル紙幣消却元資ヲ還付シ而シテ其銀行ニ係ル實際消却高ト割付消却高トヲ比較シ割付消却高ノ方多額ナルキハ大藏省ニ於テ割付消却高ノ殘額ヲ引換消却シ實際消却高トノトス若又之ニ反シ實際消却高ノ方多額ナルキハ大藏省ニ於テ實際消却高ノ殘額ヲ引換消却シ實際消却高ト割付消却高トノ差額ハ紙幣抵當公債證書ヲ賣却シ其代金ヲ日本銀行ヘ下付シ他ノ消却元資ニ充タシムヘシ

以上記載セル如ク紙幣引換準備金ヲ以テ若クハ各國立銀行ヨリ納付スル毎半季紙幣發行高ニ對スル年二分五厘ニ相當スル金額ヲ以テ本行ニ於テ利付公債證書ヲ購入シ其利子ヲ以テ消却ニ充ツルカ如キ又合同消却方法ニ據リ毎季紙幣消却元資金ヨリ生スル利子ヲ準據トシ總體ノ發行高ヲ合同シテ便宜之ヲ消却處分スル方法ノ如キ孰レモ紙幣消却ヲ容易ナラシメタルモノト謂フヘク且右合同消却方法ニ依レハ各銀行ノ計算ニ於テ一時表面ノ紙幣發行高ト其實際消却高トノ間ニ過不足ヲ生スルコトアルモ終期ニ至リテハ悉皆其消却ヲ完了シ得ルモノナルヲ以テ亦至便ノ方法タルヲ失ハスト謂フヘシ

然レトモ右銀行紙幣消却方法立案ノ基礎タル豫算ヲ知悉スルニ非レハ未タ其計畫ヲ詳カニスルヲ得サルノ憾アルヲ以テ條例改正ト同時ニ當局者ノ發表ニ係ル國立銀行紙幣消却方案ヲ左ニ掲クヘシ

國立銀行紙幣消却方案

一　各國立銀行ノ創立多クハ明治十一、十二年ノ交ニ在ルヲ以テ其營業年限ヲ概スレハ明治十六年ヨリ向十五年間ニ在ルモノ最モ多シトス因テ其發行紙幣ヲ消却スルニハ總テ當十六年度ヨリ逐年支消シテ明治三十年ニ至リ悉皆之ヲ消了スルモノトス

一　第十五國立銀行ハ特別ノ制アリテ自餘ノ國立銀行ト同例ニ算定スル能ハスト雖モ今此計算ニ於テハ當十六年度内政府ヨリ返付高ノ内ヲ以テ更ニ貳百四拾萬圓ノ準備金ヲ增シテ參百五拾六萬五千貳百貳拾圓即チ制限ノ準備額ニ充シタルモノト假定セリ因テ各銀行ノ總額ニ於テ準備金ハ貳百四拾萬圓ヲ減シタルモノト見ルヘシ

一　右銀行紙幣ヲ消却スルニ之カ償却元資ト爲スヘキモノ分ツテ二種トス第一各國立銀行ニ於テ現ニ貯在スル所ノ紙幣引換準備金第二各銀行毎半季利益金ノ多少ニ拘ラス其紙幣下付高ニ對シ年二分五厘(半季一分二厘五毛)ニ當ル金額ヲ以テ特ニ紙幣消却ノ準備ニ充ツルモノ是ナリ今其消却手續及ヒ其結果ヲ左ニ概擧セン

第一種

此第一種ノ消却元資ハ即チ各國立銀行ニ現ニ貯在スル所ノ紙幣引換準備金ニシテ其總額ハ七百九拾五萬參千貳百貳拾圓ナリ偖テ國立銀行條例改正ノ上ハ直チニ各國立銀行ヨリ此準備金ヲ以テ日本銀行ニ預托セシメ日本銀行ハ之ヲ以テ公債證書(例ヘハ朱利付七)ヲ買入ルヘシ今實價八拾圓ノ相場ヲ以テ之ヲ計算スレハ其券面九百九拾四萬千五百貳拾五圓ニ登ル而シテ此公債證書ハ各銀行營業年限ニ至ルマテ總テ日本銀行ニ保管セシメ右證書ヨリ年々生スル所ノ利子六拾九萬五千九百〇六圓七拾五錢ヲ以テ各銀行ノ紙幣發行高ニ割合ヒ日本銀行ニ於テ漸次之ヲ交

換消却スルモノトスヘシ依テ十五箇年ノ後ニ至リテハ此公債利子ヲ以テ銀行紙幣ヲ消却スヘキ總額ハ壹千〇四拾參萬八千六百〇壹圓貳拾五錢ニ上ル

第二種

此第二種ノ消却元資ハ即チ各銀行ニテ毎半季其紙幣下付高ニ對シ年二分五厘(半季一分二厘五毛)ニ當ル金額ヲ以テ特ニ紙幣消却ノ準備ニ充ツルモノニシテ今各銀行ノ紙幣總額參千百八拾壹萬貳千八百八拾圓ニ對シ年々積立ツヘキ所ノ金額ハ七拾九萬五千參百貳拾貳圓ニ登ルヘシ偖テ此金額ヲ各國立銀行ヨリ日本銀行ニ預ケシメ日本銀行ニ於テ之ヲ以テ公債證書(例ヘハ朱利付七分)ヲ購求スルモノトスレハ(實價八拾圓ト計算ス)其券面九拾九萬四千百五拾貳圓五拾錢ヲ得ヘシ而シテ此公債證書ハ第一種ニ揭クル公債證書ト均シク各銀行ノ營業年限ニ至ルマテ日本銀行ニ保管セシメ右證書ヨリ年々生スル所ノ利子六萬九千五百九拾圓六拾七錢五厘ヲ以テ紙幣消却ノ元資ニ當ツヘシ斯ノ如ク年々二分五厘ノ預ケ込ヲ以テ公債證書トナシ隨テ其利子ヲ以テ紙幣消却ニ供用スルモノトシ逐年ニ之ヲ累算スレハ十五箇年ノ後ニ至リテハ公債證書券面ニ於テ壹千四百九拾壹萬貳千貳百八拾七圓五拾錢ヲ得ヘシ而シテ其利子ヲ以テ消却スル所ノ銀行紙幣ハ八百參拾五萬八百八拾壹圓ニ登ルナリ

以上二種ノ消却元資ヲ合計スレハ十五箇年間ニシテ千八百七拾八萬九千四百八拾貳圓貳拾五錢ヲ消却スルヲ得ヘシ因テ之ヲ現銀行紙幣發行總額參千百八拾壹萬貳千八百八拾圓ヨリ差引ケハ尚ホ其殘額千參百〇貳萬參千參百九拾七圓七拾五錢ヲ餘セリ是ニ於テ前第二種ニ揭クル所ノ公債證書券面壹千四百九拾壹萬貳千貳百八拾七圓五拾錢(即チ年二分五厘ノ預ケ金ヲ以テ十五箇年間累年ニ買入レタルモノ)ヲ賣却スレハ其實價壹千百九拾貳萬九千八百參拾圓ヲ得ヘシ(但公債證書價格十五箇年內ニ百圓迄ニ據置トシテ計算セリ尤モ十五箇年內ニ百圓ノ據置トシテ計算セシモノハ別表ニ詳カナリ)依テ其賣拂代金ヲ以テ前紙幣殘高千參百貳拾七圓七拾五錢ヲ消却スルモノトスレハ其消却殘高尚ホ百〇九萬參千五百六拾七圓七拾五錢ヲ餘セリ

前記ノ計算ヲ以テスルトキハ十五箇年ノ後ニ至リ各銀行發行紙幣ノ內償却殘高尚ホ百〇九萬參千五百六拾七圓七拾五錢ヲ餘スヘシト雖モ實際ニ在リテハ又之ヲ消却スヘキノ餘資アリ蓋シ公債證書抽籤ニ當ルトキハ政府ヨリ其券面ヲ以テ拂渡サルヽカ故ニ其金額ヲ以テ更ニ原券面ニ相當スル公債證書ヲ買入ルヽモ時價八拾圓ナレハ尚ホ百圓ニ付貳拾圓ノ餘贏ヲ生スヘク因テ其餘贏ヲ以テ又更ニ公債證書トナシ以テ紙幣消却ノ元資ニ供スヘシ且ツ公債證書ノ價格タル年々騰貴スヘキノ傾向アルヲ以テ前計算ノ如ク毎年八拾圓ノ相場ニテ買得ヘキノ理ナケレハ早晩前計算ニ於テ多少ノ變換ヲ來サヽルヲ得ス因テ今其價格ノ騰貴ト當籤高トヲ假定シテ之カ概算ヲ立ツルコト左ノ如シ

一　公債證書ノ當籤ハ每年平均五十分ノ一ト見積リ即チ五拾萬圓ヲ所持スレハ年々壹萬圓ヲ當籤高トシテ計算ス

一　公債證書ノ相場(七朱利付ニテ勘定ス)ハ明治十六年ヨリ同十八年マテ八拾圓、同十九年ヨリ同二十二年マテ八拾五圓、同二十三年ヨリ同二十六年マテ九拾圓、同二十七年ヨリ同二十九年マテ九拾五圓据置トシ而シテ末年即チ明治三十年ニ至リテハ百圓相場トシテ計算ス

右ノ計算ニヨリテ每年公債當籤ノ節其金額ヲ以テ直ニ同券面高ノ公債證書ヲ買入レ當籤高ノ

缺額ヲ補ヒ而シテ其殘額ハ更ニ公債證書トナシ消却元資ニ供スルモノトシ斯ノ如クシテ連年公債證書ノ員額ヲ增殖スルトキハ十五箇年ノ後ニ至リ(明治三十年ニ當ル)公債券面及ヒ其利子總額即チ紙幣消却ノ元資ヲ增加スル左ノ如シ

一金千〇七拾參萬八千九百八拾貳圓五拾壹錢壹厘　準備金ヲ以テ買入レタル公債證書十五箇年間ノ利子總額

一金千參百七拾九萬千五百拾五圓參拾貳錢七厘　發行紙幣ニ對シ年二分五厘ノ金員ヲ以テ十五箇年間買入レタル公債證書券面

但シ本文ハ券面ニテ擧ケタレトモ十五年目ニハ公債實價百圓ト見積ルヲ以テ本文ハ即又實價ナリト知ルヘシ

一金七百九拾九萬貳千貳百貳拾參圓九拾五錢八厘　前同公債證書十五箇年間ノ利子總額

合計金參千貳百五拾貳萬貳千七百貳拾壹圓七拾九錢六厘　紙幣消却元資總額

右消却元資ノ總額ヲ以テスルトキハ現在各國立銀行ノ發行紙幣總高參千百八拾壹萬貳千八百八拾圓ヲ悉皆消却スルモ尙ホ七拾萬九千八百四拾壹圓七拾九錢六厘ノ過剩ヲ生スヘシ此方法ヲ以テスルトキハ紙幣消却ニ於テ十分ノ餘裕アルコト計數上ニ於テ極メテ明瞭ナリトス假令萬一其消却元資ニ不足ヲ生シ發行紙幣ヲ消了スル能ハサルコトアルモ初年準備金ヲ以テ買入レタル公債證書並ニ十五年間其當籤ノ益金ヲ以テ累年買加ヘタル公債證書總額千〇參拾五萬八千四百八拾圓貳拾六錢ニ登ルヘシ今此公債證書ヲ賣却シ其代金ノ內ヨリ以テ之ヲ補充スルモノトスレハ其不足ヲ生センコト決シテ憂フルニ足ラス況ンヤ公債證書當籤ノ員額ハ逐年增加スヘキカ故ニ平均二十分ノ一ヲ當籤高ト見積ルモ敢テ不可ナキニ於テヲヤ(別表略之)斯クノ如ク國立銀行紙幣消却事務ハ本行ニ命セラレタルヲ以テ本行ハ先ツ銀行札支消掛ヲ置キ委員ヲ設ケテ消却ニ關スル事務ヲ取扱ハシメ且各銀行ト特別ノ約定ヲ締結セントシ命令書第十九條ニ據リ其約條書案ヲ起草シ明治十六年六月七日大藏卿ニ之カ認可ヲ申請シタルニ同月十二日ヲ以テ開屆ケラレタルニ依リ當時營業停止中ナリシ大阪第二十六國立銀行(十六年十一月鎭店)ヲ除キ東京第一國立銀行外百四十行ニ對シ直ニ約條書ヲ送付シ八月ヲ以テ全ク締約ヲ了シ各約條書ニハ孰レモ大藏卿ノ奧書證印ヲ受ケタリ右約條書全文左ノ如シ

銀行紙幣消却處分ニ付日本銀行ト各國立銀行ト約條書案

(此約條書ハ一銀行毎ニ各別ニ製スル者ナレ𪜈今暫ク資本金拾萬圓發行紙幣八萬圓準備金貳萬圓ト假定シテ其一例ヲ示ス)

某國立銀行ヨリ發行シタル銀行紙幣八萬圓消却ノ義國立銀行條例追加第百十二條ニ據リ日本銀行ニ於テ之ヲ負擔スルニ付キ明治十六年五月十一日付ヲ以テ大藏卿閣下ヨリ此兩銀行ニ下附セラレタル命令書ノ旨趣ニ基キ日本銀行ト某國立銀行トノ間ニ約條ヲ締結ジ其取扱手續ヲ規定スルコ左ノ如シ

第一條　某國立銀行ヨリ發行シタル紙幣八萬圓ハ國立銀行條例追加第百十二條ニ據リ某國立銀行ノ營業年限即チ明治何年何月何日迄ニ日本銀行ニ於テ之ヲ遞減消却スルモノトス

第二條　某國立銀行ハ前第一條ニ記載スル紙幣消却ノ爲メ其紙幣引換準備金貳萬圓(其半額ヲ明治十六年六月三十日迄ニ其殘半額ヲ同年十月三十一日迄ニ)ヲ日本銀行ニ納付シ某國立銀行ノ營業年限內之ヲ定期預ト爲スヘシ

日本銀行ハ右準備金貳萬圓ヲ以テ利付公債證書ヲ買入レ日本銀行ノ記名トナシテ之ヲ保管シ置キ年々其利子ヲ以テ某國立銀行ヨリ發行シタル紙幣額ヲ遞減消却スヘシ

第三條　某國立銀行ハ前第一條ニ記載スル紙幣消却ノ爲メ前第二條準備金ノ外更ニ每半季利益

金ノ多少ニ拘ハラス該銀行ノ紙幣下付高ニ對シ年貳分五厘(即チ半季壹分貳厘五毛)ニ當ル金額貳千圓(即チ半季壹千圓)ヲ引去リ明治十六年八月一日ヲ始トシ爾後毎年二月一日八月一日迄ニ之ヲ日本銀行ニ納付シ某國立銀行營業年限内之ヲ定期預ケト爲スヘシ

日本銀行ハ此預ケ金ヲ以テ利付公債證書ヲ買入レ日本銀行ノ記名トナシテ之ヲ保管シ置キ年々其利子ヲ以テ某國立銀行ヨリ發行シタル紙幣額ヲ遞減消却スヘシ

第四條　日本銀行ハ前第二條第三條ニ記載スル公債利子ヲ以テ某國立銀行ノ發行紙幣額ヲ消却シ某國立銀行ノ營業滿期ニ至リ尚ホ殘存スルモノハ前第三條ニ揭クル公債證書暨ヒ後ノ第八條ニ揭クル抽籤差益ヲ以テ買入タル公債證書共時價ニ因テ賣拂ヒ其代金ヲ以テ悉皆之ヲ消却シ若シ餘剩ヲ生スルトキハ之ヲ某國立銀行ニ還付スヘシ

第五條　日本銀行ハ某國立銀行ヨリ前第二條ニ記載スル預リ金ヲ受取リタルトキハ第一號雛形ニ據リ定期預リ證書ヲ交付シ前第三條ニ記載スル預リ金ヲ受取リタルトキハ其都度第二號雛形ニ據リ定期預リ證書ヲ交付スヘシ

第六條　前第二條ニ據リ某國立銀行ヨリ日本銀行ニ納付スル所ノ準備金ヲ以テ買入タル公債證書共某國立銀行ノ發行紙幣消却ヲ書暨ヒ後ノ第八條ニ揭クル抽籤差益ヲ以テ買入タル公債證書共某國立銀行ノ營業滿期ニ至リ尚ホ殘存スルモノハ前第三條ニ揭クル公債證書暨ヒ後ノ第八條完了シタル上ハ日本銀行ハ原價ヲ以テ之ヲ某國立銀行ヘ賣讓スルモノトシ而シテ日本銀行ハ其代金ヲ以テ準備金ヲ還了スヘシ但某國立銀行ノ營業年限内ニ於テ公債證書價格ノ騰貴ニ因リ前第三條ニ記載スル公債證書(即チ發行紙幣ニ對スル貳分五厘ノ金額ヲ以テ買入タル分)暨ヒ其利子ニ減少ヲ生シ之カ爲メ紙幣消却ノ元資ニ不足ヲ來スコトアルトキハ最初準備金ヲ以テ買入レタル公債證書(即チ第二條ニ記載スル毛ノ)

ヲ時價ニ因テ賣拂ヒ其代金ノ内ヨリ之ヲ補充スヘシ

第七條　某國立銀行ノ紙幣引換準備金ヲ日本銀行ニ預託スルニ付テハ該紙幣引換ノ義ハ國立銀行條例改正第四十九條ニ據リ日本銀行ニ於テ之ヲ負擔シ若シ通貨ト交換ヲ請求スルモノアルトキハ日本銀行本店ニ於テ之ヲ引換フヘシ但シ大藏卿ヨリ日本銀行ニ命令アルニ於テハ日本銀行支店又ハ「コルレスポンデンス」店ニ於テ之カ引換ヲ爲スコトアルヘシ

第八條　前第二條第三條ニ記載スル公債證書ノ内若シ公債支消ノ抽籤ニ當ルモノアルトキハ日本銀行ニ於テ其當籤金額ヲ受取リ之ヲ以テ他ノ公債證書ヲ買入レ其當籤ノ員額ヲ補充スヘシ而シテ尚ホ餘剩アルトキハ更ニ之ヲ以テ公債證書ヲ買入レ第二條第三條ト區別シテ紙幣消却ノ元資ニ加フヘシ

第九條　前第八條ノ當籤金額ヲ以テ公債證書ヲ買入レ尚ホ端數ヲ生シ公債證書ヲ買入ルヘキ員額ニ充タサル者アルトキハ之ヲ次季ニ繰越シ前第二條ノ公債證書ニ係ルモノハ第二條ノ公債證書次回ノ當籤金額ニ併セ之ヲ以テ更ニ紙幣消却ノ元資トシテ公債證書買入レニ充ルモノトス

第十條　某國立銀行ノ發行紙幣額ハ前第二條第三條ノ消却法ニ依リ逐年減少スヘシト雖モ某國立銀行ヨリ前第三條ニ據リ其紙幣下付高ニ對シ日本銀行ニ預ケ入ルヘキ金額(紙幣下付高ニ對スル貳分五厘即チ年貳千圓半季壹千圓)ハ營業年限内紙幣流通額ノ減少ニ拘ハラス年々同額ヲ以テ納付シ更ニ增減ナキモノトス

第十一條　某國立銀行ニ於テ前第三條ニ記載スル期限内ニ預ケ金ノ納付ヲ怠リタルトキハ日本銀

行ハ其趣ヲ大藏卿ニ稟申スヘシ

第十二條　日本銀行ニ於テ某國立銀行ノ紙幣ヲ消却スルハ明治十六年五月三十日付ヲ以テ大藏卿ヨリ達セラレタル銀行紙幣合同消却方法ニ遵ヒ處分スヘシ

第十三條　此約條書ニ從ヒ某國立銀行ヨリ日本銀行ニ納付スル所ノ金額ハ全ク某國立銀行ノ發行紙幣ヲ消却スルノ元資ナレハ某國立銀行其營業年限內ニ於テ不時鎖店ノ場合ヲ除クノ外何等ノ事情アルモ之ヲ引出スヲ得サルヘシ

第十四條　此約條書ニ據リ某國立銀行ヨリ日本銀行ニ納付スル所ノ金額ハ日本銀行ニ於テ公債證書ヲ買入レ其利子ヲ以テ某國立銀行ノ發行紙幣ヲ消却スルモノナルカ故ニ日本銀行ハ別段之ニ利子ヲ付セサルヘシ

第十五條　日本銀行ハ某國立銀行ノ爲メ此約條書ニ據リ預リ金取扱方並ニ發行紙幣ノ消却方ヲ負擔スルモ別段之カ手數料ヲ收メサルヘシ

第十六條　日本銀行ニ於テ前第二條第三條竝ヒ第八條ニ據リ公債證書ヲ買入レ又ハ其抽籤竝ヒ賣拂等ノ處分ハ各國立銀行ヲ合同シテ之ヲ取扱ヒ別段之カ區別ヲ立テサルヘシ

第十七條　日本銀行ハ某國立銀行ノ發行紙幣消却ニ關スル事務ノ顚末竝ヒ其計算等ヲ報告スル爲メ毎半季之カ報告表ヲ作リ上半季ノ分ハ八月十五日マテ下半季ノ分ハ二月十五日迄ニ之ヲ某國立銀行ニ送付スヘシ

第十八條　某國立銀行ハ豫メ大藏卿ニ稟請シテ之カ許可ヲ受クルニ於テハ日本銀行ニ就テ某國立銀行ノ發行紙幣消却ニ關スル帳簿書類ニ限リ之ヲ查閱スルヿヲ得ヘシ

第十九條　日本銀行又ハ某國立銀行ニ於テ此約條書中明治十六年五月十一日付ヲ以テ大藏卿ヨリ兩銀行ニ下付セラレタル命令書竝ヒ同年五月三十日付ヲ以テ大藏卿ヨリ兩銀行ヘ達セラレタル合同消却方法ノ旨趣ニ牴觸セサル箇條ニシテ其細目ニ渉ルモノヲ規定若クハ改正センヿヲ要スルトキハ其實施ヨリ少クモ一ケ月以前ニ於テ互ニ之ヲ通知シ兩銀行ノ協議ヲ以テ之ヲ規定若クハ改正スルヲ得ヘシ但シ其都度之ヲ大藏卿ニ稟申シテ許可ヲ受クヘキモノトス

第一號雛形

表

第　號

預り金證書

金

右ハ大藏卿命令書ニ基キ本行ト貴行トノ間ニ於テ取締ヒタル銀行紙幣消却處分約條ニ隨ヒ貴行準備金ノ「半」額正ニ相預リ候尤此預リ金ハ裏書ノ通リ處分シ貴行營業滿期ニ至リ還付可致候也

明治　年　月　日

日本銀行總裁

國立銀行頭取

殿

原符

裏面

一此預リ金ハ銀行紙幣消却處分約條書第二條ノ旨ニ隨ヒ本行ニ於テ公債證書ヲ買入之ヲ保存スヘシ

一銀行紙幣消却處分約條書第六條ニ揭クル如ク貴行營業滿期ニ至レハ右公債證書原價ヲ以テ貴行ヘ賣讓シ其代金ヲ以テ此證書引換ニ預リ金ヲ還了スヘシ

一銀行紙幣消却處分約條書第六條ノ如ク滿期ニ至リ貴行ノ紙幣消却資ニ不足ヲ生スルコアルトキハ此預リ金ヨリ買入タル公債證書ノ內其不足額丈ケ時價ニ因リ賣却シテ補充スヘシ然ルトキハ差引勘定書ヲ添其殘公債證書ヲ賣讓シ預リ金ヲ還付スルコ前項ノ如クスヘシ

一各國立銀行紙幣消却方ハ大藏卿ヨリ特ニ本行ヘ付托セラレタル取扱ナレハ此預リ金ヲ以テ買入タル公債證書ハ勿論現金保存中ト雖モ本行ニ於テハ他ノ營業部ト區別シ特別保護預リト爲スヘシ

（本欄ハ印刷セス）

表書ノ金額正ニ領收候也

明治　年　月　日

國立銀行頭取

第二號雛形

表

第　號

預り金證書

金

右ハ大藏卿命令書ニ基キ本行ト貴行トノ間ニ於テ取締ヒタル銀行紙幣消却處分約條ニ隨ヒ貴行發行紙幣ニ對スル明治　年　半期壹分貳厘五毛ノ積立金正ニ相預リ候尤此預リ金ハ裏書之通處分可致候也

明治　年　月　日

日本銀行總裁

國立銀行頭取

殿

原符

裏面

一此預リ金ハ銀行紙幣消却處分約條書第三條ノ旨ニ隨ヒ本行ニ於テ公債證書ヲ買入之ヲ保存スヘシ

一銀行紙幣消却處分約條書第四條ニ揭クル如ク貴行營業滿期ニ至レハ右公債證書ヲ時價ニ因リ賣却シテ紙幣消却處分ヲ爲シ勘定書ヲ送付シテ殘金アレハ共ニ送付スヘシ　此證書ト引換ヘシ

一各國立銀行紙幣消却方ハ大藏卿ヨリ特ニ本行ヘ付托セラレタル取扱ナレハ此預リ金ヲ以テ買入タル公債證書ハ勿論現金保存中ト雖モ本行ニ於テハ他ノ營業部ト區別シ特別保護預リト爲スヘシ

（本欄ハ印刷セス）

表面ノ金額正ニ領收候也

明治　年　月　日

國立銀行頭取

尋テ明治十六年八月十三日ヲ以テ命令書第十五條ノ旨趣ニ據リ銀行札支消局ヲ設ケタキ旨大藏卿ニ稟請シタルニ同年十一月八日ヲ以テ局トナサス別ニ一部ヲ設ケ銀行紙幣支消部ト稱スヘキ旨指令セラレシカハ直ニ之ヲ設置シ且同部假內規ヲ作成シ同月十七日ヲ以テ大藏卿ニ上申シ同月二十九日其許可ヲ得タリ其全文左ノ如シ尙右支消部ハ其後二十三年一月本行組織改正ノ際之ヲ廢止シ同部ニ於テ取扱ヒタル事務ハ擧ケテ之ヲ銀券局ニ移セリ

明治十六年五月十一日大藏卿閣下命令書第十五條ニ遵ヒ銀行紙幣支消部ヲ設置シ其內規ヲ假定ス

銀行紙幣支消部假內規

第一條　銀行紙幣支消部ハ明治十六年五月十一日大藏卿閣下命令書ノ旨趣ニ從ヒ同五月三十日同御達合同消却法ニ據リ銀行紙幣消却方ニ關スル事務ヲ處辨スル所トス

第二條　銀行紙幣支消部ノ事務ハ本行營業事務ト判然區域ヲ立ツルモノトス

第三條　銀行紙幣支消部ノ事務ハ左ノ如シ

第一　各國立銀行發行紙幣引換準備金及ヒ貳分五厘金ヲ預ル事

第二　銀行紙幣消却元資公債證書買入方及同當籤公債證書ノ處分並ニ公債證書利子受取方ノ事

第三　銀行紙幣ノ交換及消却ヲ爲シ之レカ明細表ヲ作リ大藏省ヘ上納スル事

第四　銀行紙幣消却元資並ニ消却金及消却紙幣ノ受拂ニ關スル簿記計算ヲナス事

第五　右消却方ニ關スル日計表報告書諸統計表ヲ作ル事

第六　右消却事務ニ關スル諸願伺届書及諸報告書並ニ書翰其他ノ文書ヲ起案スル事

第四條　銀行紙幣支消部ノ職員ハ部長一名部長補一名各係員若干名トス

第五條　部長ハ理事部長補ハ支配役ヲ以テ之ニ任シ各係員ハ書記書記見習ノ中ヲ以テ之ニ充ツ

第六條　銀行紙幣支消部事務分掌職制ハ左ノ如シ

部長

本部內各係員ヲ定メ之ヲ指揮シテ第三條ニ揭クル事務ヲ總轄シ各係員ノ勤惰ヲ監督ス

部長補

部長ニ次キ部內ノ事務ヲ辨理シ部長事故アルキハ之ヲ代理スヘシ

消却係

部長ノ指揮ヲ受ケ各國立銀行紙幣消却ニ關スル事務ヲ處辨ス

計算係

部長ノ指揮ヲ受ケ簿記並ニ諸統計表諸報告表ノ調製其他計算ニ關スル事務ヲ處辨ス

各係ノ分掌事務ニ關スル證書文書ハ部長ノ指揮ヲ受ケ各其係員之レヲ起案ス

第七條　各國立銀行發行紙幣引換準備金及ヒ貳分五厘金ヲ受領セハ之レカ預リ證書ヲ交付シ而シテ其準備金ハ準備元資ト號シ貳分五厘金ハ積立元資ト稱シ此ノ二ツノ者ヲ併稱シテ銀行紙幣消却元資トスヘシ尤モ計算上ニ於テハ右準備金ト積立トヲ區別シ尙各銀行ヲ細別スルモノトス

但預リ證書ハ總裁若クハ副總裁記名調印ヲナシ併セテ部長及取扱主任ノ檢印ヲナスモノト

ス

第八條　元資公債證書及同當錢補充ノ公債證書買入方等ハ總テ定款ノ規程ニ據リ處分スヘキモノトス

第九條　元資公債證書抽簽ニ當リ之レカ金額ヲ收入セシトキハ準備元資及積立元資ニ係ルモノヲ區別シ而シテ其當錢益ハ公債證書ヲ買入レ各銀行ノ元資金高ニ分割シテ簿記計算ヲ爲スヘシ又當錢補充ノ爲メ買入レタル公債證書ノ計算モ之ニ準スヘシ

第十條　元資公債證書ニ附帶セル利子金ヲ收入セシトキハ之ヲ紙幣消却元金トシテ各銀行ノ元資高ニ割リ付ケ以テ銀行紙幣割付消却高ヲ顯ハシ簿記計算ヲナスヘシ

第十一條　紙幣消却元金ヲ每季收入セシトキハ其季內ニ消却スヘキ銀行紙幣ノ金額ヲ出納課ヘ通知シ出納課ヲシテ實際交換ノ事務ヲ取扱ハシメ同課ヨリ每一日ノ交換銀行紙幣ノ報道ニ據リ之カ種類員額ヲ取調日計表ヲ調製スヘキモノトス

第十二條　消却紙幣ハ出納課ニ於テ消印シ各銀行ノ名稱及種類金額ヲ別ッテ糊封ヲナシ金庫ニ保存爲サシムヘシ

第十三條　消印濟消却紙幣ハ每一ケ月分ヲ取纏メ命令書第十一條ニ據リ之レヲ處分シ而シテ其金額ハ各銀行ニ分割シテ簿記計算ヲナスモノトス

第十四條　紙幣消却方ニ關スル諸計算表及諸報告表勘定書ノ類ハ命令書及紙幣合同消却法ノ各條ニ據リ之レヲ調製シ計算局及文書局ヲ經テ重役ノ承認ヲ受クヘキモノトス

第十五條　紙幣消却方ニ關スル現金及消却紙幣ハ金庫局現公債證書ハ株式局ヲシテ保管セシメ其受拂ノ都度證票ヲ發スルモノトス

第十六條　前各條ニ明文ナキ事務ハ前第一條ニ揭クル大藏卿閣下命令書同御達シ銀行紙幣合同消却法ニ隨ヒ之レヲ處分シ又諸證書往答書類及回議諸文書ノ處分ハ定款內規其他重役ニ於テ決定シタル成規手續ニ據リ尙曾テ例規ナキモノハ重役ノ決定ヲ受クヘキモノトス

國立銀行紙幣引換準備金ハ紙幣消却ノ爲メ本行ニ定期預ケトナスヘキコトハ改正國立銀行條例其他ニ規定セラレタル所ナルカ其納付期日ハ大藏卿ヨリ國立銀行ニ下付セラレタル命令書第二條中ニ其半額ハ明治十六年六月三十日マテト明示セラレタリ然ルニ六月三十日マテニ全額一時ニ預入シタキ希望ノ向アリシヲ以テ同年十月三十一日マテ殘半額ハ同年十二回ニ預リタルモノト同一ノ計算ヲ以テ其請求ニ應スルコトヽセリ

斯クテ成規ノ通リ同年六月三十日マテニ準備金ノ半額ヲ預入セシハ東京第一國立銀行外百二十四行ニシテ其金額三百七十萬二千六百十圓又一時ニ全額ヲ預入セシハ東京第五國立銀行外十四行ニシテ其金額四十九萬八千圓此合計金四百二十萬六百十圓ナリキ依テ直ニ公債證書ヲ購入セントセシモ當時公債證書ノ價格ハ日々騰貴シ曩ニ當局者ノ發表シタル豫算書ニ計上セル價格ニ比較スルトキハ其間勘カラサル差額ヲ生スルニ至レリ然ルニ右元資公債證書ハ既記ノ如ク其利子ヲ以テ各銀行發行紙幣消却ノ用ニ供スヘキモノニシテ今公債證書ノ額豫定ヨリ減少シ從テ之ヨリ生スル利子即紙幣消却高ニ影響スルコト勘カラス而シテ此影響ハ獨リ國立銀行ノ利害ニ關スルノミナラス本邦幣制改革ノ進行上ニモ亦關係スル所アルヲ以テ其結果ハ頗ル重大ナルモノト認メサルヘカラス夫レ公債證書ノ價格ハ固ヨリ需給ノ關係ニ

ヨリ高低スルモノナレハ復如何トモスヘカラスト雖既ニ本行ニ於テ紙幣消却事務ヲ擔任スルニ於テハ此不利ナル狀勢ヲ看過シテ坐ナカラ高價ナル公債證書ヲ購入スルニ忍ヒサルモノアルニヨリ再三其筋ト交渉ヲ重ネ時價ヲ以テセス同年六月中ノ平均相場即チ七分利付金祿公債證書百圓ニ付八十三圓四十二錢四厘、六分利付同證書百圓ニ付七十四圓四十二錢四厘ヲ以テ其筋ヨリ公債證書ノ拂下ケヲ受クルコト、ナレリ而カモ今拂下ヲ受ケタル七分利付公債ノ價格ヲ以テ豫算計上ノ同公債價格八十圓ニ比スレハ尚ホ三圓餘ノ差異アルヲ免レサルニ其後公債證書價格ノ騰貴ハ益々著シキモノアリシカハ國立銀行ノ憂慮一方ナラス事全國百四十ニ餘レル國立銀行ノ運命ニ關スルニ依リ終ニ同年八月十八日ヲ以テ東京銀行集會所同盟銀行ヨリ本行ニ對シ來ル十月中ニ預入スヘキ準備金ノ殘半額ヲ此際速ニ納付スヘキニ依リ六月中ニ納付シタルモノト看做シ特ニ前回同樣ノ價格ヲ以テ公債證書ノ拂下ヲ受ケ得ル樣盡力アリタキ旨ヲ請願シ來レリ依テ本行ニ於テモ其意ヲ諒トシ直ニ其旨大藏卿ニ稟請シタルニ同月二十五日ヲ以スルトキハ特別ヲ以テ七月中ノ平均相場七分利付公債額面百圓ニ付八十六圓四厘替ヲ以テ下付スヘキ旨指令セラレタリ是ニ於テ納期ヲ俟タス東京第一國立銀行外百二十四行ヨリ準備金ノ殘半額タル金三百七十萬二千六百十圓ヲ預入シタルヲ以テ直ニ大藏省ヨリ公債證書ノ拂下ヲ受ケタリ尤モ此際ハ前記七分利付公債證書ノ價格ヲ標準トシ額面百圓ニ付九圓下リ即チ七十七圓四厘替ヲ以テ六分利付金祿公債ヲ下付セラレタリ(松江第七十九國立銀行ハ偶營業停止中ナリシヲ以テ一時除外シ置キ十七年四月解停ト共ニ準備金全額並ニ十六年上下兩半季積立金ヲ預入セシメタリ尤モ其際公債證書價格騰貴ノ爲メ各銀行ノ爲メニ買入レタル元資公債證書ト同一ノ取扱ヲナシ難キニヨリ之ヲ避ケンカ爲メ各銀行買入ノ價格ヲ以テ同行ヨリ公債證書ヲ買受クルコト、シタリ)斯クテ右買入ニ依リ金二圓六十五錢二厘ノ端數殘金ヲ生シタルニ依リ一時端數勘定ヲ以テ之ヲ保管セシカ小額ノ金員ナリト雖其儘之ヲ紙幣消却終期迄死藏シ置クハ取扱上面白カラサルヲ以テ明治十七年四月一日大藏卿ノ認可ヲ受ケ右端金ハ端數勘定ヲ以テ後季ニ繰越シ元資公債當錢金高ニ合同シテ使用スルコト、セリ

尙右公債證書ヲ各銀行ニ割付クルニ方リ生スル端數ノ處分方ニ付キ明治十六年九月十八日ヲ以テ左ノ通リ定メタリ

銀行紙幣消却元資公債證書割付端數處分幷ニ記帳方法

一　大藏省ヨリ銀行紙幣消却元資公債證書ヲ買入ルヽ時ハ各銀行準備金又ハ積立金入金高ノ割合ニ應シ之ヲ割付スヘキモノトス

一　公債證書ノ額面ニ分數ヲ生スル時ハ圓位以下ハ切取リ他ニ相當ノ勘定ヲ設ケ之ヲ其勘定ニ一時登記シ置キ後半季ハ繰込ヘキモノトス

但前條ノ勘定科目ハ之ヲ二種ニ區別ヲ立テ名テ準備金公債證書端數勘定及積立金公債證書端數勘定トナスヘシ

一　各銀行ノ公債證書ノ實價ハ前條ノ額面高ニ應シ之ヲ割出スヘキモノトス

一　準備金幷ニ積立金公債證書額面總計(百五拾圓)以上ニ充滿スル時ハ公債證書額面總計ニ於テハ之ヲ各銀行準備金及積立金高ノ割合ニ應シ之ヲ再割付スルモノトス

一　毎半季紙幣消却金ヲ請取ル時ハ之ヲ各銀行ノ公債證書總額面高ニ應シ之ヲ割付スヘキモノ

トス

但消却金ニ於テ生スル端數モ亦便宜消却金端數勘定ヲ設ケ一時之ニ記入シ以テ後半季ヘ繰込モノトス

一　抽籤ヲ以テ他ノ公債證書ヲ買入ル時ハ各銀行ノ公債證書額面高ニ應シ割付シ後チ端數ヲ生ス準備金及積立金ノ分ヲ區別シ亦以テ之ヲ抽籤端數勘定ニ振込ミ後半季ヘ繰込ヘキモノトス

此ノ如ク準備金ヲ以テスル公債證書ノ購入ニ際シテハ特ニ便宜ヲ得タルモ毎半季積立ツヘキ年二分五厘金ヲ以テ公債證書ヲ購入セントスルニ際シテハ斯カル便宜ヲ受クル能ハス頗ル不利ノ狀態ニアリシヲ以テ各國立銀行ノ希望ニヨリ明治十六年上半季ニハ右積立金ヲ以テ各銀行ヨリ公債證書ヲ購入スルコト、シ又同年下半季分積立金ハ便宜各銀行所有ノ公債證書ヲ以テ預入セシムルコト、セリ從テ自然積立金高ニ對シ不足端數ヲ生スルニ依リ右端數不足高ハ一行ニ付公債證書額面十圓以下ニ限定シ現金ヲ以テ之ヲ預入セシメ各銀行ノ端數高ヲ合計シ時價ヲ以テ公債證書ヲ購入スルコト、セリ爾後之ニ倣ヒテ半季積立金ハ公債證書ヲ以テ代納セシムルコト、シ其代納價格ハ主トシテ東京銀行集會所ト協議決定セリ

尋テ明治十七年三月七日大藏卿ヨリ是等元資公債證書ニシテ當籤償還セラレタルトキハ右償還ニ係ル差金ヲ各銀行紙幣發行高ニ對比シ一行毎ニ其割付高ヲ算定シ之ヲ各銀行ニ通知スヘキ旨ヲ達セラレタリ

又同日大藏卿ヨリ元資公債證書ノ利子ヲ毎季受入レタルトキモ之ヲ各銀行紙幣發行高ニ割合其金高ヲ各銀行ニ通知スヘク但此金高ハ厘位迄ヲ算出スヘキ旨ヲ達セラレタリ依テ右金高ヲ算出スルニ當リ厘位以下ニ分數ヲ生シ四捨五入ノ法ニ據ルモ尚ホ過不足ヲ生シ到底精算シ難キ場合アルニ依リ同月二十五日ヲ以テ大藏卿ニ對シ右ノ場合ニハ厘位マテヲ算出シ其以下ノ端數ハ之ヲ合同シテ後季ニ繰込ミ其季ノ公債利子中ニ加算割付クルコト、シタキ旨ヲ稟請シタルニ同月二十八日認可セラレタリ尤モ前記割付高ノ內圓位以上ノ金額ヲ以テ其季ニ於ケル消却金高ト定メテ紙幣消却ニ充用シ圓位以下ノ殘金ハ次回ノ消却割付高ニ算入スルコトモ同時ニ許可セラレタリ

既記命令書第十一條ニ據リ各銀行ニ送付スル明細表寫ハ明治十九年七月ニ至リ東京銀行集會所同盟銀行ヨリ本行ヘ協議ノ上大藏大臣ニ對シ爾後之ヲ廢シタキ旨稟請シタルニ大藏大臣ニ於テハ其際何等ノ指令ヲ與ヘラレサリシモ殆ント默許ノ狀ヲ呈シ爾後本行ヨリ大藏省ニ消却紙幣ヲ納付スル際モ其旨ヲ添申シ右明細表ノ添付ヲ省略セリ然ルニ大藏省記錄局ニ於テ總元帳ヲ消印スルニハ右明細表ニ依ラス現紙幣ヲ以テ對査シ又同省銀行局ニ於テ調査ノ爲メ備ヘ置カレタル元帳ハ已ニ廢止セラレタル趣ナリシカハ二十一年七月七日ヲ以テ大藏大臣ニ對シ前記明細表ハ去ル十九年六月以來ノ分ヲ廢シ並ニ明細表寫ヲ各銀行ヘ送付スルニ同年十二月二十七日認可セラレ尙同日命令書第十一條中「之ニ其紙幣ノ種類、記號、番號、員額等ヲ記載シタル明細表ヲ添付シテ」ノ二十九字及「東京府廳ヨリ受取リ之ヲ以テ」ノ十三字ヲ刪除シ且此ノ明細表ノ寫ヲ以テ」ノ十字ヲ「其消却高ヲ」ノ五字ニ改正スル旨ヲ達セラレタルニヨリ二十二年三月十一日ヲ以テ爾後上記明細表ノ送付ヲ廢止スル旨各銀行ヘ通知セリ

然ルニ大藏省ニ於テハ消却紙幣ノ種類員額ヲ區別スルヲ必要トシ同年四月十六日ヲ以テ命令書第

十一條中「消却高ヲ取纏メ」ノ下ニ「其種類員額ヲ區別シテ」ノ十字ヲ、幷ニ「且ツ其消却高」ノ下ニ「及ヒ其種類内譯」ノ七字ヲ追加スル旨ヲ達セラレタリ是ニ於テ大藏省ヘ消却紙幣ノ種類員額ヲ區別報告スル ト共ニ各國立銀行ニ對シテモ同樣通知スルコトヽセリ

尋テ明治二十三年十一月四日消却高届出ニ關スル重複ノ手續ヲ省略スルノ趣意ヲ以テ命令書第十一條中末段「而シテ各國立銀行ニ於テ此通知ヲ受ケタルトキハ直チニ之ヲ大藏卿ニ届出テシムルモノトス」ノ四十字及合同消却方法第五條全部ヲ削除スル旨大藏大臣ヨリ達セラレタリ

是ヨリ先明治十六年十二月二十六日大藏卿ハ東京第一國立銀行外二十六行ノ請願ヲ容レ損傷國立銀行紙幣引換ノ手續ヲ認可セラレ本行ニ於テモ之ニ照準取扱フヘキ旨ヲ達セラレタリ今之カ引換手續ノ大要ヲ述フレハ國立銀行ハ其發行紙幣ニシテ汚染敗裂等ノ爲メ通用シ難キモノヲ取纏メテ毎季大藏省銀行局ニ納付シ之ニ對シテ同局ヨリ預リ證書ヲ受取リ之ヲ同省出納局ニ差出シ之ト引換ニ同局ヨリ政府紙幣ノ下付ヲ受ケ而シテ出納局ニ於テハ右預リ證書ヲ五月、十一月ノ兩度ニ本行ニ下付シ本行ハ之ニ依リテ紙幣ヲ消却シ其モノト看做シ右預リ證書ヲ該季消却紙幣中ニ差加フヘキコトヽセリ

然ルニ明治十九年六月二十三日ニ至リ大藏大臣ヨリ各國立銀行損傷紙幣ハ爾後政府紙幣ト交換スルヲ停止スルヲ以テ該損傷紙幣ハ銀行局ニ就キ銀行紙幣ト交換スヘキ義ト心得ヘキ旨國立銀行ニ達シタル旨ヲ本行ニ達セラレタリ之ニ依リ損傷銀行紙幣ヲ直ニ消却高中ニ加フルノ途ヲ杜絶セラレ各銀行ハ頗ル不便ヲ感シタルヲ以テ同年九月十一日ヲ以テ本行ニ對シ右損傷紙幣ヲ本行ニ於テ毎季消却高中ニ加入相成度旨取扱手續書ヲ添ヘ東京銀行集會所ヨリ請求シ來リシニ依リ一二修正

正ノ上十月十二日之ヲ承諾シ各銀行ヨリノ請求ニ從ヒ該半季ヨリ之ヲ實施セリ右修正濟ニ係ル取扱手續及同手續第八條ニ依リ交付スル預リ證書樣式ヲ掲クレハ左ノ如シ

損傷國立銀行紙幣交換取扱手續

第一條　各國立銀行發行紙幣ノ内敗裂汚染等ニ係リ通用致難損傷紙幣アリテ其高百圓以上ニ充ツルトキハ之ヲ日本銀行東京本店ヘ送致スヘキ事

第二條　右送致ノ期限ハ上半季分ハ三月一日ヨリ四月三十日迄下半季分ハ九月一日ヨリ十月三十一日迄ニ日本銀行ヘ到達スヘキ見込ヲ以テ送出可申事

但右期限ヲ經過セシ分ハ日本銀行ニ於テハ次ノ期内ニ受取ルモノトスヘキ事

第三條　日本銀行ヘ送致スヘキ損傷紙幣ノ限高ハ日本銀行ニ於テ其期内ニ消却スヘキ各國立銀行紙幣高ヲ目的トシ各其發行紙幣高ニ比準シテ送出シ可申事

但右限高ニ超ヘタル損傷紙幣アラハ各國立銀行ハ銀行成規第二十三條ノ手續ヲ以テ大藏省ヘ上納シテ御引換相願可申事

第四條　右ノ損傷紙幣ヲ送致スル時ニハ其金額種類及番記號等ノ調書ヲ相添可申事

第五條　損傷紙幣ハ都テ其金額ニ充テタルモノニ限リ送致スヘシモシ半額又ハ區分判定難致モノハ直ニ大藏省ヘ交換方出願可申候事

第六條　右ノ損傷紙幣ハ獨リ自行ノ發行紙幣ニ限ラス他行ノ分ヲモ取交テ送致スルモ妨ケナカルヘキ事

但其限額ハ自他ノ紙幣ニ拘ハラス第三條ノ通タルヘキ事

第　　號

證

一金

但損傷銀行紙幣

右ハ銀行紙幣消却金ト振替交換スヘキ分正ニ相預リ候也

日本銀行總裁

明治　年　月　日

第　　國立銀行

第七條　此損傷紙幣ヲ送致スルハ各其本店ヨリ納付スルモ又ハ在東京銀行ノ代理ヲ以テスルモ其銀行ノ都合ニ任セ可申事

第八條　日本銀行ハ各國立銀行ヨリ損傷紙幣ノ送致ヲ得レハ其高ニ應シ時々預リ證書ヲ發付シ置可申事

第九條　日本銀行ハ毎年五月十一月ニ於テ紙幣消却元資金ニ係ル公債證書ノ利足ヲ受取ルヘキハ直ニ前ニ預リタル損傷紙幣ト交換シ凡ソ六月十二月三十日迄ノ期限ヲ以テ損傷紙幣ノ送致高ニ應シ第七條ノ預リ證書ト引換ニ同額ノ通貨ヲ各國立銀行ヘ交付スヘキ事

但代理店ヲ以テ送致セシ分ハ其代リ金モ代理店ヘ送致スヘシ尤代リ金交付ニ係ル費用ハ其請求本店ニ於テ負擔可致候事

第　　號

一金

明治　年　月　日

第　　國立銀行

其後明治二十二年十月三日東京銀行集會所ノ來意ヲ容レ前記取扱手續第四條中「及番記號等」ノ五字ヲ削除セリ

又國立銀行ノ追々營業滿期ニ近ツクニ從ヒ本行ハ大ニ銀行紙幣ヲ引揚ケ之ヲ消却スルノ必要アリ依テ明治二十九年九月二十六日支店出張所ニ對シ自今收納ニ係ル銀行紙幣ハ可成營業部以外ノ金庫ニ回送シ中央金庫ニ取纏メ本金庫ニ回送シ中央金庫ハ本行ニ就キ通貨ト交換スヘキ旨ヲ達セラレタリ是ニ於テ金庫出納役ニ對シ各地本支金庫ニ收入シタル國立銀行紙幣ハ便宜本金庫ニ取纏メ本金庫ハ之ヲ中央金庫ニ回送シ中央金庫ハ本行ニ就キ通貨ト交換スヘキ旨ヲ達セラレタリ是ニ於テ金庫出納役ハ翌十月五日第五號ヲ以テ左記國立銀行紙幣回送手續ヲ制定シ右ニ據リ國立銀行紙幣ヲ回送スヘキ旨各金庫ニ通達シ本行及金庫ハ協力シテ之カ引揚ニ努メタリ（其後三十三年五月二十九日ニ至リ右國立銀行紙幣回送手續ヲ廢止セリ）

國立銀行紙幣回送手續

第一條　本金庫ハ國立銀行紙幣ノ受拂ヲ整理スル爲メ適宜ノ補助簿ヲ設ケ計算整理スヘシ

第二條　本金庫ニ於テ收入シタルモノハ當該本金庫ニ於テ第一號樣式ノ如ク消印（印章ハ本金庫ニテ調製スヘシ）ヲ押捺スヘシ

第三條　各支金庫ニ於テ收入セシモノハ本金庫ニ於テ適宜ノ方法ヲ設ケ隨時本金庫ヘ回送シ本金庫ハ第二條ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條　本金庫ニ於テ消印濟ノ國立銀行紙幣五千圓ニ滿タルトキハ其都度中央金庫ヘ回送スヘシ（其後明治三十一年十月二十九日ニ至リ損傷政府紙幣、政府發行一圓以上紙幣、本行一圓兌換券ヲ國立銀行紙幣ニ併セ總額五千圓ニ滿チタルトキ又五千圓未滿ト雖金庫ニ於テ便宜ト認ムルトキハ其都度中央金庫ヘ回送スヘキ旨ヲ達セリ）

第五條　國立銀行紙幣回送ニ關スル送付票ニハ金額ノ外ニ其枚數ヲ附記スヘシ

第六條　本金庫ハ毎五十ノ日ニ於テ銅貨及損傷紙幣現在高報告表中「一圓以上政府紙幣」ノ次ニ「國立銀行紙幣」ノ科目ヲ設ケ其現在額（支金庫ヘ回送セサル員額ハ加算セス）ヲ記載報告スヘシ

第七條　本金庫ハ毎五十ノ日ニ於テ回送及振換拂報告表ニ國立銀行紙幣拂出ニ係ルモノハ其摘要ヘ「令達外國立銀行紙幣拂出」ト附記スヘシ

第八條　國立銀行紙幣消印手數料ハ千枚ニ付金五錢五厘ヲ支給スヘシ

第九條　國立銀行紙幣回送ハ本金庫ニ於テ適宜ノ方法ヲ撰ミ遞送シ其遞送費ヲ請求スヘシ

第十條　消印手數料及遞送費ハ毎年四月十月ノ二期ニ支給スヘキニ付第二號書式ノ請求書ヲ差出スヘシ

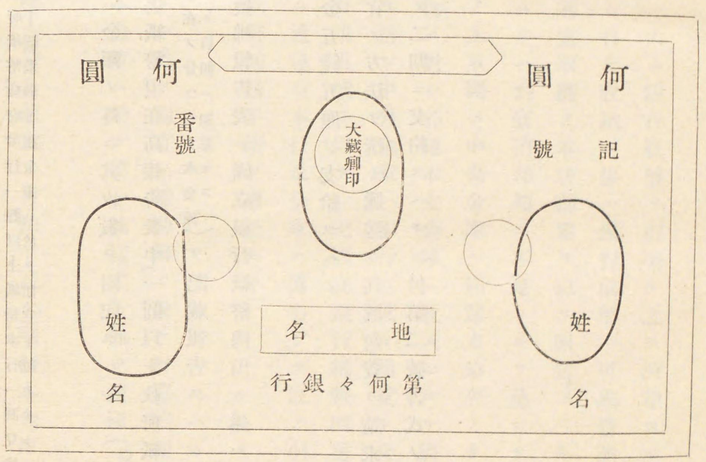
第一號樣式

甲

竪　一寸二分
横　一寸

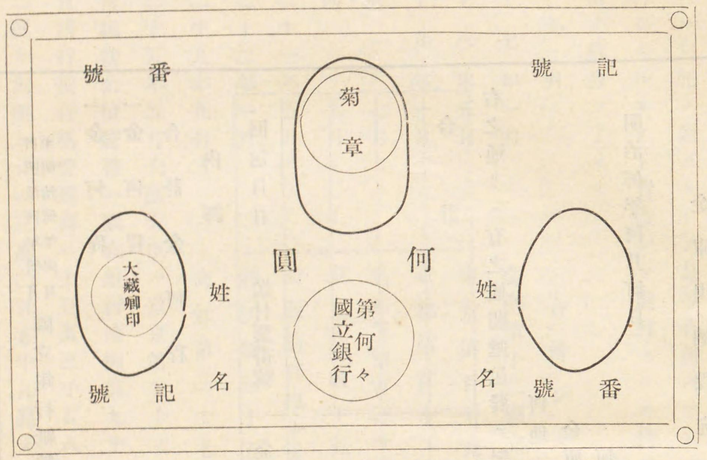
消ノ字ハ尤モ判明ナル樣字格ヲ大ナラシムヘシ
地名ニハ本金庫名ヲ細書スヘシ

乙　舊　札



消印ニテ銀行名ヲ不判明ナラシメサルヤウ押印スヘシ

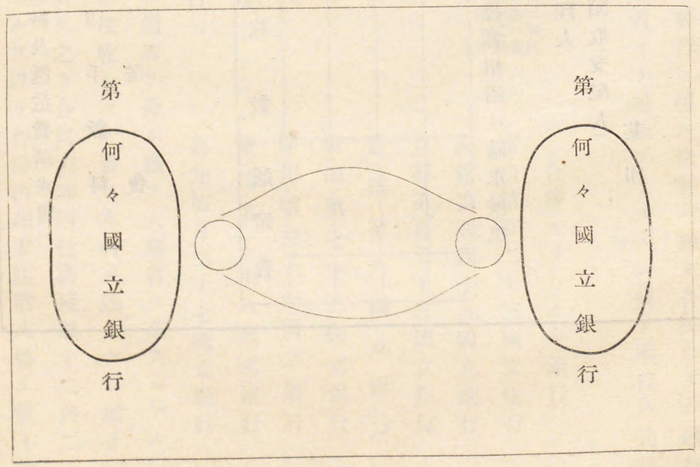
丙　新　札　表



消印ニテ銀行印章ヲ不判明ナラシメサルヤウ注意スヘシ

紙幣　國立銀行紙幣消却

裏　同



自明治何年何月
至明治何年何月　國立銀行紙幣消印手數料及遞送費請求書

一金何程　消印手數料
一金何程　遞送費
合計金何程

內譯

回送月日	送付票番號	金額	枚數	遞送費
合計				

右之通リニ有之候間遞送費ニ對スル實費證書相添ヘ請求候也

何地本金庫

金庫出納役代理人
何銀行(支店)頭取(支配人)
何　某　印

明治何年何月何日

金庫出納役宛

又國立銀行中往々合併ヲ爲スモノアリシカ本行ニ於テ消却事務ヲ取扱フニ至リシ以來其之ヲ爲シタルモノハ左記ノ如クニシテ是等合併セラレタル銀行ノ發行ニ係ル紙幣ハ總テ合併シタル銀行ニ於テ發行シタルモノト看做シテ處理スヘキ旨其都度大藏省ヨリ通知アリタルニ依リ本行ハ其時々夫々適當ノ處分ヲ了セリ

年月	合併シタル銀行	合併セラレタル銀行
十七年一月	金澤第十二國立銀行(併合ト共ニ本店ヲ富山ニ移シ爾後富山第十二國立銀行ト稱セリ)	富山第百二十三國立銀行
十八年五月	東京第百十九國立銀行	函館第百四十九國立銀行
十九年一月	京都第百十一國立銀行	京都第百五十三國立銀行
同七月	名古屋第百三十四國立銀行	豐橋第八國立銀行
同七月	東京第四十五國立銀行	金澤第七十五國立銀行
二十一年五月	大阪第百四十八國立銀行	津川第三十一國立銀行
二十二年一月	靜岡第三十五國立銀行	濱松第二十八國立銀行
二十九年九月	高知第三十七國立銀行	高知第百二十七國立銀行

又明治二十五年五月大藏大臣ハ東京第三十三國立銀行ニ鎖店ヲ命シ豫テ大藏省ヘ差入レアル同行發行紙幣抵當公債證書ハ國立銀行條例第九十六條ニ據リ沒收シタル旨ヲ本行ニ達セラレ續テ同年六月四日該行發行紙幣殘高ハ十五萬三千百八十一圓ニシテ之ヲ合同消却割付高殘額十二萬二千九百二十二圓ニ對照スレハ三萬二百五十九圓ノ差額ヲ生スルヲ以テ合同消却方法第八條ニ據リ合同消却金ノ內ヨリ右差額ヲ上納スヘキ旨ヲ達セラレシカハ之ヲ納付シ同行元資準備金積立金及其差

益ハ之ヲ跡引受人ニ返還セリ

其後明治三十一年一月二十六日ニ至リ國立銀行官命鎖店ノ場合ニ於ケル紙幣消却手續ヲ左ノ通リ制定セル旨大藏大臣ヨリ達セラレタリ

官命鎖店銀行紙幣消却手續

第一條　國立銀行ニ鎖店ヲ命シタルトキハ之ト同時ニ日本銀行ヘ通知シ紙幣消却ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第二條　日本銀行ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ紙幣消却元資公債證書ヲ賣却シ其代金ヲ以テ少ナクトモ三十日以內ニ合同消却法ニヨリ紙幣ノ消却ヲ完了シ監督局物品會計官吏ヘ還納スヘシ

第三條　前條消却紙幣ノ還納ヲ爲シタルトキハ日本銀行ヨリ其旨ヲ鎖店銀行ニ通知シ同銀行ハ兼テ大藏省ニ納付シアル抵當公債證書ノ下戻ヲ請求スルコトヲ得

第四條　第二條ノ元資公債證書賣却代金ヲ以テ紙幣ヲ合同消却スルモ尙消却未濟ノ金額殘存スルトキハ國立銀行條例第九十六條ノ手續ニヨリ抵當公債證書ヲ沒收シ營業滿期國立銀行紙幣交換基金ノ取扱手續ニヨリ總テ特別會計法ニヨリ處理スヘシ

尋テ同年三月京都第百十一國立銀行鎖店ヲ命セラレシカハ前記消却手續ニ據リ處理シ殘金ヲ跡引受人ニ還付セリ

以上記載シタルモノ、外一時營業ノ停止ヲ命セラレタルモノ數行アリシモ數ケ月以內ニ悉ク解停セラレ營業ヲ再始シタルヲ以テ消却事務上別ニ影響スル所無ク百三十有餘ノ國立銀行皆成規ノ金額ヲ積立テ來レリ而シテ當初當局者カ豫定シタル計算ニシテ齟齬スルコトナクンハ元資金トシテ

國立銀行ヨリ本行ニ差出セル引換準備金ヲ以テ購入シタル公債證書ハ勿論積立公債ノ幾分ヲモ剩スヘク若シ積立公債ニテ不足スルコトアリトスルモ尙準備差益公債ノ在ルアレハ之ヲ賣却スルニ於テハ容易ニ紙幣ノ消却ヲ了シ得ヘキ筈ナリシモ既記ノ如ク第一回拂込準備金ヲ以テ公債證書ヲ購入スルニ方リ業ニ已ニ豫定ノ價格ト多大ノ差異ヲ生シタルノミナラス其後金利低落シテ公債證書ノ價格ハ益々騰貴シ終ニ額面以上ニ騰リタルコトアリ且一方ニ於テハ整理公債條例ノ公布ニ依リ六分以上ノ高利公債ハ悉ク五分利ニ變シタルヲ以テ元資公債ノ當簽額面ヲ補充シ積立公債ヲ買入ルヽニモ少カラサル打擊ヲ蒙リ且元資公債ノ利子收入高減少シテ年々ノ紙幣消却高ニ大ナル影響ヲ及ホシタリ斯クテ各銀行ハ追々營業滿期ニ近ツキタルモ到底豫定ノ計畫通リ消却ヲ了スル能ハス止ムナク準備金ニ相當スル元資公債證書ヲ賣却シテ決算ヲ了セサルヘカラサルノ有樣ニ立至リシカハ國立銀行及之ト利害ヲ共ニスル人々ノ恐慌一方ナラス營業期限ノ延長ヲ希望スルモノ又ハ之ニ反對スルモノ等甲論乙駁一時頗ル喧囂ヲ極メタリシカ遂ニ明治二十九年政府カ第九回帝國議會ニ提出シタル法律案通過ノ結果同年三月九日法律第七號ヲ以テ營業滿期國立銀行處分法幷ニ同月二十三日法律第十一號ヲ以テ國立銀行營業滿期前特別處分法ノ公布ヲ見ルニ至レリ右營業滿期國立銀行處分法中紙幣消却ニ關スル第五條乃至第七條ノ本文ヲ摘錄スレハ左ノ如シ

第五條　國立銀行ハ營業滿期日ニ於テ其ノ發行紙幣ヲ悉皆消却シ能ハサルトキハ消却殘高ニ相當スル金額ヲ政府ニ納付スヘシ

私立銀行トナリテ營業ヲ繼續セムトスルモ借入ヲ必要トスルトキハ大藏大臣ハ無利子貸付ヲ日本銀行ニ命スルコトヲ得

第六條　前條第一項ノ金額ヲ收納シタルトキハ政府ハ其ノ預リタル紙幣抵當公債證書ヲ還付スヘシ

第七條　政府ハ國立銀行ヨリ納付シタル金額ヲ以テ紙幣消却ノ基金ト爲シ其發行紙幣ヲ交換スヘシ

國立銀行其ノ紙幣消却殘高ニ相當スル金額ヲ納付セサルトキハ政府ハ其ノ預リタル紙幣抵當公債證書ヲ賣却シ紙幣消却ノ基金ニ充ツヘシ

尋テ同年四月大藏省令第八號ヲ以テ公示セラレタル營業滿期國立銀行處分法施行細則中ノ紙幣消却ニ關スル規定ハ左ノ如シ

第四條　國立銀行ニ於テ日本銀行ヨリ借入金ヲ爲ストキハ其契約書ノ謄本ヲ大藏大臣ニ差出スヘシ

第五條　紙幣消却元資公債證書幷紙幣消却ニ關スル計算ヲ爲ス場合ニ於テ元資公債證書ハ時價ヲ以テ算定シ紙幣消却高ハ合同消却高ニ依ルヘシ

第九條　營業滿期ニ至リ營業ヲ繼續セサル國立銀行ハ其決議ヲ爲シタルトキ直ニ其旨ヲ大藏大臣ニ屆出ツルト同時ニ日本銀行ニ通知スヘシ

第十一條　本規則ハ國立銀行營業滿期前特別處分法ニ依リ私立銀行トナリテ營業ヲ繼續スル國立銀行ニモ之ヲ適用ス

右ニ依レハ營業滿期ノ際私立銀行トナリテ營業ヲ繼續セントスル國立銀行ハ本行ヨリ無利子借入金ヲナシテ發行紙幣未消却高ニ相當スル金額ヲ政府ニ納付スルヲ得ルコトヽナリ又營業滿期前私立銀行トナリテ營業ヲ繼續セントスル銀行ハ國立銀行營業滿期前特別處分法第八條及第九條並ニ營業滿期國立銀行處分法施行細則第十一條ニ據リ營業滿期ノ際私立銀行トナルモノト同樣ニ取扱ハルヽコトヽナリタルニ依リ是等營業滿期若クハ滿期前營業繼續ヲ決議シ大藏大臣ノ認可ヲ得タル國立銀行ニ對シテハ本行ハ紙幣消却殘高ノ無利子貸付ニ關スル約定ヲ結ヒ處分期日ニ先タツ二週日前ニ紙幣消却勘定ヲ決算シテ準備金ニ相當スル元資公債證書ハ之ヲ各國立銀行ニ還付セリ尚ホ右無利子貸付金ニ關シテハ已ニ營業編定期貸ノ部ニ於テ詳說スル所アリタリ

又營業ヲ繼續セサル國立銀行ハ商法株式會社解散ノ條項ニ據リ其決議ヲ爲シ營業滿期國立銀行處分法施行細則第九條ニ據リ其旨ヲ本行ニ通知スルヲ以テ本行ハ銀行ノ解散二週日前ニ紙幣消却元資ヲ決算シテ悉皆ノ紙幣ヲ消却シ其元資殘高ハ之ヲ其國立銀行ニ返還シタリ

右紙幣消却元資ヲ決算スル爲メ賣却シタル元資公債證書ノ額面ハ明治二十九年下半季以降三十二年上半季ニ至ルマテ通計二千百三十餘萬圓ノ巨額ニ上リタルトモ其實際ニ就テ云ヘハ營業ヲ繼續スル國立銀行ニ還付スヘキ準備金ハ其金額ニ相當スル元資公債證書ヲ以テ之ヲ返還シ爾餘ノ紙幣消却ニ充ツル爲メ賣却スヘキ元資公債證書ハ悉皆本行ニ於テ引受ケ買取リシヲ以テ實際前記公債證書ノ賣却ハ殆ント市場ニ現ハレスシテ止ミタリ

斯クテ本行ハ明治十六年五月始メテ政府ノ命令ニ依リテ國立銀行發行紙幣合同消却事務ヲ取扱ヒタル以來十六年ヲ經過シテ三十二年二月ニ至リ國立銀行處分結了ト共ニ合同消却事務ヲ終了シ同年十二月ヲ以テ國立銀行紙幣合同消却始末ト題スル報告書ヲ編纂シ之ヲ大藏大臣ニ進達スルト共ニ國立銀行ノ權義ヲ繼承セル各銀行ニ報告セリ尚ホ國立銀行ノ處分ニ關スル終始ノ關係ニ就テハ

本節末附載ノ各國立銀行處分一覽表ニ詳カナリ就テ觀ルヘシ

尚ホ國立銀行紙幣ハ明治二十九年三月九日法律第八號ヲ以テ三十二年十二月九日限リ其通用ヲ廢止シ其翌日ヨリ起算シ滿五箇年ヲ以テ引換期限ト定メラレ其引換事務モ亦之ヲ本行ニ命セラレタルヲ以テ本行ハ合同消却事務結了後ニ於ケル國立銀行紙幣交換ノ事務ヲモ併セテ取扱フニ至リタルカ此等ノ詳細ハ已ニ前節ニ於テ之ヲ述ヘタリ

次ニ合同消却計算方法ニ就キ少シク述フル所アラン

金「元資公債證書」及「消却銀行紙幣」ノ勘定科目ヲ設ケ且特ニ支消部日記帳(二十四年七月以降增補日記帳ヲ使用ス)ヲ置キ以テ消却事務ヲ整理シタルカ尚ホ明治十六年十一月二十一日ヲ以テ日記帳記載方ヲ左ノ通リ定メタリ

支消部日記帳記載方

當初準備金及積立金ヲ各國立銀行ヨリ受入ルヽトキハ借方(銀行紙幣消却元資)トシ又此元資金ニテ公債證書ヲ買入ルヽトキハ貸方(元資公債證書)トスルモノト知ルヘシ

第一條　準備金及貳分五厘積立金ヲ以テ買入レタル元資公債證書ノ利金ヲ受取タルキ

借　方(銀行紙幣消却金)

但金銀勘定ハ每ニ複記スルハ勿論ニ付之ヲ略ス以下準之

第二條　右利金即チ消却金ヲ以銀行紙幣及敗裂銀行紙幣ト交換シタルキ

貸　方(消却銀行紙幣)

第三條　右消却銀行紙幣ヘ消印ヲ押捺セシキ

貸　方(銀行紙幣消却金)

借　方(消却銀行紙幣)

第四條　準備金及貳分五厘積立金ヲ以テ買入レタル元資公債證書當簽シ其金額ヲ受取リタルキ」

但當簽益金ハ元買入代價ヲ控除シ其差額ヲ記入ス

借　方(元資公債證書)　(準備金及積立金ノ分ト區別スルハ勿論タルヘシ以下準之)

同　(銀行紙幣消却元資)(公債證書當簽益)區別右同斷

第五條　右當簽金額及當簽益金ヲ以代リ公債證書ヲ買入ルヽキ

貸　方(元資公債證書)

第六條　貳分五厘積立金及夫ヨリ生セシ差益金ヲ以テ買入レタル公債證書ヲ賣却シ其代金ヲ以テ紙幣ヲ消却スルキ

借　方(元資公債證書)　同　(銀行紙幣消却金)

貸　方(銀行紙幣消却元資)

但消却元金ト銀行紙幣ト交換ノ手續ハ第二條ニ同シ

第七條　結局ニ至リ準備金及夫レヨリ生セシ差益金ヲ以テ買入レタル公債證書ヲ賣却シ其代金ヲ以テ準備金及ヒ差益金ヲ還了スルキ

借　方(元資公債證書)

貸　方(銀行紙幣消却元資)

當初元資公債證書ノ償還ニ依リ代リ公債ヲ購入シテ之ヲ補充シタル後其他ノ差益殘金ヲ以テ購入